

2. 窒素適量試験 (圃場埋設柵第15年目)

目的、方法 水稻ノ場合=同ジ。但施肥量ハ水稻ノ半量トス

供試品種 大麥 大六角

成績 (2區平均1柵當)

試験區名	成熟期=於ケル		總重量	穀實收量	稈收量	無窒素區=對スル穀實重量百分比	無窒素區=對スル稈重量百分比
	草丈	莖數					
無窒素區	66.8	25.0	74.5	40.0	27.0	100.0	100.0
窒素0.5貫	76.0	25.5	107.0	60.0	38.5	150.0	142.6
窒素1貫	75.3	35.5	134.0	75.5	46.0	188.8	170.4
窒素1.5貫	82.0	38.8	203.0	111.5	77.5	278.8	287.0
窒素2貫	81.8	52.8	212.5	116.0	77.0	290.0	285.2
窒素2.5貫	85.0	45.5	239.0	129.0	87.5	322.5	324.1
窒素3貫	66.5	47.5	264.5	144.5	96.0	361.3	355.6

3. 磷酸適量試験 (圃場埋設柵第15年目)

目的、方法 水稻ノ場合=同ジ。但施肥量ハ水稻ノ半量トス

供試品種 大麥 大六角

成績 (2區平均1柵當)

試験區名	成熟期=於ケル		總重量	穀實收量	稈收量	無磷酸區=對スル穀實收量百分比	無磷酸區=對スル稈收量百分比
	草丈	莖數					
無磷酸	76.5	35.0	137.5	71.5	54.5	100.0	100.0
磷酸250匁	77.3	28.0	148.0	73.5	57.0	102.8	104.6
磷酸500匁	81.7	35.8	174.0	89.5	64.0	125.2	117.4
磷酸1.000匁	83.8	40.5	184.0	103.0	65.5	144.1	120.2
磷酸2.500匁	84.8	45.0	197.0	111.5	68.0	155.9	124.8
磷酸2.000匁	83.3	50.8	202.0	114.5	73.0	160.1	134.0

4. 加里適量試験 (圃場埋設柵第15年目)

目的、方法 水稻ノ場合=同ジ。但施肥量ハ水稻ノ半量トス

供試品種 大麥 大六角

成績 (2區平均1柵當)

試験區名	成熟期=於ケル		總重量	穀實收量	稈收量	無加里區=對スル穀實收量百分比	無加里區=對スル稈收量百分比
	草丈	莖數					
無加里區	63.3	32.8	175.5	98.5	65.0	100.0	100.0
加里250匁	82.0	44.5	209.5	107.0	82.0	108.6	126.2
加里500匁	77.3	48.0	202.0	112.5	76.0	114.2	116.9
加里1.000匁	75.8	46.5	209.5	107.5	78.5	109.1	120.8
加里1.500匁	75.8	42.3	206.0	110.5	81.0	112.2	124.6
加里2.000匁	78.3	32.3	204.0	108.0	79.0	110.2	105.2

5. 堆肥ノ磷酸加里肥效試験 (植木鉢第2年目)

目的、方法 水稻ノ場合=同ジ

供試品種 大麥 大六角

成績 (3區平均1鉢當)

試験區名	成熟期=於ケル		總重量	穀實收量	稈收量	無磷酸及ビ無加里區ヲ百トシタル比	
	草丈	莖數				穀實	稈
無磷酸	43.3	9.0	12.60	6.7	5.3	100.0	100.0
磷酸	52.5	10.6	13.70	6.8	5.9	101.5	111.3
無磷酸堆肥	42.7	11.7	19.00	10.3	8.6	153.7	162.2
磷酸堆肥	47.6	10.3	24.60	12.3	10.5	183.5	198.1
無加里	55.9	10.0	16.9	9.1	6.7	100.0	100.0
加里	59.5	8.0	19.5	9.6	9.9	105.5	147.8
無加里堆肥	55.7	10.0	20.5	9.3	10.7	102.2	159.7
加里堆肥	56.2	10.0	20.8	11.4	9.3	125.3	138.8

6. 油粕類肥料肥效試験 (植木鉢第2年目)

目的、方法 水稻ノ場合=同ジ

供試品種 大麥 大六角

成績 (2區平均1鉢當)

試験區名	成熟期=於ケル		總重量	穀實收量	稈收量	硫酸アンモニア區=對スル穀實收量百分比	硫酸アンモニア區=對スル稈收量百分比
	草丈	莖數					
大豆粕	57.0	15.7	29.0	14.8	12.8	87.5	114.3
硫酸アンモニア	62.1	15.3	29.3	16.9	11.2	100.0	100.0
荏粕	58.8	17.3	33.0	16.6	13.4	98.2	104.7
菜種粕	58.0	21.0	33.9	16.9	13.6	100.0	106.3
無窒素	59.0	12.3	18.5	9.1	7.9	53.9	70.6

7. トーマス燐肥肥效試験 (植木鉢第2年目)

目的、方法 水稻ノ場合=同ジ

供試品種 大麥 大六角

成績 (3區平均1鉢當)

試験區名	成熟期=於ケル		總重量	穀實收量	稈收量	無磷酸區=對スル穀實收量百分比	無磷酸區=對スル稈收量百分比
	草丈	莖數					
無磷酸	58.8	14.6	24.03	12.13	11.30	100.0	100.0
無磷酸石灰	62.0	16.6	26.86	13.03	13.40	107.4	118.6
トーマス燐肥	58.1	19.0	30.40	14.00	13.50	115.4	119.5
トーマス燐肥石灰	63.1	20.0	27.13	13.26	13.26	109.3	117.4
過磷酸	57.2	17.0	34.26	13.90	13.70	114.6	121.2
過磷酸石灰	59.9	17.0	31.40	16.00	13.40	131.9	118.6

火山灰土

試験區名	成熟期=於ケル		總重量	穀實收量	稈收量	無磷酸區 穀實收量 百分比	無磷酸區 稈收量百 分 比
	草 丈	莖 數					
過 磷 酸 石 灰	48.8	13.0	18.95	8.7	8.30	234.6	190.8
トーマス磷肥	49.2	10.5	20.10	7.5	11.10	288.5	255.2
無 磷 酸	37.7	10.5	7.90	2.6	4.35	100.0	100.0

味 噌 土

試験區名	成熟期=於ケル		總重量	穀實收量	稈收量	無磷酸區 穀實收量 百分比	無磷酸區 稈收量百 分 比
	草 丈	莖 數					
無 磷 酸	43.1	13.5	16.50	9.15	6.35	100.0	100.0
トーマス磷肥	61.4	18.0	32.85	13.90	16.15	151.9	254.3
過 磷 酸 石 灰	69.2	20.0	35.10	16.35	16.35	178.7	257.5

2. 肥料適量査定試験

(施肥標準調査)

1. 目的 本試験ハ縣下各市町村ニ於ケル施肥量ノ基準ヲ査定センガ爲メ施行ス
 曩ニ施肥標準調査ナル名稱ノモトニ大正10年度以降昭和10年度迄本省指定ノ方法ニ從ヒ縣下各地質系統別ニ土性調査ヲナシ更ニ該土壤ノ理化學分析並ニ栽培試験ヲ施行シ、其ノ成績ヲ綜合シテ生産力ヲ査定シ、稻麥ニ對スル施肥標準量ノ決定ヲ見タルモ(長野縣獎勵肥料ノ制定)其ノ範圍廣汎ニ亘リ加之農業技術ノ進歩ハ益々精細ナル試験調査ノ必要ヲ加ヘツアリ。故ニ昭和11年度ヨリ本省ノ獎勵金ノ交付ヲ受ケ更ニ縣下各町村毎ニ本試験地設置ノ上益々精密ナル試験調査ヲナシ施肥量ノ基準ヲ査定セントス

2. 試験方法 試験地ニ次記ノ如キ試験區ヲ設ケ原地ニ要素試験ヲ施行シタリ

番 號	區 名	番 號	區 名
1	無 肥 料 區	7	無 磷 酸 堆 肥 區
2	無 磷 酸 區	8	無 加 里 堆 肥 區
3	無 加 里 區	9	窒 素 少 量 堆 肥 區
4	窒 素 少 量 區	10	窒 素 中 量 堆 肥 區
5	窒 素 中 量 區	11	窒 素 多 量 堆 肥 區
6	窒 素 多 量 區		

供試肥料ハ硫酸アンモニア、過磷酸石灰、硫酸加里又ハ鹽化加里ヲ施用セリ
 昭和12年度創設原地試験地設置市町村ハ次記ノ如シ

水		稻	
番 號	町 村	番 號	町 村
11	南佐久郡 海 瀬 村	37	北佐久郡 御 代 田 村
23	北佐久郡 岸 野 村	40	小 縣 郡 大 里 村
33	北佐久郡 中 佐 都 村	75	小 縣 郡 川 邊 村

番 號	町 村	番 號	町 村
59	小 縣 郡 神 川 村	248	南安曇郡 西 穂 高 村
79	諏 訪 郡 依 田 村	253	北安曇郡 社 日 村
90	諏 訪 郡 依 田 村	283	更 級 郡 原 上 厨 村
103	上伊那郡 四 金 南 村	273	更 級 郡 原 上 厨 村
125	上伊那郡 南 向 村	288	更 級 郡 原 上 厨 村
140	朝 日 村	297	埴 科 郡 屋 代 條 會 村
116	朝 日 村	309	埴 科 郡 屋 代 條 會 村
147	下伊那郡 箕 輪 村	373	上水内郡 西 七 若 柳 村
152	下伊那郡 大 三 千 村	354	上水内郡 西 七 若 柳 村
169	下伊那郡 大 三 千 村	349	上水内郡 西 七 若 柳 村
178	西筑摩郡 大 三 千 村	313	上高井郡 須 仁 高 上 太 木 田 村
192	西筑摩郡 大 三 千 村	319	上高井郡 須 仁 高 上 太 木 田 村
195	東筑摩郡 讀 賣 島 村	329	下高井郡 須 仁 高 上 太 木 田 村
200	東筑摩郡 讀 賣 島 村	340	下高井郡 須 仁 高 上 太 木 田 村
219	東筑摩郡 讀 賣 島 村	383	下水内郡 須 仁 高 上 太 木 田 村
207	南安曇郡 會 高 村	386	長 野 市 3 9
246	南安曇郡 會 高 村	計	

麥

番 號	町 村	番 號	町 村
23	南佐久郡 岸 野 村	250	南安曇郡 有 明 村
47	北佐久郡 本 牧 里 村	240	南安曇郡 有 明 村
60	小 縣 郡 豐 里 川 村	268	松 本 市 八 幡 島 村
68	小 縣 郡 豐 里 川 村	275	更 級 郡 八 幡 島 村
112	上伊那郡 小 野 村	291	更 級 郡 八 幡 島 村
116	西 箕 輪 村	307	埴 科 郡 雨 宮 縣 村
111	西 箕 輪 村	356	上水内郡 雨 宮 縣 村
143	下伊那郡 遠 吹 村	363	上水内郡 雨 宮 縣 村
148	下伊那郡 山 本 村	353	上水内郡 雨 宮 縣 村
154	下伊那郡 山 本 村	377	下水内郡 古 井 村
198	西筑摩郡 山 口 村	319	下水内郡 古 井 村
229	東筑摩郡 山 口 村	318	上高井郡 仁 禮 甫 丘 鄉 村
203	東筑摩郡 山 口 村	336	下高井郡 仁 禮 甫 丘 鄉 村
212	本 麻 績 村	341	下高井郡 仁 禮 甫 丘 鄉 村
217	中 川 手 村	計	2 9

コノ原地試験ハ3年間繼續施行スルモノニシテ3ヶ年ノ成績ヲ一括取纏メタル上別冊ヲ以テ報告セントス

3. 肥料施用方法改善試験

本事業ハ農林省指定試験ニシテ本縣ニ廣ク分布スル普通火山灰土壤及ビ味噌土ニ對スル合理的施肥方法ヲ研究セントス

昭和4年以降上伊那郡南箕輪村西天龍耕地整理組合地區内(普通火山灰土壤)及ビ同郡中澤村(味噌土)ノ2ヶ所ニ試験地ヲ設ケ水田並ニ畑ニ於テ水稻、陸稻及ビ大小麥ノ施肥法ニツキ試験ヲ開始セリ

之等ノ試験成績ハ取纏メノ上別冊報告書刊行(第1報及ビ第2報ハ刊行済)ノ豫定ナルヲ以テ茲ニ其ノ記載ヲ省略ス

尙本年度ヨリ下高井郡平穩村ニ試験地ヲ新設シ更ニ試験ヲ繼續シツツアリ

4. 豆類根瘤菌培養配付事業

昭和10年ヨリ大豆、小豆根瘤菌ノ培養配付ヲ施行シツツアリ。本年度ニ於ケル配付數量及接種面積次ノ如シ

豆類種類	配付數量			接種面積		
	既栽培地	新栽培地	計	既栽培地	新栽培地	計
大豆		7.000	7.000		350	350
小豆		1.000	1.000		50	50
計		8.000	8.000		400	400

5. 綠肥根瘤菌培養配付事業

昭和6年以降綠肥(紫雲英、ヘアリーベッチ)根瘤菌配付事業ヲ施行セルガ本年度ノ配付數量及接種面積次ノ如シ

種類	配付數量	接種面積
紫雲英	14.100	470
ヘアリーベッチ	2.000	100
計	161.000	570

6. 分析件數

本年度施行セル場用及依頼分析件數及成分數次ノ如シ

	件數		成分數	
	依頼	場用	依頼	場用
土壌肥料	2	27	7	136
灌溉水	19	86	51	91
農産物	2	—	4	—
其他	2	9	4	27
計	1	—	2	—
	26	122	68	254

農林省指定加工用蔬菜試験

第一部 品種ニ關スル試験

(一) 蕃茄品種選抜豫備試験

一、目的

内外ノ品種ヲ蒐集シ各品種ノ特性並生産力ヲ調査シ品種選抜試験ニ編入スベキ品種ヲ選定セントス

二、試験方法

- イ、一區面積及區制 四、六六坪 一區制
- ロ、供試面積 一六三坪
- ハ、供試品種數 三一品種
- ニ、標準品種及標準區數 ボンデローザ 區數四區
- ホ、耕種法

播種期三月六日、移植期第一回四月六日、第二回四月二十三日、定植期五月二十日、藥劑撒布三斗五升式石灰ボルドゥ液三回、收穫終九月二十一日

三、經過概要

苗ノ生育ハ四月中旬氣溫急ニ上昇シ其後概シテ高温ナリシ爲草丈伸長シ、定植當時ノ苗ハ前年度ノ苗ニ比スレバ草丈長ク草勢稍劣レリ、定植直後一回晩霜ニ遭ヒタルモ差シタル被害ナカリキ、定植後七月上旬ヨリ曇天連續シ日照甚ダシク寡少ナルニ加ヘ同月下旬及八月上旬稀有ノ豪雨ニアヒ濕潤ナル天候ト圃場ノ過濕トノ爲莖葉ノ繁茂阻害セラレ八月ニ入り天候恢復シ高温多照ナリシモ拘ラズ草勢並ニ結實作用ハ前年ニ比シ著シク劣レリ。秋季ニ於ケル草勢モ前年ニ比スレバ衰退速カナリキ、本年ハ前記ノ通七月及八月上旬ノ天候不良ノ爲各品種共草勢前年ヨリ劣リ收量モ亦減少セリ

四、成績考察

供試品種中收量多キモノハ早生種ノ「チヨークス、アーリージュニエル」「サットンズ、マゼステイック」「アーリー、フリーダム」中生種ノ「カーターズ、フルート」「クリムソン、カツション」「ストーン」「マーグローブ」(Aggeler)「アツゲラー、グローブ」「サットンズ、ラージレットプラム」等ニシテ反當換算收量何レモ二、〇〇〇貫以上ナリキ、而シテ右品種中ヨリ選抜試験供用品種ト類似ノモノ及ビ果實ノ形質良好ナラザルモノヲ除キ「カーターズ、フルート」「ストーン」「マーグローブ」(Aggeler)ノ三品種ヲ明年度品種選抜試験ニ編入セントス(收量表参照)

次ニ草勢及果實ノ形質等ニ於テ重要性少キモノト認メラレタル品種即チ「アーリーアーナ」「ヘンダーソン、フルート」「キングハンバート」「ファイアスターノバエサル」「モンタニヤ」「サンノーゼ、キヤンナー」「サンタクララ、キヤンナー」「モールズ、アーリ、キヤンナー」ハ

本準備試験ヨリ除外シ明年度ヨリ品種保存ニ編入セントス、其他ノ品種ハ明年度モ繼續シ本準備試験ヲ施行セントス

五、試験成績表(調査事項中主要事項ノミ摘録ス)

品種 番號	品 種 名	開花 始	草勢ノ 強 弱	熟 期	果形指 數	一果重	果ノ 色彩	反當果實收量	
								上物 重量	屑物 重量
1	ア ー リ ー ア ー ナ	5.22	弱	極早生	1.39	71.5	桃 赤	1462.9	352.7
2	チヨークス、アーリー、ジュニル	5.23	中	早 生	1.28	58.1	桃 赤	2233.8	284.6
3	ジ ユ ン ビ ン ク	5.24	中	早 生	1.35	71.7	桃 紅	1678.1	415.7
4	ボ ン ニ ー ベ ス ト	5.29	稍 強	早 生	1.25	49.7	桃 赤	1860.1	138.2
5	ブリツチャード、スカーレット	5.28	中	中 生	1.26	67.6	桃 赤	2211.6	253.9
6	セコント、アーリー	5.24	稍 弱	極早生	1.33	62.3	桃 赤	1954.1	373.9
7	ヘンダーソンプルート	5.25	弱	早 生	1.29	55.0	桃 紅	1243.5	252.9
8	カーターフルート	5.27	中	中 生	1.18	42.9	桃 赤	2413.2	247.3
9	スプリム、マーグローザ	5.26	中	中 生	1.16	54.6	桃 赤	2010.0	213.4
10	ニュースムース、ボンデローザ	6. 3	強	中生晩	1.42	116.5	桃 紅	1641.4	605.2
11	ジャック、オーハート	6. 4	強	中 生	1.51	100.7	橙 赤	1701.1	321.1
12	ビーフステーク	5.25	中	中生早	1.27	49.8	桃 赤	2172.3	275.4
13	クリムソン、カツシヨン	5.26	稍 強	中 生	1.18	51.8	桃 赤	2342.6	261.1
14	アゲラー、グローブ	5.31	強	中 生	1.26	77.9	桃 紅	2302.6	333.3
15	ス ト ン	5.26	強	中 生	1.41	75.8	桃 赤	2294.4	330.3
16	ウルト、レジスタント、ストーン	6. 4	強	中 生	1.29	61.8	桃 赤	1876.7	380.4
17	サットンズ、メインクローズ	5.22	中	早 生	1.29	34.0	桃 赤	1963.5	287.7
18	サットンズ、マゼステイツク	5.28	中	早 生	1.14	37.2	桃 赤	2226.7	189.7
19	サットンズ、サティスフアクション	5.23	中	中 生	1.27	32.8	桃 赤	1942.6	414.5
20	サットンズ、プリンセス、オブウエールズ	5.25	中	中 生	1.33	37.1	桃 赤	2044.9	451.4
21	サンノーゼ、キヤンナー	6. 5	強	晩 生	1.46	71.9	桃 赤	1106.9	606.9
22	サンタクララ、キヤンナー	5.30	強	晩 生	1.68	106.6	桃 赤	1613.4	736.2
23	モールズ、アーリー、キヤンナー	6. 3	強	晩 生	1.80	67.2	鮮桃赤	1335.2	653.6
24	ウ ー イ ン ゴ ー ル	5.24	強	晩 生	1.49	82.4	桃 紅	2063.4	497.2
25	アーリー、フリーダム	5.26	稍 強	早 生	1.21	45.9	桃 赤	2278.1	235.8
26	サットンズ、ラージ、レット、プラム	6. 8	強	中 生	0.74	16.9	桃 赤	2341.8	490.7
27	小 丸 種	5.27	強	中 生	0.71	7.2	桃 赤	2189.1	258.9
28	キング、ハンバート	5.20	強	中 生	0.48	16.1	鮮桃赤	1263.3	352.2
29	フィアスターノ、パニサル	5.30	強	中 生	0.71	21.2	橙 赤	1169.1	573.5
30	モンタニヤ	5.27	中	中 生	0.60	17.0	橙 赤	584.5	499.0
31	マーグローブ	5.27	強	中 生	1.21	62.3	桃 赤	2286.7	451.3
標準	(ボンデローザ)	5.19	強	晩 生	1.55	119.8	桃 紅	2157.4	519.4

品種選抜準備試験

本年度新ニ歐洲ヨリ輸入シタル品種ハ播種期ガ準備試験ヨリ二十一日遅レ二月三十七日トナリタルヲ以テ之等二〇品種ハ準備試験トシテ左記ノ通試験ヲ施行セリ

一、試験方法

イ、一區面積 三、二五坪
ロ、供試面積 六五坪
ハ、供試品種數 二〇品種

ニ、耕種法

播種期三月二十七日、移植期四月十七日、定植期五月二十一日、其他準備試験ニ同ジ

二、成績考察

試験番號(四)(六)(七)(八)(九)(一〇)(一〇)(一〇)(一〇)ハ草勢、結果習性並果實ノ形質類似シ主ナル特性ハ果實小果ニ屬シ果實ノ子室數少ク且ツ子室大ニシテ果肉少キ欠點アレドモ稔性甚ダ強ク果實數甚ダ多キ特長ヲ具備セリ、右品種中(九)ノ「ボアーレリーダー」ヲ之等品種ノ代表トシテ品種選抜試験ニ編入セントス、(六)ノ「プリンスボルゲース」ハ「ラージレットプラム」ト同種ト認メラレ其他ノ品種中特ニ重要ト認メラレザル品種即チ試験番號(三)(三)(三)(三)ハ品種保存ニ編入セントス、其他ノ一四品種ハ明年度準備試験ニ挿入シ試験セントス

三、試験成績表(主要事項ノミ摘録ス)

品種 番號	品 種 名	開花始	果形指數 横徑/縱徑	一果重	果ノ色彩	反當果實收量	
						上物重量	屑物重量
1	ア ラ イ ヤ ン ス	6.12	1.29	48.3	桃 赤	1455.4	260.8
2	マーベル、オブ、ザ、マーケット	6.14	1.34	54.6	桃 赤	1347.3	283.8
3	ミカド、スカーレット	6.13	1.49	60.4	橙 赤	1106.0	483.7
4	ビ ア ー レ ス	5.27	1.09	34.9	桃 赤	2069.3	276.9
5	ボンデローザ、スカーレット	5.31	1.55	67.1	橙 赤	1704.9	485.1
6	アイルザ、クライグ	6. 3	1.24	30.9	桃 赤	2042.0	227.5
7	スターリング、キヤストル	6. 4	1.26	31.6	桃 赤	2150.2	300.9
8	タ ッ ク、ウ ッ ド	6. 1	1.24	36.7	桃 赤	1936.0	287.5
9	ボアーレ、リーダー	5.31	1.23	27.5	桃 赤	2299.8	340.2
10	ウエスト、ランディア	5.29	1.23	29.0	桃 赤	1968.3	311.1
11	ダニツシュ、エクスポート	5.27	1.23	18.8	桃 赤	1596.2	181.4
12	ファースト、クロツブ	6. 1	1.24	23.1	桃 赤	1914.8	201.7
13	コンダイン、レット	5.27	1.27	30.7	桃 赤	1917.0	257.4
14	ル キ ュ ー ル ス	6. 4	1.23	29.0	桃 赤	2324.5	346.6
15	パアーブル、キング	5.27	1.36	44.6	桃 赤	1479.2	326.0
16	ワンダー、オブ、イタリ	6.20	0.70	6.9	桃 赤	1764.9	226.6
17	ラーチ、レット、リベット	6.17	1.48	47.2	橙 赤	1198.2	390.5
18	プリンス、バーヘース	6.24	0.81	19.8	黄 赤	1829.6	300.9
19	ビクター、エマネエール	6.19	0.81	21.3	黄 赤	391.2	654.5
20	キング、ハンバート	6.22	0.83	16.8	黄 赤	1241.6	406.2

(二) 蕃茄品種選抜試験

一、目的

品種選抜準備試験ニ於テ選出セル品種ニ付加工ノ適否並生産力ヲ檢定シ優良ナル加工用品種

ヲ選抜セントス

二、試験方法

イ、一區面積及區制 九、七五坪 一區制

ロ、供試面積 一四六坪

ハ、供試品種數 一三品種

ニ、標準品種及標準區數 ボンデローザ 區數二區

ホ、耕種法

播種期三月六日、移植期第一回四月六日、第二回四月二十三日、定植期五月二十日、藥劑撒布三斗五升式石灰ボルドウ液三回、收穫終九月二十一日

三、經過概要

品種選抜豫備試験記載ノ通り七月中日照ノ不足ト同月下旬ノ多雨多濕ノ天候ノ爲莖葉ノ繁茂前年ニ比シ劣リタルモ莖葉ノ病害殆ンド無ク試験施行上別ニ支障ナク各種調査ヲ終了セリ

四、成績考察

本年ノ反當換算收量ノ二、〇〇〇貫以上ノ品種ヲ高位順ニ見レバ「サツトンス、パーフェクション」「北平トマト」標準(一)「ボンデローザ」「スプリーム、ガルフ、ステート、マーケット」「ジョンペーア」「ブレイク、オーデー」「リビングストーン、グローブ」「マーグローブ」ノ八品種ニシテ其他六品種ハ二、〇〇〇貫ヲ稍下リタリ

之等品種ノ收量ヲ前年ト對比セバ各品種共收量稍減少シタルモ前記八品種ハ豐産性品種ト認めラレタリ、前年ニ比シ收量比率ノ増加ヲ示セルモノハ「北平トマト」ニシテ草勢並果實ノ形質優良ニシテ將來赤色系品種トシテ有望ナル品種ト認めラレタリ、愛知トマトハ前年ニ比シ結果數少ク收量著シク減少セリ、伊太利種「サンマルツアノ」ハ前年同様他品種ヨリ著シク收量劣リ上物重量一、一〇〇貫ニシテ前記多收品種ノ約五割ノ收量ニ過ギザリキ

次ギニ各品種ノ本年ノ成績ニ現ハレタル主ナル得失ニ付概要ヲ記セバ次ノ如シ「北平トマト」ハ果實ノ形質良好ニシテ「ビユレー」トシテノ濃度高ク殊ニ本年ハ前年ヨリ收量多ク成績甚ダ良好ナリキ。「ブレイク、オーデー」ハ果實ノ品質及收量共ニ良好ナリシモ「ビユレー」トシテ本年ノ供試品ハ濃度最モ低カリシヲ以テ此ノ點今後特ニ研究セントス。「グレーター、ボルテイモアー」ハ赤色系、「アーリーデトロイト」ハ桃色系ニシテ共ニ草勢及果實ノ特性相當良好ナリシモ本年ハ收量稍減少セリ。「スプリーム、ガルフ、ステート、マーケット」「リビングストーン、グローブ」「二宮フルート」ハ草勢及果實能ク類似シ何レモ收穫期間長ク「二宮フルート」ハ收量稍少カリシモ前二種ハ共ニ豐産ナリキ、之等品種ノ果實ハ本年ハ何レモ果肉ノ充實不良ニシテ肉質硬ク收穫ノ後半着色稍悪シク輸送貯藏力強キモ品質良好トハ認め難カリキ。「ブリッチャード」ハ果實ノ形質甚ダ良好ナリシガ草丈甚ダ短ク草勢弱キ欠點ヲ有シ本年ハ收量減少セリ、尙本品種ニ付テハ他ノ系統ヲ取寄セ明年度ヨリ比較試験ヲ行ハントス。「ジョンペーア」「サツトンス、パーフェクション」前者ハ早生種トシテ後者ハ中生種トシテ共ニ豐産ニシテ果實ノ特性ヨク類似シ肉質良好ナリシモ果實小ナルノ憾ミアリ。「マーグローブ」ハ中果ニ屬シ肉質相當良好ナリシモ本年ハ草勢稍劣リ收量多カラザリキ、然ルニ豫備試験ノ「マーグローブ」(取寄先Aggeler)ハ草勢果實ノ形質本種ヨリモ良好ナリシヲ以テ明年度ハ該種ヲ本試験ニ編入シ試験セントス。「標準ボンデローザ」及「愛知トマト」ハ果形大ニシテ果肉充實シ「ビユレー」ノ濃度「北平トマト」ニ次ギ高位ナルノ特長

ヲ認めタルモ果形甚ダ不整ナルノ欠點アリ。「サンマルツアノ」ハ「ビユレー」及「ソリツトバツク」用トシテ他品種ノ具備セザル特異性ヲ有スレドモ前年ノ通其ノ收量ハ豐産品種ノ約五割ニ過ギザリキ

五、試験成績表(調査事項中主要事項ノミ摘録ス)

品種 番號	品 種 名	開花 始	草勢 強弱	熟期	果形指 數	一果重	果ノ 色彩	反當果實收量	
								上物 重量	屑物 重量
1	グレーター、ボルテイモアー	5.30	強	中生	1.39	76.2	桃赤	1886.1	217.5
2	ブレイク、オーデー	5.21	強	中生	1.26	76.6	桃赤	2253.5	283.2
3	ブリッチャード	5.24	稍弱	早生	1.22	62.5	桃赤	1886.0	163.6
標準	(ボンデ、ローザ)	5.19	強	晩生	1.55	119.8	桃紅	2385.2	419.9
4	二宮フルート	5.28	強	中生	1.27	73.2	桃紅	1961.7	232.5
5	愛知トマト	5.18	強	晩生	1.52	106.4	桃紅	1753.5	470.3
6	リビングストーン、グローブ	5.26	強	中生	1.13	68.7	桃紅	2237.6	346.0
7	サンマルツアノ	5.27	強	中生	0.56	15.8	鮮桃赤	1165.9	265.8
8	マーグローブ	5.23	中	中生	1.23	69.5	鮮桃赤	2053.4	142.3
9	スプリーム、ガルフ、ステート、マーケット	5.27	強	中生ノ早	1.24	63.2	桃赤	2259.8	137.4
標準	(ボンデローザ)	5.19	強	晩生	1.55	119.8	桃紅	2012.3	421.3
10	ジョンペーア	5.25	中	早生	1.22	42.7	桃赤	2256.2	143.5
11	アーリー、デトロイト	5.30	強	中生ノ早	1.28	79.9	桃紅	1906.7	196.1
12	サツトンス、パーフェクション	5.24	稍強	中生	1.29	44.4	桃赤	2474.9	176.0
13	北平トマト	5.27	強	中生	1.22	74.8	桃赤	2393.5	227.2

(三) 草莓品種選抜豫備試験

一、目的

内外ノ品種ヲ蒐集シ特性及收量調査ヲ行ヒ品種選抜試験ニ編入スベキ品種ヲ選定セントス

二、試験方法

イ、一區面積 二坪

ロ、供試面積 一三六坪

ハ、供試品種數 六八品種

ニ、耕種法

假植期七月八日、定植期九月十九日、栽植距離畦幅二尺五寸、株間八寸、一條植

三、經過概要

定植當時ノ苗ハ發育良好ニシテ殆ンド植傷ミナク、冬季中ハ異常ナル高温ニ遭遇シ根部ノ寒害(霜柱)極メテ少カリシモ、早春ヨリ莖葉ノ生育甚ダ旺盛トナリ結實當時莖葉ノ繁茂稍過度ト認めラルモノアリタリ、開花結實中ハ天候良好ニシテ特ニ異常ナカリキ、明年度苗ノ養苗ハ圃場適濕状態ナリシ爲苗ノ活着良好ニシテ其後七月下旬及八月降雨多量ニアリシ爲、苗ノ生長ハ概シテ良好ナリキ

四、成績考察

供試品種ハ大部分果肉ノ色彩淡ク御牧原種ニ匹敵スベキ濃厚ナル果肉ヲ有スル品種ハ發見シ

得ザリキ、然レドモ京交中比較的ジヤム用ニ適スル形質ヲ具備セルモノト認メラレタル二系統即京交二八及八五ヲ選定シ且米國種中果形類型ニ屬シ外觀整美ニシテ生食用及冷凍用等ノ特殊用途ヲ目的トスル「フェアファックス」「ドルセット」「ブレイクモア」「ベルモア」ノ四種ヲ本試験ニ編入シ明年度試験セントス

其他「クラークス、シードリング」「ウィリアムベルト」「シャープレス」「プログレッツシブ」「マスタドン」「ガンヂー」「リザーチ」「ウィルソン」B一〇六及加賀見ハ豫備試験供試品種中比較的良好ナル形質ヲ有セルヲ以テ明年度繼續シテ本試験ヲ施行シ其他三九品種ハ果實ノ形質又ハ生産力ニ於テ加工用トシテ重要性少キヲ以テ品種保存ニ編入セントス

五、試験成績表(調査事項中主要事項ノミ摘録ス)

品番 種號	品 種 名	草強 勢弱	花 開 始		採 收 始	果 形	一 果 重	酸 味	果 色 汁	果 溶 成 分	反當果實收量	
			月 日	月 日							上 重 物 量	層 重 物 量
1	B 一 〇 六	弱	4.24	6.2	圓 錐	2.2	中	鮮赤色	8.1	150.2	14.9	
2	レ デ ー ト ム ソ ン	中	4.24	6.2	球	1.4	甚多	鮮赤色	7.3	103.1	12.1	
3	名 古 屋	強	4.27	6.2	心 臟	2.2	中	朱 色	6.4	225.8	30.0	
4	シ ャ ー プ レ ス	強	4.26	5.31	心 臟	1.9	甚多	朱 色	6.4	264.0	22.6	
5	サ ジ ヨ セ フ、バ ク ス ト ン	強	4.15	5.31	—	—	—	—	6.3	69.4	25.3	
6	ウ イ リ ア ム、ベ ル ト	中	4.24	5.31	心 臟	1.8	中	—	7.7	245.5	21.8	
7	ニ ユ ー オ レ ゴ ン	強	4.15	5.31	—	—	—	—	—	68.8	22.4	
8	モ ナ ー ク	強	4.15	5.31	—	—	—	—	—	70.0	33.4	
9	ウ オ ー リ ン	強	4.16	5.29	—	—	—	—	—	45.6	20.8	
10	ガ ン ジ ー	中	4.24	5.31	—	1.3	中	朱 色	6.4	132.6	26.3	
11	テ ン ト ー ル	強	4.19	5.29	—	1.9	—	—	—	42.6	19.1	
12	ロ ー ヤ ル、ソ グ ア リ ン	強	4.15	5.31	—	1.6	—	—	—	37.2	20.2	
13	福 岡	強	4.20	5.31	圓錐(不整)	1.7	少	朱 色	6.4	210.1	24.1	
14	ク ラ ー ク ス、シ ー ド リ ン グ	強	4.21	5.31	圓 錐	2.1	中	朱 色	5.7	166.8	15.1	
15	チ ニ ツ サ ビ ー ク	強	4.16	5.29	短 圓 錐	1.7	甚多	赤 色	6.1	76.6	26.6	
16	サ ン プ ル	強	4.16	5.31	心 臟	2.0	中	紅 柿 色	7.1	101.0	30.9	
17	ト ニ ー	強	4.16	6.2	心 臟	1.6	中	朱 色	6.2	69.0	21.4	
18	デ ー リ ン グ	強	4.18	5.31	圓 錐	1.9	甚多	赤 色	5.8	84.7	38.1	
19	リ ザ ー チ	中	4.29	6.2	短 圓 錐	2.7	中	朱 色	6.1	194.9	18.5	
20	ウ イ ル ソ ン	強	4.24	6.2	心 臟	2.0	中	朱 色	5.9	213.3	12.4	
21	ワ イ ル ダ ー	強	5.2	6.16	心 臟	1.8	中	赤 色	7.4	140.2	9.5	
22	モ ス、ジ ャ イ ア ン ト	強	4.17	5.31	—	1.2	—	—	—	27.3	22.7	
23	ニ ユ ー ヨ ー ク	中	4.19	5.29	球	1.3	多	赤 色	8.3	44.9	13.5	
24	キ ン グ ジ ヨ ー ジ	中	5.7	6.9	心臟(不整)	3.1	甚少	淡 赤 色	7.4	157.6	4.4	
25	昭 和	中	4.25	6.16	長 卵 圓(顆 型)	2.8	少	杏 色	7.3	160.6	10.2	
26	ガ ン デ ー	強	4.26	6.2	心 臟	2.8	中	朱 色	5.5	189.4	13.0	
27	ブ レ ー ク モ ー ア	強	4.22	5.29	卵 圓(顆 型)	2.7	中	赤 色	6.8	149.9	5.9	
28	キ ャ ビ ト ラ	弱	4.23	5.29	卵 圓(顆 型)	2.5	中	朱 色	5.2	156.8	13.8	
29	ベ ル モ ー ア	強	4.24	6.2	卵 圓(顆 型)	3.0	少	赤 色	6.8	77.3	7.7	
30	フ ェ ア ー フ ア ッ ク ス	強	5.3	6.2	卵 圓(顆 型)	3.8	少	赤 色	8.1	130.5	3.6	

品番 種號	品 種 名	草強 勢弱	開 花 始		採 收 始	果 形	一 果 重	酸 味	果 色 汁	果 溶 成 分	反當果實收量	
			月 日	月 日							上 重 物 量	層 重 物 量
31	ニ ツ ク オ ー マ ー	中	4.27	6.9	—	—	—	—	—	—	96.6	16.8
32	マ ス タ ド ン(四 季 成)	中	4.19	10.27	心 臟	1.9	中	赤 色	4.9	184.1	32.8	
33	プ ロ グ レ ッ シ ブ(四 季 成)	中	4.24	10.27	心 臟	2.0	中	赤 色	5.8	161.3	22.1	
34	加 賀 見	強	4.17	5.26	心 臟	1.9	甚多	鮮 赤 色	7.2	116.6	17.5	
35	ド ル セ ッ ト	強	4.30	6.4	卵 圓	2.5	少	赤 色	8.2	83.4	12.0	
36	ゼ ネ ラ ル シ ャ ン ジ ー	中	4.28	6.4	長 卵 圓	2.7	少	淡 赤 色	7.4	172.6	27.6	
37	玉 島	強	5.3	6.9	心 臟 又 ハ 長 心 臟	2.5	少	鮮 赤 色	8.5	72.2	0.7	
38	オ リ ー ン	強	5.4	6.16	心 臟	4.5	中	淡 赤 色	9.2	119.6	15.0	

備考 表中空欄ノモノハ適當ト認ムル果實少カリシ爲調査不可能ナリシニ依ルモノトス

(四) 草莓品種選抜試験

一、目 的

品種選抜豫備試験ニ於テ選出セル品種ニ付比較試験ヲ行ヒ加工用優良品種ヲ選抜セントス

二、試験方法

- イ、一 區 面 積 品種番號一ヨリ一〇ハ二坪、一一ヨリ二〇ハ二、五坪
- ロ、供 試 面 積 一四五坪
- ハ、供 試 品 種 數 二〇品種
- ニ、耕 種 法 假植期七月七日、定植期九月十七日、畦幅三尺株間八寸二條植

三、經過概要 品種選抜豫備試験記載ノ通りトス

四、成績考察

本年ノ收量ニ付比較スルニ最高ハ「アメリカ」ノ六三二貫ニシテ琴似、「エッターズバーグ」、〇五八八、〇五一九ハ共ニ五七〇貫前後ヲ示シ其他ハ收量減少シ御牧ケ原種、「ブリテツシュクイン」「ジョンソンス、アーリー」、福陽及「ヘリテーク」ハ三五〇貫乃至三八〇貫ナリキ、御牧ケ原種ノ收量ノ少カリシハ本年莖葉ノ生長過度ナリシニ基クモノト認メラレタリ
次ギニ各品種ノ主要形質ニ付得失ヲ記セバ次ノ如シ
「御牧ケ原種」果ノ大サ中位、果肉ノ色澤最モ濃厚、果心硬ク、肉質緊リ、酸味強シ、結果數極メテ多ク豐産性ナリキ、本年ハ草勢稍過強ト認メラレ收量多カラザリシモ前年被害ノ甚大ナリシ立枯病ノ被害ハ減少シ枯死スル株ノ如キハ皆無ナリキ、本種ハ果實ノ形質ヨリ考察シジヤム専用種トシテ最モ優良ナリト認メラレタリ。「琴似」前種ヨリ肉質軟キ欠點アルモ其他ノ形質ニ於テ又結果力ノ旺盛ナル點ニ於テジヤム用種トシテ良好ナル特長ヲ具備セリ。本年ノ成績ニ於テ收穫後半期ヨリ草勢著シク減退シ果實ノ品質甚ダ不良ナリシモノ多カリシハ今後注意ヲ要スル點ナリトス。「ブリテイツシュク、クイン」果肉ノ色彩ノ點ニ於テ前二種ニ稍劣ルモ普通品種中濃厚ノ部ニ屬シ果形整一ニシテ果肉相當緊リ收量三七〇貫ニシテ稍豐産ナリキ。「ジョンソンス、アーリー」果肉ノ緊リ稍軟ク色彩淡キ憾ミアリ、收量ハ前種ト同程度ナリキ。「水戸丸」果實ハ形質前種ト類似スルモ色彩稍良好ナリキ、草勢弱ク立枯病ノ發生ヲ見、收量三二〇貫ナリキ。「ザイクトリヤ」果形小、肉質軟ク、輸送中ノ損傷多ク色彩モ御牧ケ原種ヨリ相當劣リ果汁色淡赤色ナリキ、草勢稍弱ク斑葉病ノ發生多ク收量二一〇貫ニ過ギザリキ。「アメリカ」本年收量ノ最高ヲ示シ最モ豐産ナリシモ果肉ノ色彩甚ダ淡キ欠點アリ。

「コロндаイク」果實ノ形質御牧ケ原種ニ類似シジヤム用トシテ良好ナル特長ヲ有スルモ生産力著シク劣リ、本年ノ收量一四〇貫ニ過ギザリキ。「エッターズ、バーグ」「C五一九」草勢果實等ノ形質ヨク類似シ相當豊産ナリシモ色彩淡キ欠點アリ。「インメ、ミツシヨナリー」「ヘリテーク」果實ノ色彩濃厚ナルノ特長ヲ有スレドモ果形小、草勢弱キ欠點アリテ收量少カリキ。「福陽」「大島」果形大ニシテ其他果實ノ形質ニ於テ生食専用種ト認メラル

本年ノ成績ニ鑑ミ福陽、大島、C五八八、B三二一、「ヘリテーク」ハ品種保存、「エキセルシヨアー」「レステイゴ（長型）」「マダム、メツレー」ハ品種豫備試験ニ編入シ其他十一品種ハ明年度モ繼續本試験ヲ施行セントス

五、試験成績表（調査事項中主要事項ノミ摘録ス）

品番 種號	品 種 名	草強 勢弱	開 花 始	採 收 始	果 形	一 果 重	果 肉			果 溶 ノ 成 分	反 當 果 實 收 量	上 重 物 量	屑 重 物 量
							色 彩	糖 度	酸 味				
1	御 牧 ケ 原	中	4.21	5.31	圓錐	2.2	鮮赤色	100	甚多	鮮赤色	5.9	380.8	55.9
2	ビ ク ト リ ヤ	稍弱	4.26	5.26	球	1.6	赤 色	90	多	淡赤色	6.7	216.4	7.1
3	ジョンソンス、アーリー	強	4.29	5.31	心臟	3.5	鮮赤色	30	中	朱 色	8.0	368.3	25.1
4	ブリテツシユ、クキン	中	4.66	6.7	圓錐	3.0	鮮赤色	90	稍少	赤 色	7.9	378.7	20.8
5	コ ロ ン ダ イ ク	強	4.18	6.2	圓錐	1.5	鮮赤色	90	多	鮮赤色	7.6	147.6	53.1
6	水 戸 丸	弱	4.17	5.26	心臟	1.8	鮮赤色	90	中	赤 色	8.2	324.6	38.1
7	福 陽	強	4.19	5.29	心臟 (不整)	4.0	鮮赤色	70	稍少	赤 色	7.4	349.9	25.2
8	ア メ リ カ	強	4.24	6.2	球	2.9	朱 色	30	中	杏 色	7.3	632.0	76.7
9	大 島	中	4.28	5.31	心臟 (不整)	3.4	鮮赤色	60	稍少	鮮赤色	7.3	330.0	25.6
10	琴 似	強	4.29	6.7	圓錐	2.8	鮮赤色	100	中	鮮赤色	8.5	473.9	15.6
11	インメ、ミツシヨナリー	弱	4.16	5.26	心臟	1.6	鮮赤色	95	甚多	赤 色	7.1	320.0	75.3
12	C 五 八 八	強	4.23	6.7	圓錐	2.1	赤 色	50	中	紅 色	7.3	481.6	7.2
13	C 五 一 九	中	4.27	6.7	心臟	2.3	赤 色	60	少	朱 色	7.7	491.1	23.9
14	B 三 二 一	強	4.22	6.2	心臟 (不整)	3.0	淡朱色	90	甚少	杏 色	7.5	231.4	24.5
15	エキセルシヨアー	強	4.25	5.31	球	1.6	赤 色	90	多	淡赤色	7.2	180.7	9.8
16	レステイゴ（長型）	強	4.17	5.31	圓錐	1.3	鮮赤色	100	多	赤 色	6.9	209.4	38.3
17	レステイゴ（丸型）	強	4.23	6.2	心臟	1.7	赤 色	10	多	朱 色	6.0	293.1	33.8
18	ヘ リ テ ー ク	甚弱	4.15	5.26	心臟	1.1	鮮赤色	100	甚多	鮮赤色	6.3	350.4	32.3
19	マダム、メツレー	弱	4.16	5.29	心臟	1.4	赤 色	30	中	朱 色	7.3	201.0	40.2
20	エッターズ、バーグ	強	4.18	5.26	心臟	2.3	赤 色	70	中	杏 色	7.9	462.4	31.9

(五) アスパラガス品種選抜試験 (定植第一年目)

一、目 的

各地方ヨリ豊産良質ノ品種又ハ特殊形質ニ於テ優良ナル品種ヲ蒐集シ主要特性並收量ヲ調査シ繼續用優良品種ヲ選抜セントス

二、試験方法

- イ、一 區 面 積 一三品種十五坪(雌株五坪、雄株一〇坪) 一〇品種五坪
- ロ、供 試 面 積 二六〇坪
- ハ、供 試 品 種 二二品種

ニ、標準品種及標準區數 メリーワシントン、區數二區

ホ、耕 種 法 定植期四月十三日、畦幅六尺株間一尺五寸

三、經過概要

各品種共苗ノ生育良好ニシテ根部良ク肥大セシ爲定植後ノ生育迅速ニシテ、土壤條件モ亦好適セシ爲其後ノ生長旺盛ニシテ定植初年目トシテハ分蘗數並莖葉ノ肥大生長等極メテ良好ナリキ、然レドモ初秋ノ候ヨリ黒澁病發生シ、小葉ノ黃變落葉期ノ二十日内外早キモノ相當多數ニ發生シタリシハ今後特ニ注意ヲ要スル點ナリキ、尙委託試験中桔梗ケ原試験地ニ於テハ嫩莖及相當生長セル新莖ノ萎凋枯死スルモノアリテ株ノ肥大生長ニ相當ノ被害ヲ與ヘタリ

四、成績考察

イ、一 株 根 重

供試品種ノ一株當根重ヲ比較スルニ一株根重五〇匁以上ノモノハ「メリー、ワシントン」「アルジヤントイユ、ジャイアント、パープル」「瑞洋」「マーサ、ワシントン」「グアイオレット、デ、オーランド」ノ五品種ニシテ四〇匁以下ノモノハ「バルメット」「ジャイアント、フレンチ」「アルジヤントイユ」「サットンズ、パーフェクション」「ジャイアント、ホワイト、スノウ、カツプ」「デ、アルジヤントイユ、アータイプ」「ボンダアレットヂャイアント」「グローリー、オブ、ブランズイツク」「デ、グイノイユ」ノ九品種ニシテ其他八品種ハ其ノ中位ニ在リタリ

ロ、根 ノ 直 徑

(以下試験番號(十三)迄ノ品種ニ付考察シ(十四)以下ノ品種ハ供試個體數少キヲ以テ考察ヨリ除外ス)

前記一株根重ノ五〇匁以上ノ五品種ハ何レモ四、七〇耗以上ニシテ全品種中大ナル直徑ヲ明示セリ、即チ二、三ノ例外ヲ除キ根重大ナルモノハ大體直徑大ナルノ傾向アリシモ調査個體數少キヲ以テ兩者ノ相關關係ヲ明瞭ニ示シ得ザリキ

ハ、草 丈

草丈ノ品種間差異ハ顯著ナラザリシモ一三品種ノ雌雄株ノ性別差異ハ明瞭ニシテ一品種ハ雌株ニ比シ雌株ノ草丈大ナリキ、然シ其ノ差異ハ僅少ナリキ

ニ、一 株 莖 數

一株莖數ノ品種間差異ハ雌株ニ於テ最大二四、四本、最小一八、三本ニシテ其ノ差異顯著ナラザリシモ雌雄性別ノ差異ハ極メテ明瞭ニシテ全品種共雌株ハ雌株ヨリ一株莖數大ニシテ十三品種ノ一品種平均ニ於テ三、四本ノ増加ヲ示セリ

ホ、莖 ノ 直 徑

莖徑ノ品種間差異ハ雌株ニ於テ最大一六、〇八耗、最小一二、六耗ニシテ四二耗、ノ差異ヲ示セリ、雌雄性別ノ差異ハ全品種ヲ通ジテ雌株ハ雌株ヨリ莖ノ直徑大ニシテ十三品種當平均直徑一、八耗ノ増大ヲ示セリ、即チ雌株ハ雌株ニ比シ一株當莖數多キモ、莖ノ直徑ニ於テハ反對ニ雌株ニ比シ小ナル傾向ヲ明瞭ニ示セリ

ヘ、第一枝枝下長

第一枝枝下長ノ品種差異ハ雌株ニ於テ最大三六、六耗、最小二九、八耗ニシテ其差異顯著ナラザリシモ雌雄性別ノ差異ハ極メテ明瞭ニシテ一三品種中一二品種ハ雌株ハ雌株ニ比シ枝下長大ニシテ草丈ト同一傾向ヲ示セリ

五、試験成績表

品番 種號	品 種 名	性 別	供 用 苗			發 芽 始 日	草 丈	莖 數	莖 徑	第 一 下 枝 長
			草丈	莖數	株根重 雌雄混合					
1	パ ル メ ツ ト	雌	130.0	11.5	33.4	4.19	160.0	19.4	15.38	38.5
		雄	108.4	9.4		4.20	157.9	20.4	13.43	35.0
2	メ リ ー ワ シ ン ト ン	雌	116.5	8.6	52.8	4.20	169.3	13.7	16.06	42.7
		雄	113.1	10.2		4.20	161.7	20.7	14.20	36.6
3	ジ ャ イ ア ン ト、フ レ ン チ	雌	113.0	12.0	33.2	4.19	172.2	21.1	16.11	38.1
		雄	105.4	7.3		4.19	169.8	22.0	15.19	31.1
4	マ ン モ ー ス、エ ン プ ロ ー	雌	132.0	8.2	44.6	4.21	176.7	17.8	16.50	33.9
		雄	103.8	7.1		4.20	159.3	22.0	12.66	29.9
5	ア ル ジ ャ ン ト イ ニ、 ジ ャ イ ア ン ト、パ ー プ ル	雌	122.5	9.0	61.3	4.19	172.7	17.1	16.33	41.9
		雄	96.1	12.0		4.19	160.4	20.0	15.58	30.2
6	ア ル ジ ャ ン ト イ ニ	雌	114.8	7.7	35.3	4.22	169.3	20.2	16.62	30.7
		雄	102.1	8.1		4.19	165.1	23.6	16.08	30.0
7	サ ツ ト ン ス、 パ ー フ ェ ク シ ョ ン	雌	147.0	10.0	39.7	4.18	169.4	22.7	17.19	32.3
		雄	109.5	7.6		4.18	172.3	24.4	15.93	29.8
8	ズ イ ヨ ウ	雌	122.7	7.5	51.6	4.21	176.7	17.5	16.81	33.9
		雄	106.3	8.2		4.20	167.8	24.3	13.87	33.3
9	ジ ャ イ ア ン ト、ホ ワ イ ト、 ス ノ ウ カ ツ プ	雌	112.8	8.5	35.7	4.24	160.5	15.5	14.16	30.3
		雄	101.1	8.5		4.21	163.1	21.9	13.04	33.9
10	デ、ア ル ジ ャ ン ト イ ニ、 ダ ー テ イ プ	雌	135.0	10.0	46.0	4.23	179.5	20.4	16.05	37.2
		雄	105.7	8.3		4.19	166.8	22.8	13.71	30.7
11	デ、ア ル ジ ャ ン ト イ ニ ハ ア ー テ イ プ	雌	112.9	7.6	33.2	4.22	163.1	19.2	15.65	35.4
		雄	99.7	8.6		4.20	158.9	20.8	14.29	33.1
12	ジ ャ イ ア ン ト、 ワ シ ン ト ン	雌	110.6	10.4	40.8	4.22	185.7	18.3	17.25	41.7
		雄	112.5	7.9		4.19	166.4	18.3	14.78	35.2
13	ボ ン ヅ ア レ ッ ト、 ジ ャ イ ア ン ト	雌	117.2	8.3	37.6	4.22	175.2	18.3	17.11	35.6
		雄	104.8	9.8		4.20	158.4	24.2	14.05	33.4
14	マ ー サ、ワ シ ン ト ン	雄	110.8	10.1	57.5	4.20	162.3	18.8	12.47	32.6
15	コ ノ パ ー ス、コ ロ ツ サ ル	雄	106.0	9.4	47.1	4.20	163.9	21.2	13.42	33.6
16	ヴ ァ イ オ レ ッ ト、デ、ホ ー ラ ン ド	雄	106.1	8.5	62.5	4.22	158.8	19.3	17.29	33.0
17	ス ム ホ ン、プ ラ ン シ ュ ワ イ ヒ	雄	101.2	8.8	40.2	4.20	168.1	22.9	12.84	39.2
18	ジ ャ イ ア ン ト、ス ノ ウ カ ツ プ	雄	94.1	8.0	45.6	4.20	149.2	22.9	12.54	30.0
19	パ リ ス、マ ン モ ー ス	雄	97.0	8.1	42.3	4.20	154.6	22.9	12.23	32.0
20	グ ロー リ ー、オ プ、 プ ラ ン ズ ウ イ ッ ク	雄	93.5	8.4	38.6	4.19	160.8	21.0	14.77	30.6
21	ジ ャ イ ア シ ョ ン、ス ノ ウ ヘ ッ ド	雄	104.2	10.0	42.6	4.20	155.2	20.8	13.16	28.6
22	デ、ヴ ァ イ ノ イ ニ	雄	98.5	8.8	36.0	4.21	159.1	20.1	11.96	33.6
23	バ タ ビ ヤ ン	雄	119.5	13.0	44.4	4.23	160.8	11.6	12.59	32.1

(六) スキートコーン品種選抜豫備試験

一、目的

豊産良質ノ品種又ハ特定形質ニ於テ優良ナル品種ヲ蒐集シ主要特性ノ調査ヲ行ヒ品種選抜試験ニ編入スベキ良品種ヲ選定セントス

二、試験方法

イ、一區面積及區制 一區五坪一區制

ロ、供試面積 七五坪

ハ、標準品種及標準區數 「カントリー、ゼントルマン」 區數二區

ニ、耕種法 播種期五月十日、畦幅二尺五寸株間一尺五寸二本立

三、経過概要

發芽後發育極メテ良好ナリシガ七月十四日ヨリノ連続三日間ノ降雨ニヨリ土壤過濕状態ニ陥リ、栽培組合試験ノ五月一日播種ハ七月十六日倒伏スルニ至リタルヲ以テ直チニ支柱ヲ立テ恢復ニ劣メタリ其他ノ品種試験ニ於テハ其當時別ニ異状ナカリシガ七月中ノ日照寡少ナルニ加ヘ同月下旬二回ノ豪雨襲來シ更ニ八月四日強風雨ニ遭遇シタル爲全圃場全ク倒伏スルニ至レリ、時恰モ雌穂ノ登熟中ナリシ爲其被害甚大ナリキ、加フルニ七月中旬ヨリ八月上旬ニ至リ前記粟ノ螟蛾ノ大發生ヲ見ルニ至リ乳熟中ノ雌穂ノ發育ヲ阻害スルコト甚シク兩者ノ被害ニ依リ本年ハスキートコーンノ試験遂行上甚大ナル支障ヲ來シタリ、從ツテ本年ハ雌穂ノ特性並收量調査ハ正確ニ行ヒ得ザリシガ生育中ノ各種調査ハ順調ニ終了シ、其ノ成績ニ鑑ミ今後ノ試験遂行上参考トナルベキ事項少カラザリキ

四、成績考察

経過概要ニ記載ノ通本年ハ乳熟期ニ倒伏シ且ツ粟螟蛾ノ被害甚大ナリシ爲、雌穂ノ形質及收量ニ付正常ナル成績ヲ得ルコト能ハザリシモ本年限リノ成績ニ依レバ供試品種中ノ黄色系品種ハ標準及エバーグリーン系ノ白色品種ニ比シ何レモ短稈ニシテ雌穂重小ニシテ收量少カリキ、反當子實收量最多カリシハ標準「カントリー、ゼントルマン」ニシテ「オレゴン、エバーグリーン」「フェーリース、アーリー、エバーグリーン」之レニ次ギ何レモ乳熟日數一〇〇日内外ニシテ熟期遅キ品種ニ屬セル、果粒ノ罐詰用トシテノ優劣ニ付テハ本年ハ調査困難ナリキ、本試験供用品種ハ明年度モ繼續シ新ニ米國ヨリ蒐集ノ多數ノ品種ト共ニ品種豫備試験ヲ施行セントス

五、試験成績表(調査事項中主要事項ノミ摘録ス)

品番 種號	品 種 名	草 丈 (下 月 旬)	乳 熟 期	播 種 日 數 日 熟 日	雌 穂 長	雌 穂 重	粒 色	反 實 當 重 子 量	反 實 當 容 子 量	反 容 準 比 率 實 際
1	アーリー、ゴールド	237.3	8.10	93	16.5	30.1	橙 黄	42.0	1.41	54
2	オレゴン、エバーグリーン	266.5	8.16	99	19.1	43.2	濃灰白	58.1	2.03	78
3	ギルス、アーリー、 ゴールド、マーケット	158.1	8.1	84	13.1	22.7	黄	39.4	1.36	52
4	パービース、 アーリースト、カトウバ	236.5	8.9	92	17.4	31.9	紫 黒	48.8	1.68	64
5	ホイップレス、 アーリー、エロー	227.2	8.6	89	13.2	22.0	黄	31.3	1.12	43
6	サンシャイン	194.4	8.4	87	16.0	32.8	黄	47.2	1.61	62
7	ザ、パービー	176.3	8.2	85	14.8	25.4	黄	51.1	1.75	67
8	チャーボリックス	208.9	8.7	90	16.6	25.0	橙 黄	35.1	1.30	50
9	パーナム、エバーグリーン	236.7	8.11	94	15.2	22.1	黄	20.8	0.76	30
10	ブラック、メキシカン	236.7	8.13	96	15.6	25.8	黒	35.1	1.21	47
11	アーリー、アラメダ	214.5	8.11	94	17.5	36.4	濃灰白	44.6	1.58	61
12	パービース、ゴールド、コイン	180.9	8.5	88	15.0	28.3	黄	52.8	1.89	73
13	フェーリース、 アーリー、エバーグリーン	240.9	8.16	99	18.0	43.6	灰 反	53.6	2.02	78
標準	カントリー、ゼントルマン	258.9	8.19	102	17.6	35.2	純灰色	73.2	2.60	100

(七) スキートコーン品種選抜試験

一、目的

有望ト認メラル品種ニ付特性及生産力ノ調査ヲ行ヒ繼續用優良品種ヲ選抜セントス

二、試験方法

イ、一區面積及區制 一區八坪 二區制

ロ、供試面積 一七六坪

ハ、標準品種及標準區數 「カントリー、ゼントルマン」 區數四區

ニ、耕試法 品種豫備試験ト同ジ

三、経過概要

品種選抜豫備試験ノ通り本年ハ七月下旬ヨリ粟ノ螟蛾多數ニ發生シ其ノ被害甚大ナリシニ加ヘ七月中ノ霖照多濕ノ天候ト同月下旬稀有ノ豪雨ニ遭遇シ更ニ八月四日ノ強風雨ノ爲八月五日全圃倒伏スルニ至リ時恰モ大部分ノ品種ガ「フリーミルクステイジ」ニ在リテ雌穂ノ發育著シク阻害セラレ其後引續キ前記粟ノ螟蛾ノ繁殖猛烈ナリシ爲本年ハ正常ナル雌穂ノ特性並收量ニ付テハ充分調査シ得ザリキ、然レドモ乳熟期ニ至ル各種特性調査ハ順調ニ終了シ今後ノ試験遂行上参考トナルベキ成績ヲ收メ得タリ

四、成績考察

イ、雄花抽出始及絹絲抽出始

雄花抽出始ノ最モ早キハ七月四日(播種後日數五六日)最モ晚キハ七月一五日(播種後日數六七日)絹絲抽出始ノ最モ早キハ七月三日(播種後六五日)最モ晚キハ七月二九日(播種後八一日)ニシテ雄花抽出始ヨリ絹絲抽出始ニ至ル日數ハ八日乃至一四日ナリキ

ロ、乳熟日數

播種期ヨリ乳熟期ニ至ル日數ノ最モ短キハ「ゴールデンバンダム」ノ八六日、最モ長キハ「カントリー、ゼントルマン」ノ一〇一日ニシテ一五日ノ差異ヲ示セリ、乳熟期ニ至ル日數及乳熟期間ノ長短ハ播種期ノ早晚並乳熟當時ノ氣温ニ依リ相當相違スルヲ以テ各品種ノ乳熟日數及成熟過程ノ速度等ニ付テハ今後試験ノ上考察セントス

ハ、雌穂ノ形質

雌穂ノ形質ニ付テハ本年ハ乳熟初期ニ於テ倒伏シ正常ナル特性ヲ發揮シ得ザリシ爲今後ノ試験ニ依ツベキモノナレドモ本年ノミノ成績ニ依レバ雌穂長、雌穂重、雌穂ノ太サノ最モ大ナリシハ「ストウエルス、エバーグリーン」最モ小ナリシハ「ゴールデン、バンダム」ニシテ後種ハ前種ニ比シ一穂重ニ於テ約五割少キヲ示セリ、供試品種中ノ黄色種ニ於テ雌穂ノ比較的大ナリシハ「ゴールデン、ダイヤモンド」ナリキ、「カントリー、ゼントルマン」ハ供試品種中雌穂ノ形質ニ於テ特異性ヲ有セリ。各品種ノ優劣判定上最モ重要ナル果汁ノ品質並ニ絶對生産量等ニ付テハ本年豫備調査トシテ主要品種ノ雜詰製造ヲ試ミタルモ採收時期及雜詰製造法等研究ヲ要スベキ事項多クアルヲ以テ單ニ今後ノ試験遂行上参考資料ヲ得タルニ過ギザリキ

而シテ右豫備的調査ノ結果ニヨレバ大體黄色系品種ハ色彩鮮麗ニシテ外觀白色種ニ優リ且ツ果汁ノ粘重度高キモノ多ク、就中「ゴールデンバンダム」ハ色彩濃厚、食味優良ニシテ供試品種中果汁ノ品質ニ於テ最モ卓越セルヲ認メタリ、只本品種ハ前述ノ通收量少キヲ欠點

ト認メラレタリ、尙各品種ノ品質ニ付テハ今後雜詰製造試験續行ノ上研究セントス而シテ本年ノ耕種標準ノ播種期ニ依リテハ乳熟期八月上旬トナリ果粒成分ノ變化最モ迅速ナル時期ニ遭遇スルヲ以テ明年度ヨリ本試験ノ播種期ヲ六月上旬トシ乳熟期ヲ九月上旬ニ招來セシメントス

ニ、子實收量

本年ノ收量ハ前述ノ通正常ナル成熟ヲ透ゲザリシヲ以テ單ニ今後ノ參考資料トシテ成績表ニ示スニ過ギザリキ、今成績ニ依リテ見レバ標準「カントリー、ゼントルマン」及「ホイップレス、アーリーホワイト」收量最モ多ク、「ストウエルス、エバーグリーン」「ゴールデンクロスバンダム」之レニ次ギ何レモ標準比率九七八%ヲ示セリ、供試品種中果粒ノ品質極メテ良好ナリシ「ゴールデンバンダム」ハ標準比率六九%ニシテ供試品種中最モ收量少カリキ、尙今後試験ノ上各品種ノ生産力ニ付正確ナル調査ヲ試ミントス

ホ、粟螟蛾ノ發生ト乳熟期

本年ノ粟螟蛾發生歩合ハ最モ少キ品種ト雖モ五五、六%、多キモノハ九四、八%ニ及ビ前年ニ比シ著シク其ノ發生多數ニシテ大ナル被害ヲ與ヘタリ、而シテ該蟲ノ發生歩合ノ品種間差異ヲ見ルニ乳熟期遅キ「ストウエルス、エバーグリーン」及「カントリー、ゼントルマン」ハ五五乃至五九%ニシテ乳熟期遅キモノハ發生少キ傾向ヲ示セリ、明年度ハ該蟲ノ發生回避時期ニ付キテ參考試験ヲ施行セントス

而シテ縣下「スキートコーン」ノ主産地北佐久郡輕井澤町及上水内郡茅井村飯糰原等ノ高冷地方ニ於テハ本年度該蟲ノ發生殆ンド無カリシハ該蟲ノ發生ト環境トノ關係ニ付重要ナル指示ヲ與ヘラレタリ

以上ノ成績ニ鑑ミ本供試品種ハ全部明年度モ繼續シ本試験ヲ施行セントス

五、試験成績表(調査事項中主要事項ノミ摘録ス)

品番 種號	品 種 名	草 (九下 月旬 丈)	乳 熟 期	播 種 日 數 乳 熟 期 ヨ 熟	雌 穂 長	雌 穂 重	粒 色	反 實 重 子 量	反 實 容 子 量	反 容 準 子 對 率 實 標
1	ホイップレス、 アーリー、ホワイト	223.6	8.7	90	17.2	39.8	濃灰白	59.4	2.09	100
2	ストウエルス、 エバーグリーン	268.7	8.17	100	19.7	51.4	灰 白	55.9	2.06	98
3	ゴールデン、 クロス、バンダム	224.0	8.8	91	17.9	35.7	橙 黄	61.6	2.06	97
4	ゴールデン、バンダム	198.9	8.3	86	16.5	26.3	濃橙黄	45.8	1.45	69
5	パーピース、 シヤンニ、ブルーク	244.9	8.5	88	17.3	38.6	橙 黄	50.2	1.75	83
6	パーピース、アーリー、 フオードフーク	223.6	8.8	91	17.6	35.2	濃灰白	54.2	1.79	85
7	ゴールデン、 ダイヤモンド	234.7	8.12	95	16.9	42.0	橙 黄	44.8	1.51	72
8	パーピース、 デリツシヤス	244.0	8.16	99	20.1	44.6	灰 白	47.6	1.74	83
9	ハウリング、モツブ	259.4	8.14	97	18.1	48.8	濃灰色	42.3	1.43	68
標準	カントリー、 ゼントルマン	286.4	8.19	101	16.9	41.9	純灰色	58.2	2.10	100

第二部 栽培法ニ關スル試験

(一) アスパラガス雌雄別試験 (定植第一年目)

一、目的

アスパラガスノ雌雄株ニ付主要特性並ニ生産力ヲ調査シ結論トシテ適否ヲ驗知セントス

二、試験方法

- イ、一區面積 一五坪
 ロ、供試面積 六〇坪
 ハ、供試品種 メリー、ワシントン及バルメット
 ニ、耕種法 定植期四月十三日、畦幅六尺株間一尺五寸

三、経過概要

品種選抜試験記載ノ通リトス

四、成績考察

本年度ハ定植第一年目ナリシモ草丈、莖數、莖徑及第一枝枝下長ニ於テ品種選抜試験ト全ク同一性別差異ヲ示セリ

- (1) 草丈 兩品種共雌株ハ雄株ヨリ草丈長クシテ「バルメット」ノ雌株區ハ雄株區ニ比シ二、〇九種「メリーワシントン」ハ七、五七種大ナリキ
 (2) 一株當莖數 兩品種共雌株ハ雄株ヨリ一株當莖數大ニシテ「バルメット」ハ雌株區ニ比シ〇、九七種「メリー、ワシントン」ハ其ノ差異一層顯著ニシテ七、〇一本ノ増加ヲ示セリ
 (3) 莖ノ直徑 兩品種共雌株ハ雄株ヨリ莖徑大ニシテ「バルメット」ハ雌株區ニ比シ一、九四種「メリー、ワシントン」ハ一、八五種大ナリキ
 (4) 第一枝枝下長 兩品種共雌株ハ雄株ヨリ枝下長大ニシテ「バルメット」ハ雌株區ニ比シ二、四六種「メリー、ワシントン」ハ六、二九種大ナリキ

五、試験成績表

品 種 名	草 丈	莖 數	莖 徑	第 一 枝 枝 下 長	節 間 長	莖葉黃變期	
						月 日	月 日
バルメット	雌	19.44	15.46	37.33	4.65	10.24	10.24
	雄	20.41	13.52	34.87	4.94	10.24	10.24
メリー、ワシントン	雌	13.70	16.13	42.73	5.01	10.29	10.29
	雄	20.71	14.28	36.44	4.92	10.31	10.31

(二) アスパラガス採收期間試験 (定植第一年目準備調査)

一、目的

嫩莖收穫期間ノ長短ガ後年ノ生育收量ニ及ボス影響ヲ調査シ適當ナル採收期間ヲ驗知セントス

二、試験方法

- イ、一區面積 一二坪
 ロ、供試面積 三六坪

- ハ、供試品種 メリー、ワシントン雄株
 ニ、耕種法 定植期四月十四日、畦幅六尺株間一尺五寸
 三、経過概要 品種選抜試験記載ノ通リトス

四、成績考察

本年度ハ試験ノ準備年度ニシテ生育狀況ノ準備調査ヲナセリ、一株莖數ニ於テ個體變異ノ相當大ナルヲ認メタリ、其他ノ考察ハ本年ハ省略ス

五、試験成績表

定植第一年目準備調査

畦 別	草 丈	莖 數	莖 徑	第 一 枝 枝 下 長	節 間 長	莖葉黃變期	
						月 日	月 日
第 一 畦	150.1	14.1	12.42	35.7	44.6	10.31	10.31
第 二 畦	146.3	19.7	12.28	35.8	41.9	10.31	10.31
第 三 畦	145.2	17.7	13.75	35.6	47.8	10.31	10.31
第 四 畦	157.6	16.6	14.98	34.9	45.3	10.31	10.31
第 五 畦	162.2	21.3	14.56	33.2	46.9	10.31	10.31
第 六 畦	157.8	22.4	14.69	34.2	46.0	10.31	10.31

(三) アスパラガス栽植密度試験 (定植第一年目準備調査)

一、目的

栽植距離ノ廣狹ガ「アスパラガス」ノ生育及收量ニ及ボス影響ヲ調査シ最モ適當ナル栽植密度ヲ驗知セントス

二、試験方法

- イ、一區面積 一二坪
 ロ、供試面積 三六坪
 ハ、供試品種 メリー、ワシントン雄株
 ニ、耕種法 定植期四月十四日、畦幅六尺、株間試験區ノ通

三、経過概要 品種選抜試験記載ノ通リトス

四、成績考察

本年度ハ定植第一年目ニシテ個體變異モ相當大ナリシヲ以テ明瞭ニ試験區間ノ差異ヲ認メ得ザリキ、然シ一株當莖數ニ於テハ明瞭ニ株間廣キモノ程本數大ナル傾向ヲ示セリ、且ツ又莖ノ直徑ニ於テモ株間廣キモノ程直徑ノ大ナル傾向ヲ認メタリ、今後收穫年度ニ入ルヤ各試験區間ノ差異顯著ナルヲ期待セリ

五、試験成績表

區番號	試験區名	發芽始	開花始	草 丈	莖 數	莖 徑	第 一 枝 枝 下 長	節 間 長	莖 葉 黃 變 期
		月 日	月 日						
1	一尺區	4.20	5.12	147.2	12.5	11.65	35.4	47.2	10.28
2	一尺五寸區	4.20	5.12	151.2	15.3	12.61	37.0	46.4	10.28
3	二尺區	4.20	5.12	157.3	18.0	13.20	36.5	44.6	10.30
4	二尺五寸區	4.20	5.12	153.7	17.4	13.22	37.3	41.8	10.30

(四) アスパラガス適地試験 (委託試験)

一、目的

環境ヲ異ニスル縣下三ヶ所ニ委託試験地ヲ設置シ、アスパラガスノ特性及收量ヲ調査シ風土ノ適否ヲ驗知セントス

二、試験方法

- イ、委託個所數 三ヶ所
- ロ、一ヶ所面積 株分苗定植區一〇〇坪、實生苗定植區二〇〇坪
- ハ、供試品種 パルメツト
- ニ、年 齡 株分苗區、親株昭和七年播種、昭和十年五月上旬株分定植
實生苗區、昭和十年六月播種、昭和十一年四月中旬定植
- ホ、耕 區 法 畦幅六尺、株間一尺五寸

三、経過概要

各試験地トモ株分苗定植區ハ本年ハ定植第三年ニ當リ夫々三十日乃至三十五日間嫩莖ノ採收ヲナシ實生苗定植區ハ未ダ株ノ肥大充分ナラザリシヲ以テ本年ハ採收スルコトナク株ノ養成ヲ圖レリ

四、成績考察

(イ) 實生苗定植區(第二年目)

三ヶ所委託試験地ノ莖葉ノ生育狀況ヲ比較スルニ草丈ニ於テ宗賀村最モ大ニシテ奈良原之レニ次ギ三岡村最モ劣レリ、莖數ニ於テハ奈良原最モ多ク次イデ三岡村、宗賀村ノ順位トナレリ、莖ノ直徑ニ於テハ宗賀村最モ大ニシテ奈良原、三岡村之レニ次ゲリ、結局莖葉ノ生長量ニ於テ宗賀村及奈良原試験地良好ニシテ三岡村ハ土壤稍乾燥ニ失シ生育不良ナルモノト認メタリ、尙宗賀村試験地ニ於テ發育中ノ嫩莖及新莖ノ枯死スルモノ相當多數發生シ株ノ生長ヲ阻害セシハ甚ダ遺憾ニシテ被害莖ニ「ボトリチス」病菌ノ寄生セルヲ發見シタルモ嫩莖枯死ノ原因ガ果シテ本病ニ依ルモノナリヤ更ニ又之レガ防除法ニ付テハ今後ノ研究ニ俟タザルベカラズ

(ロ) 株分苗定植區

本年ハ定植第三年目ニ當リ各試験地共三〇日乃至三五日間嫩莖ノ收穫ヲナセリ、其收量ニ於テ宗賀村試験地最モ優リ奈良原之レニ次ギ三岡村ハ著シク不良ナリキ、殘莖莖數ニ於テ奈良原ハ最モ多ク今少シ採收量増加ノ餘地アルヲ認メタルモ宗賀村ノ收量ニハ及バザルベシ。草丈ニ於テモ宗賀村、奈良原良好ニシテ三岡村劣レリ、嫩莖ノ品質ニ於テモ宗賀村、奈良原産ノモノハ太サ大ニシテ外觀肉質共良好ナリキ

(五) スキートコーン栽培條件組合試験

一、目的

耕種條件中播種期、栽植密度及施肥量ノ組合ガ「スキートコーン」ノ生育收量ニ及ボス影響ヲ驗知シ栽培法改善上參考ニ資セントス

二、試験方法

- イ、一區面積及區制 一區八坪 二區制
- ロ、供試面積 四八〇坪
- ハ、供試品種 「ストウエルス、エバークリーン」
- ニ、耕 種 法 播種期 試験區ノ通、畦幅二尺五寸、株間及一株本數試験區ノ通

二、試験區別

株 間 尺	播種期 一 株 本 數		五 月 十 五 日		五 月 三 十 日	
	一	二	一	二	一	二
0.7	①		⑦		⑬	
1.0	②	③	⑧	⑨	⑭	⑮
1.5	④	⑤	⑩	⑪	⑯	⑰
2.0		⑥		⑫		⑱

肥料試験區ハ五月十五日播種ノ各株間試験區ニ付普通肥料區、五割増區、五割減區ヲ設置ス

三、経過概要

品種選抜豫備試験ニ記載ノ通り豪雨ト強風ノ爲八月五日一夜ニシテ全圃倒伏スルニ至リタルヲ以テ直チニ株毎ニ支柱ヲ施シ草勢ノ恢復ニ努メタレドモ根部ノ損傷並莖稈ノ折損甚大ニシテ雌穗登熟ノ初期ニ當リシヲ以テ其後ノ發育及成熟著シク阻害セラレ從ツテ本年ハ正常ト認ムル雌穗及收量ノ調査ヲ行フコト能ハザリキ

四、成績考察

本年ノ成績ハ倒伏後ノ生長正常ナラザリシ爲明年度ノ豫備的資料タルニ過ギザレドモ二、三ノ事項ニ付大體ノ傾向ヲ示セバ次ノ如シ

イ、播種期ト發芽日數トノ關係

播種後ノ發芽日數ヲ見ルニ五月一日播種區ハ五月十五日區ニ比シ二日、五月三十日區ニ比シ五日間遅延セリ、即チ本試験區間ニ於テハ播種期早キモノ程發芽日數多キ傾向ヲ示セリ

ロ、播種期ト草丈トノ關係

本試験區間ニ於テハ播種期早キモノ程草丈稍短キ傾向ヲ認メラレタレドモ其ノ差ハ顯著ナラザリキ、尙栽植密度區間ニハ一定ノ傾向ヲ認メ得ザリキ

ハ、栽植密度ト稈ノ太サトノ關係

栽植密度ト稈ノ太サトノ關係ハ播種期及施肥量ノ各區共明瞭ニ同一傾向ヲ示シ反當栽植本數最モ密ナル一尺二本立區ガ稈ノ太サ最モ小ナリキ、而シテ稈ノ太サハ大體株間廣キモノ程大ナルノ傾向ヲ示セリ。(二本立ノ株間一尺、一尺五寸、二尺ノ三區間ニ最モ明瞭ニ現ハレタリ)、播種期及施肥量ノ相違ニ依ル稈ノ太サノ差異ハ本年ノ成績ニ於テハ明瞭ナラザリキ

ニ、栽植密度ト分蘖數トノ關係

栽植密度ト分蘖數トノ關係ハ播種期 施肥量ノ各區トモ株間廣キモノ程分蘖數大ナル傾向ヲ明瞭ニ示セリ、尙播種期ノ早晚ニ依ル分蘖數ノ多少ハ本年ノ成績ニ於テハ認メラザリキ

ホ、播種期栽植密度ト雌穗數トノ關係

播種期ト一個體當雌穗數トノ關係ハ播種期ノ遅レルニ從ヒ雌穗數漸次減少スルノ傾向ヲ示

セリ。栽植密度ト雌穂數トノ關係ハ播種期及施肥量ノ各區共通ニ一體當雌穂數最モ多キ
ハ一尺五寸一本立區ニシテ最モ少キハ一尺二本立區ニシテ大體反當個體本數ノ多キモノ程
一個體當雌穂數減少スルノ傾向ヲ示セリ

其他雌穂ノ形質ト栽培條件トノ關係ニ付種々ノ相關々係アルガ如キモ本年ハ倒伏ノ爲雌穂
ノ生長正常ト認メ難カリシヲ以テ今後試験ノ上考察セントス

へ、播種期ト乳熟日數トノ關係

播種期ト乳熟期ニ至ル日數トノ關係ハ五月一日播種一〇〇日、五月十五日播種一〇〇日、
五月三十日播種約八八日ニシテ本試験ノ播種期ノ範圍内ニ於テハ播種期ノ晩クナルニ從ヒ
乳熟日數短縮スルノ傾向明瞭ナリキ、然レドモ播種期ノ五月三十日以後ノ場合ノ乳熟日
數ニ付テハ今後ノ試験ニ俟タントス、栽植密度ト乳熟日數トノ間ニハ特ニ差異ヲ認メザリ
キ

ト、播種期ト収量トノ關係

本試験ニ於ケル三回ノ播種期ニ於テハ最モ晩キ五月三十日播種區ハ之レヨリ早キ五月一日及
十五日播種區ニ比シ収量著シク減少セルヲ示セルモ右ノ本年ノ倒伏ノ影響相當大ナルモノト
考慮セラル、ヲ以テ更ニ今後試験ノ上研究セントス、其他収量ト栽培條件トノ相關々係ニ
付テハ今後試験ニ俟タントス

五、試験成績表(調査事項中主要事項ノミ摘録ス)

試番 區號	播種 期	施肥 量	株 間	仕本 立數	乳 熟 期	播種日 數 乳 熟	草 丈	分 蘗 數	稈 ノ サ	一 當 數 個 雌 穂	雌 穂 重	反 當 重 子 量	反 當 容 子 量
			尺		月日	日	種	本	種	個	匁	匁	石
1	五月一日	標準	0.7	1	8.20	111	263.1	2	23.8	0.6	53.3	141.4	5.46
2			1.0	1	8.21	112	259.3	2	25.8	0.8	51.5	121.0	4.67
3			1.0	2	8.20	111	257.9	2	23.3	0.4	53.6	115.8	4.32
4			1.5	1	8.21	112	257.9	3	25.9	1.1	52.5	102.8	3.95
5			1.5	2	8.21	112	268.5	3	24.9	0.7	45.6	120.0	4.71
6			2.0	2	8.22	113	258.9	4	25.7	0.9	50.5	142.1	5.34
7	五月十五日	標準	0.7	1	8.23	100	269.1	1	24.3	0.5	51.9	116.1	4.50
8			1.0	1	8.23	100	273.5	2	25.0	0.7	52.5	99.4	3.80
9			1.0	2	8.23	100	269.6	3	23.4	0.4	49.5	116.2	4.24
10			1.5	1	8.23	100	273.5	3	26.5	0.9	57.1	107.6	4.17
11			1.5	2	8.23	100	274.2	3	24.8	0.6	56.0	137.2	5.24
12			2.0	2	8.22	99	269.3	4	26.2	0.7	52.2	117.6	4.27
13	五月三十日	標準	0.7	1	8.27	89	289.8	1	25.2	0.4	51.0	84.3	3.18
14			1.0	1	8.28	90	276.8	2	26.3	0.6	58.4	92.2	3.62
15			1.0	2	8.27	89	290.9	2	23.7	0.3	54.0	66.0	2.54
16			1.5	1	8.27	89	269.1	2	25.6	0.8	57.0	86.8	3.39
17			1.5	2	8.25	87	272.9	3	25.5	0.4	46.3	61.6	2.41
18			2.0	2	8.24	86	279.2	4	27.0	0.5	52.2	76.8	3.01
19	五月十五日	五割増	0.7	1	8.21	98	277.2	2	25.8	0.6	55.0	127.6	4.89
20			1.0	1	8.21	98	274.6	2	24.9	0.6	56.5	112.5	4.26
21			1.0	2	8.21	93	271.3	3	23.2	0.3	49.3	97.2	3.74
22			1.5	1	8.22	99	266.1	3	25.3	0.9	55.9	112.8	4.27
23			1.5	2	8.22	99	282.5	3	24.3	0.5	53.4	123.2	4.53
24			2.0	2	8.21	98	264.5	5	25.4	0.6	53.5	112.8	4.24

試番 區號	播種 期	施肥 量	株 間	仕本 立數	乳 熟 期	播種日 數 乳 熟	草 丈	分 蘗 數	稈 ノ サ	一 當 數 個 雌 穂	雌 穂 重	反 當 重 子 量	反 當 容 子 量
			尺		月日	日	種	本	種	個	匁	匁	石
25	五月十五日	五割減	0.7	1	8.23	100	279.1	1	24.9	0.6	62.5	148.0	5.56
26			1.0	1	8.23	100	272.0	2	25.2	0.7	60.4	138.9	5.43
27			1.0	2	8.23	100	272.2	2	23.1	0.4	52.2	114.3	4.35
28			1.5	1	8.22	99	268.9	3	26.3	0.9	61.0	119.2	4.55
29			1.5	2	8.22	99	267.3	3	24.2	0.5	57.7	139.6	5.43
30			2.0	2	8.22	99	270.7	4	25.0	0.7	56.7	149.5	5.66

第三部 蔬菜採種ニ關スル試験

(一) 葱頭雨除試験

一、目的

葱頭採種上雨除ノ效果及雨除方法ノ適否ヲ驗知セントス

二、試験方法

イ、供試品種 エローダンバース(大阪産)

ロ、一區面積 被覆區八坪、放任區一坪

ハ、供試面積 一九坪

ニ、耕種法

定植期九月三十日、母球ノ大四〇匁乃至六〇匁(平均五一、七匁)、藥劑撒布期、硫酸ニコチ
ン加用四斗式石灰ボルドウ液ヲ五月二十五日、六月八日、六月十九日、七月二日(此期ニ
限リボルドウ液ヲ除ク)、七月十四日、七月二十八日

三、經過概要

大阪産母球ヲ使用シ大サ均一ナラシメ、定植後ハ秋期ノ生長良好ニシテ殊ニ冬期中甚ダ温
暖ナリシ爲、根部ノ發育良好ニシテ春暖ト共ニ一層生育旺盛トナリ、前年度ノ大阪産母球區
ノ發育甚ダ不均一ナリシニ比スレバ、各區共比較の均一ニ生育ヲ遂ゲ順調ニ抽苔セリ、然ル
ニ七月中旬ノ開花盛ヨリ七月下旬ノ開花末期ニ至リ、花穂中ニ「スリツプス」ノ發生激増シ
一花穂内ノ該蟲ノ生存數五〇〇匹以上ノモノ少カラズ、小果梗ヲ舐食スルコト甚大ナリキ、
之レニ加ヘ同時期ノ天氣甚ダ多濕ナリシ爲小果梗ニ一種ノ *Macrosiphum* 菌ニ依ル病害發生
シ、小果梗ノ枯死スルモノ多ク本年ノ稔實作用ハ前年ニ比シ著シク被害セラレタリ
開花成熟期間中ノ被覆方法並兩試験區ノ種子調製方法等ハ前年度ト同様ナリキ

四、成績考察

- (1) 反當採種量 被覆區ハ放任區ニ比シ反當重量ニ於テ三九%ノ増加ニシテ前年ノ六乃至二
一%ニ比スレバ被覆ノ效果一層顯著ナリキ
- (2) 一升重量及千粒重量 被覆區ハ放任區ニ比シ一升重三二匁重ク、千粒重ニ於テ〇、七六瓦
多ク且ツ千粒容量ニ於テモ(測定ニ依ル)著シク大ニシテ被覆區ハ放任區ニ比シ種子ノ充
實良好ニシテ且大粒ナルヲ示セリ
- (3) 不稔種子割合 「スリツプス」及前記病害ニ依ル一穂當不稔種子數ハ本年度ハ測定セザリ
シ爲成績表ニ依リ之レヲ指示シ得ザルモ被覆區ハ放任區ヨリ明瞭ニ不稔種子數少キヲ認メ
タリ

尙一穗當不稔種子數ヲ前年度ト比較セバ本年度ハ前年度ニ比シ著シク其ノ數(少クトモ三倍以上ト推定セラル)ヲ増大シ本年度ノ採種量ニ大ナル惡影響ヲ與ヘアリ

(二) 屑種子歩合 前年同様被覆區ハ放任區ヨリ屑種子歩合少カリシモ本年度ハ被覆區ガ前年度ヨリ屑種子量甚メ増加シ前年度ノ本場產母球ノ二倍大阪產母球ノ四倍強トナリシ爲兩區間ノ差異ハ前年程大ナラザリキ

五、試驗成績表(主要事項ノミ摘録ス)

試驗區名	開花始	開花終	成熟期	成日熟數	反當播種量		反種量當子層重	一重升量	千重粒量
					重量	容量			
放任區	6.18	7.22	8.6	49	20.0	9.5	556	212	3.06
被覆區	6.18	7.20	8.8	51	28.0	11.5	445	244	3.82

(二) 病害蟲防除試驗

一、目的

適當ナル病害蟲防除方法ヲ驗知セントス

二、試驗方法

- イ、供試品種 エローダンバース
- ロ、一區面積及區制 一區二、七坪 二區制
- ハ、供試區積 三二坪

ニ、試驗區別

- 一、三斗五升式石灰ボルドウ液(硫酸銅一二〇匁、生石灰一二〇匁、水三斗五升)
- 二、硫酸ニコチン加用石灰ボルドウ液(硫酸ニコチン七九匁、ロヂンソーブ六三〇匁、三斗五升式石灰ボルドウ液)
- 三、煙草粉、石灰ボルドウ液(煙草粉(二割消石灰、五分メリケンコ混用)三斗五升式石灰ボルドウ液)
- 四、硫酸ニコチン加用石灰硫黃合劑(硫酸ニコチン八〇〇倍液、石灰硫黃合劑一五〇倍液カゼイン石灰、水一斗ニ付六匁)
- 五、除蟲菊石油乳劑、石灰ボルドウ液(原液(石油一升、除蟲菊三十匁、ロヂンソーブ二匁、水一升)ノ三〇倍液、三斗五升式石灰ボルドウ液)

六、無撒布

藥劑撒布期日

- 第一回 五月二十五日(開花前) 第四回 七月二日(開花中)
- 第二回 六月八日(開花前) 第五回 七月十四日(同)
- 第三回 六月十九日(開花中) 第六回 七月二十八日(開花後)

三、經過概要

開花始六月十七日、開花終七月二十一日、收穫期八月六日、藥劑撒布開花前二回、開花中三回、開花後一回、其他雨除試驗記載ノ通

四、成績考察

(1) 反當採收量

反當採種容量ニ於テ硫酸ニコチン加用石灰ボルドウ液區最高ニシテ無撒布區ヨリ一四、八

%増收シ其他ノ藥劑撒布區ニ在リテハ前年度同様各區間ノ收量差異顯著ナラズ且ツ無撒布區ニ比スレバ收量稍多カリシモ其ノ差ハ僅少ニシテ、前年ノ如ク各藥劑撒布區ト無撒布區トノ差異顯著ナラザリキ

而シテ各藥劑撒布區ハ他ノ試驗區ト共ニ本年ハ「スリップス」ノ發生著シク小果梗ノ表面ヲ舐食セラルルコト甚シク、加フルニ病害ノ發生ヲ伴ヒタル爲メ小果梗ノ發育ヲ害シ稔實セズシテ枯死スルモノ相當多數ニ現ハレ稔實作用著シク阻害セラレタリ

尙反當收量ノ重量ニ於テ硫酸ニコチン加用石灰硫黃合劑區ガ無撒布區ヨリモ僅カニ少カリシハ、個體變異ニ依ルモノナルカ藥劑ノ影響ナルカ今後ノ試驗ニ俟タントス

(二) 屑種子歩合

無撒布區ハ他ノ何レノ藥劑撒布區ヨリモ屑種子量大ナリシモ、各藥劑撒布區ノ屑種子重ガ前年度ヨリ著シク増加シタル爲メ無撒布トノ差異ハ前年ノ如ク顯著ナラザリキ

(三) 一升重及千粒重

硫酸ニコチン加用石灰硫黃合劑區ハ一升重及千粒重共ニ最下位ニ在リ稔實作用最モ不良ナリキ、其他ノ藥劑區間ニ於テハ差異僅少ナリキ

五、試驗成績表(主要事項ノミ摘録ス)

區番號	試驗區名	反當採種量		無容率撒對量布スル分	反種量當子層重	一採株種當量	一重升量	千重粒量
		重量	容量					
1	三斗五升式石灰ボルドウ液區	17.6	8.7	107	988	4.90	203	2.91
2	硫酸ニコチン加用石灰ボルドウ液區	18.5	9.3	115	888	5.14	199	2.82
3	石灰ボルドウ液煙草粉區	16.8	8.5	105	911	4.66	198	2.79
4	硫酸ニコチン加用石灰硫黃合劑區	15.0	8.2	102	959	4.17	182	2.58
5	石灰ボルドウ液除蟲菊石油乳劑區	17.6	8.8	108	984	4.88	199	2.81
6	無撒布區	15.6	8.1	100	1.183	4.34	192	2.70

(三) 葱頭定植時期試驗

一、目的

葱頭採種栽培上最モ適當ナル母球定植期ヲ驗知セントス

二、試驗方法

- イ、供試品種及母球ノ大サ エローダンバース(大阪產)一球平均五二、七匁標準偏差(±)六、七九
- ロ、一區面積及區制 二、七坪 二區制
- ハ、供試面積 二七坪
- ニ、試驗區別 九月二十日植區、九月三十日植區、十月十日植區、十月二十日植區、十月三十日植區
- ホ、耕種法 雨除試驗ニ同ジ

三、經過概要

雨除試驗記載ノ通リトス

四、成績考察

(1) 抽苔、開花期及成熟期抽苔期及開花期ハ共ニ定植期最モ早キ九月二十日區ト最モ晚キ十

月三十日區トノ間ニ僅カニ三日間ノ遲延アルニ過ギザリキ、成熟期ニ於テモ各區間ニ於テモ各區間ニ明瞭ナル差異ナカリキ

(a) 果柱長及果柱直徑 十月十日區ハ果柱長及果柱直徑共ニ他ノ區ヨリモ最も大ナリキ、而シテ十月十日以前ニ定植シタル二區ハソレ以後定植シタル二區ヨリモ果柱長大ナルモ果柱直徑ハ却ツテ減少セル傾向ヲ示セリ

(b) 採種量 十月十日定植區ハ採種量最も多ク成績最良ナリキ、其他ノ區ハ之ノ時期ヲ中心トシソレ以前定植ノモノハソレ以後定植シタルモノヨリ總シテ採種量多ク之ノ時期ヲ經過セバ急激ニ減少シ十月十日區ニ比シ十月二十日區ハ一二%十月三十日區ハ二五%ノ激減ヲ示シ大體前年ト同一ノ傾向ヲ示セリ

(c) 屑種子歩合 各區間ニ一定ノ傾向ヲ認メ得ザルモ最終ノ十月三十日區最も屑種子歩合大ナリキ

(d) 一升重量 十月十日區最も重ク他ノ區ハ採種量ト同一ノ傾向ヲ示シソレ以前定植シタルモノハ一升重大ナルモノレ以後定植シタルモノハ著シク減少セリ

五、試験成績表

區番號	試驗區名	開花始	開花終	成熟期	成熟日數	反當採種量		反當屑種子重量	一升重量	千粒重量
						重量	容量			
1	九月二十日區	6.18	7.20	8.6	48	15.8	7.6	547	210	3.19
2	九月三十日區	6.20	7.22	8.5	45	15.7	7.5	805	211	3.20
3	十月十日區	6.21	7.21	8.7	47	16.2	7.6	709	213	3.18
4	十月二十日區	6.21	7.22	8.4	44	13.5	6.7	461	201	2.99
5	十月三十日區	6.21	7.21	8.3	43	11.5	5.7	883	203	3.15

(四) 葱頭母球大小試験

一、目的

葱頭母球ノ大小ガ採種量並種子ノ品質ニ及ボス影響ヲ驗知セントス

二、試験方法

- イ、供試品種 エローダンバース(大阪産)
 ロ、一區面積及區別 三、三坪 一區制
 ハ、供試面積 一〇坪
 ニ、試験區別 大球區(七〇—一七五匁) 中球區(五〇—一五五匁)
 小球區(三〇—一三五匁)

ホ、耕種法 雨除試験ニ同ジ

三、經過概要

雨除試験記載ノ通りトス

四、成績考察

(1) 抽苔期、開花期及成熟期 抽苔期及開花期共ニ小球區ハ大、中兩區ヨリモ四日乃至五日早カリキ、大、小兩區ノ間ニハ差異認メラレザリキ、又成熟期ニ於テハ三區共差異殆ンド無カリキ

(a) 果柱長、果柱直徑 果柱長ハ中球區最も大ナリシモ果柱直徑ニ於テハ大球區最も大ナリキ

(b) 株當花穂數 大球區最も多ク中球區之レヨリ稍減少シ小球區ニ於テ特ニ減少セリ

(c) 反當採種量 中球區最も收量多ク大球區、小球區ノ順位ニ減少セリ

(d) 一升重及千粒重量 一升重ハ三區間ニ差異極メテ少カリキ、千粒重ニ於テハ中球區最も良好ニシテ他ノ大、小兩區ノ差異ハ殆ンド無カリキ

五、試験成績表

(1) 生育調査

區番號	試驗區名	開花始	開花終	成熟期	成熟日數	反當採種量		反當屑種子重量	一升重量	千粒重量
						重量	容量			
1	大球區	6.21	7.22	8.4	44	20.0	9.8	1,040	204	2.90
2	中球區	6.21	7.20	8.3	43	21.4	10.6	769	202	3.20
3	小球區	6.17	7.23	8.4	48	18.5	8.9	720	208	2.99

庶務部

1. 豫算 (昭和12年度)

歳出經常部	9 3 0 0 3 圓
俸給	1 4 8 0 6 圓
雜給	1 0 0 9 8 圓
場費	5 7 1 8 圓
米原種圃費	3 4 8 3 圓
大麥原種圃費	1 7 6 0 圓
小麥原種圃費	6 0 9 2 圓
甘藷原種圃費	1 0 0 0 圓
稻熱病豫防試驗費	3 8 7 8 圓
肥料施用方法改善試驗費	3 3 0 2 圓
小麥獎勵品種決定試驗費	1 2 1 7 圓
農具研究費	1 9 0 5 圓
農産加工研究費	3 8 0 0 圓
綠肥根瘤菌培養配付費	7 9 7 圓
豆類根瘤菌培養配付費	3 0 0 圓
果樹苗圃費	2 0 0 0 圓
加工用蔬菜及雜穀指定試驗費	8 1 3 9 圓
肥料適量査定試驗費	3 2 2 0 圓
共同作業場作業員講習費	1 9 8 7 圓
經濟飼料利用試驗費	5 0 0 圓
畑作指導所費	7 7 7 0 圓
飼料作物試驗費	1 1 2 3 1 圓
歳出臨時部	1 5 0 4 8 圓
大麥原種圃費	1 5 4 3 圓
大豆原種圃費	1 4 5 9 圓
小豆原種圃費	4 3 5 圓
草花採種試驗費	1 6 8 5 圓
冷害地試驗費	9 9 2 6 圓
歳入經常部	
手數料	2 圓 2 0 錢
雜收入(主トシテ生産物賣拂代)	1 0 7 7 6 圓 8 8 錢
歳入臨時部	
雜收入(生産物賣拂代)	4 7 3 圓 6 3 錢

2. 練習生ノ養成

本年度養成セル練習生次ノ通り

原籍	木川前並青	内上澤木柳	敬嘉秀守孝	二巨雄三彦
南佐久郡岸野村一、五六三				
北安曇郡常盤村五六七				
下伊那郡龍江村二、四四九				
南佐久郡野澤町大字野澤六二				
南佐久郡烏川村三、〇八〇イ號				

3. 質問應答

1.508件

雜件	174件
合計	1682件

4. 印刷物ノ刊行

印刷物名	発行月日	部數
長野縣立農事試驗場報告第六號	昭和12年1月	800部
昭和十年度業務概要	昭和12年8月	450部
農林省指定肥料施用方法改善試驗成績表第一號	昭和12年12月	300部

5. 場員ノ出張

用務	日數
講習講話	315日
實地指導	295日
試驗用務	651日
農事視察	195日
其ノ他	98日
縣山外	118日
合計	1672日

6. 參觀人

8.244名

内	本場	6.266名
	果樹試驗地	1.978名

7. 文 書 件 數

5.320 件

内 { 收 受
送

4.623 件

697 件

8. 職

員 (昭和12年中)

就職年月日	所 屬 部	官 職	氏 名
昭和 6年11月25日		地方農林技師 場長	前 田 源 吉
昭和 3年 8月11日	菌 蟲 部	技 師	田 邊 忠 一
大正10年 4月20日	園 藝 部	技 師	藤 原 玉 夫
昭和10年 7月11日	化 學 部	技 師	山 本 狷 吉
昭和 4年 4月24日	菌 蟲 部	技 師	栗 林 數 衛
昭和12年10月11日	桔梗ヶ原試驗地	技 師	山 崎 義 人
大正14年 1月27日	農 具 係	技 師	伊 東 祐 夫
昭和10年 8月28日	畑作指定試驗係	技 師	晝 田 榮 吉
大正11年 4月11日	園 藝 部	技 師	矢 田 憲 治
昭和11年10月21日	種 藝 部	技 師	柴 崎 照 敬
昭和12年10月15日	桔梗ヶ原試驗地	囑託技師	高 久 常 夫
昭和12年 6月30日	庶 務 部	主 事 補	北 島 俊 夫
昭和12年 3月31日	庶 務 部	主 事 補	立 野 金 造
昭和10年10月13日	種 藝 部	技 手	岡 田 吉 治
昭和 4年10月 8日	化 學 部	技 手	弓 前 勝 三
昭和 8年10月10日	菌 蟲 部	技 手	山 増 重 雄
昭和 4年 5月 5日	化 學 部	技 手	伊 崎 孝 治
昭和 7年 9月20日	種 藝 部	技 手	柴 本 一 夫
昭和12年10月11日	桔梗ヶ原試驗地	技 手	清水 正 照
昭和 2年 3月 1日	菌 蟲 部	技 手	關 谷 一 郎
昭和 8年 4月19日	桔梗ヶ原試驗地	技 手	松 崎 寅 男
昭和10年 7月10日	種 藝 部	技 手	大 山 展 吉
昭和 5年 6月30日	種 藝 部	技 手	山 崎 邑 吉
昭和12年10月14日	桔梗ヶ原試驗地	助 手	漆 畑 錦 太郎
昭和12年 5月17日	化 學 部	助 手	沼 尾 林 一 郎
昭和11年 6月10日	園 藝 部	助 手	山 下 政 友
昭和10年 7月10日	畑作指定試驗係	助 手	小 林 廣 明
昭和 9年 1月25日	菌 蟲 部	助 手	市 川 久 雄
昭和 9年 6月19日	種 藝 部	助 手	宮 原 信 盛

昭和10年 5月31日	園 藝 部	助 手	松 本 良 一 郎
昭和10年 5月31日	化 學 部	助 手	坪 井 幸 雄
昭和10年 5月31日	種 藝 部	助 手	友 野 袈 藏
昭和10年 5月31日	種 藝 部	助 手	木 内 伊 勢 次 郎
昭和11年 4月11日	種 藝 部	助 手	川 瀬 薫 六
昭和10年 7月17日	園 藝 部	助 手	奥 村 千 秋
昭和10年 7月 8日	種 藝 部	助 手	永 井 憲 康
昭和12年 5月 5日	農 具 係	助 手	峯 村 恒 夫
昭和12年 5月12日	桔梗ヶ原試驗地	助 手	有 賀 康 富
昭和12年 6月16日	農 具 係	助 手	太 田 勝 衛
昭和12年11月30日	種 藝 部	助 手	丸 山 貞 夫

轉 退 職 員

轉退職年月日	所 屬 部	官 職	氏 名	摘 要
昭和12年 6月14日	庶 務 部	主 事 補	城 戸 幸 一 郎	農事試驗場下伊那分場へ轉任
昭和12年 6月29日	化 學 部	助 手	大 塚 三 郎	退 職
昭和12年12月27日	化 學 部	技 師	山 本 狷 吉	退 職
昭和12年 5月25日	種 藝 部	技 手	藤 井 權 藏	福井縣へ出向
昭和12年11月15日	種 藝 部	助 手	原 好 男	縣立種畜場へ轉任

下伊那分場業務概要

種 藝 部

水 稻

耕 種 梗 概

1. 苗 代

(1) 撰 種

次ノ比重ヲ標準トシテ鹽水撰ヲナス

無芒粳	比重	1.13
有芒粳	比重	1.10
糯	比重	1.10

(2) 浸 種

撰種後一週間桶中ニ浸種シ水ノ腐敗セザル様時々清水ト交換シ同時ニ種粳ヲ上下ニ反轉ス

(3) 整 地

前秋約5寸ノ深サニ耕起シ3月下旬更ニ土塊ヲ細碎シ代播ヲ行ヒ平坦トナシ既定ノ肥料ヲ施用シ更ニ1回代播及代均ヲ行ヒ5日内外排水シテ乾固セシメ播巾4尺、通路1尺(深サ3寸)ノ揚床ヲ造ル

(4) 肥 料

肥料名	坪當施肥量	推 定 三 成 分			備 考
		N	P	K	
硫 安	60	12.3	—	—	第二回代播前混合施用
蠟 粕	50	4.5	0.6	—	
過磷酸石灰	40	—	7.8	—	
硫酸加里	20	—	—	9.6	
合 計	170	16.8	8.4	9.6	

(5) 播 種

4月10日落水シテ坪當浸種粳2合(不浸種粳1.6合)ノ割合ニ播種後摺込及河砂5升撒布ス

(6) 灌漑排水

播種翌朝ヨリ風雨又ハ寒冷ノ日ヲ除キ日中ハ減水シテ床面ノ所々露出スル程度ニ減水シ夜間ハ温水地ニヨル温水ヲ以テ灌水スル

(7) 間 引

苗ノ齊一ナル育成ヲ計ランガ爲發芽後第1葉開葉ノ頃ヨリ1寸平方ニ1本育テニ間引ヲ行ヒ1坪當1合播内外ノ程度ニ育苗ス

(8) 其ノ他管理

腐敗病ノ豫防ヲ以テ4斗式石灰ボルドウ液坪5合ノ割合ニ噴霧器ヲ以テ發芽當時撒布ヲ行フ

2. 本 田

(1) 整 地

前秋耕土全部ヲ耕起シ4月初旬更ニ耕鋤土塊ヲ細碎シ噴塗代播ヲ行ヒ施肥後均霑トス

(2) 肥 料

一 毛 作 地

肥料名	反當施肥量	推 定 三 成 分		
		N	P	K
堆 肥	300	1.500	0.900	1.500
硫 安	5	1.025	—	—
蛹 / 粕	10	.900	0.120	—
過 磷 酸 石 灰	10	—	1.950	—
硫 酸 加 里	2.5	—	—	1.200
生 石 灰	20	—	—	—
計	—	3.425	2.970	2.700

麥 作 跡 地

肥料名	反當施肥量	推 定 三 成 分		
		N	P	K
堆 肥	300	1.500	0.900	1.500
硫 安	7	1.435	—	—
蛹 / 粕	5	.450	0.060	—
過 磷 酸 石 灰	9	—	1.755	—
硫 酸 加 里	3	—	—	1.440
生 石 灰	30	—	—	—
計	—	3.385	2.715	2.940

(3) 播 秧 期

一毛作地 5月下旬—6月上旬

二毛作地 6月下旬—7月上旬

(4) 植付密度

種 別	畦 幅	株 間	一坪株數			反當苗數
			一坪株數	一株苗數	一坪苗數	
標 準 作 原 種 圃	1尺	6寸	60株	2本	120本	36.000本
	1尺	3寸	120株	1本	120本	36.000本

(5) 中耕除草

種 別	日 數		主 目 的	方 法
	植 付 ヲ リ	前 回 ヲ リ		
第 一 番	10日	—	中耕株際土除	平鋤手取
第 二 番	30日	15日	土壤膨軟	除草器
第 三 番	45日	15日	除 草	手 取
第 四 番	60日	15日	除 草	手 取

(6) 灌漑排水

植付後活着迄 稍深水
 活着後穂孕期迄 極淺水
 穂孕期ヨリ開花中 稍深水
 傾穂以降 落水(過乾ニ失セザルコト)

(7) 病蟲害豫防

二化螟蟲 被害莖ノ摘採
 苞蟲浮塵子 除蟲菊木灰合劑撒布

(8) 收穫並調製

黃熟期刈取 7—10日間架掛ヲ行ヒ脱穀扱摺ヲナス

1. 豐 凶 考 照 試 驗

目 的

本試験ハ年々同一圃場ニ於テ同一設計ノ下ニ施行シ所定ノ時期ニ於テ生育狀況ヲ調査シ之ヲ例年ト比較對照シ又氣象ノ如何ヲ參照シテソノ年ノ豐凶ヲ豫知セントス

設計概要

一區面積 5坪 2區制
 耕種梗概 播秧期6月3日、其ノ他ハ一般耕種梗概ニ依ル

供試品種

早 生 無芒愛國、管島、畿内早生157號
 中 生 銀坊主、改良神力、早大關3號
 晚 生 龜治、木曾錦、萬作9號

各時期ニ於ケル生育狀況及收量成績次ノ如シ

(1) 大暑ニ於ケル生育狀況

品 種 名	昭 和 十 二 年 度		平 年		比 較 增 減	
	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數
早生三種平均	2.60尺	17.3本	2.49尺	18.5本	(+) .11尺	(-) 1.2本
中生三種平均	2.22	20.6	2.16	22.3	(+) .06	(-) 1.7
晚生三種平均	2.76	17.4	2.69	18.3	(+) .07	(-) 0.9

(2) 二百十日ニ於ケル生育狀況

品 種 名	昭和十二年度		平 年		比 較 増 減	
	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數
早生三種平均	4.12	15.7	4.06	16.0	(+) 0.06	(-) 0.3
中生三種平均	3.77	17.3	3.65	19.1	(+) 0.12	(-) 1.8
晩生三種平均	4.30	13.8	4.38	14.8	(-) 0.08	(-) 1.0

(3) 收 量 成 績

品 種 名	昭和十二年度		平 年		比 較 増 減	
	反當收量	一升重量	反當收量	一升重量	反當收量	一升重量
早生三種平均	3.154	385	3.418	391	(-) 0.264	(-) 2
中生三種平均	3.323	393	3.518	391	(-) 0.195	(+) 2
晩生三種平均	3.290	391	3.407	390	(-) 0.117	(+) 1

概 況

苗代以降6月下旬迄ノ氣象狀態概シテ不順ナリシ爲草丈、分蘗共ニ不良ナリシモ其ノ後7月ヨリ9月上旬ニ至ル天候極メテ良好ナリシニヨリ草丈伸長シ出穂順調ニシテ生育立チ直リタリト思考サレタルモ9月11、12日ノ強風襲來ノ爲倒伏シ其ノ後天候概シテ不良ナリシ爲稔實度低下シ平年ニ比シ早生7分、中生5分強、晩生3分ノ減收ヲ來セリ

2. 品種改良ニ關スル試験

(1) 品種豫備試験

目 的

本試験ハ全國各地方ノ優良品種ニ付ソノ特性、收量等ヲ調査シ以テ當地方トシテノ有望ナルモノヲ撰定シ品種比較試験ニ編入セントス

供試品種

粳 種 57種 糯 種 7品種

(2) 品種對栽培法試験

目 的

植付期、苗代日數、栽植密度、施肥量等ノ栽培條件ヲ適宜案配シテ各々ノ栽培下ニ於ケル適當ナル品種ヲ比較決定セントス

試 驗 區 ノ 構 成

植 付 期	播 種 期	坪 當 植 付 株 數		
		4 5 株	6 0 株	9 0 株
6 月 1 日	4 月 10 日	②	①	
6 月 1 日	4 月 10 日	④	③	
6 月 1 日	5 月 1 日	⑥	⑤	
6 月 20 日	4 月 10 日		⑧	⑦
6 月 20 日	5 月 1 日		⑩	⑨
6 月 20 日	5 月 20 日		⑫	⑪

備考 圓内ノ數字ハ試験區番號ヲ示ス

供試品種

粳 種 8種 糯 種 2種

右試験成績下ノ如シ

試 驗 區 No.1

品 種 名	出穂期	成熟期	稈 長	穗 長	莖 數	反當收量 (玄米)				藁重量
						重量	容量	二ヶ年 平均	一升 重量	
陸羽132號	8.7	9.14	3.22	6.1	20.6	121.3	3.24	3.57	375	154.8
畿内早生22號	8.11	9.19	3.19	6.4	21.2	109.2	2.91	3.20	375	169.2
關 取	8.12	9.23	3.35	5.7	20.0	131.1	3.50	3.34	375	201.6
昭和早生	8.13	9.25	3.05	5.4	19.2	144.5	3.75	3.60	385	201.6
無芒愛國	8.17	9.29	3.18	5.8	20.4	133.7	3.45	3.36	388	216.0
銀 坊 主	8.22	10.1	3.31	6.3	21.7	141.2	3.66	3.58	386	234.0
龜 治	8.27	10.15	3.75	6.9	17.1	121.1	3.20	3.29	378	250.2
伊那穂1號	8.25	10.14	3.69	6.8	19.2	140.0	3.63	3.51	386	258.0
大 正 糯	8.20	10.4	3.57	6.2	23.7	119.0	3.15	3.09	378	252.0
東 京 糯	8.22	10.4	3.50	6.5	23.2	125.0	3.32	3.34	377	252.0

試 驗 區 No.2

品 種 名	出穂期	成熟期	稈 長	穗 長	莖 數	反當收量 (玄米)				藁重量
						重量	容量	二ヶ年 平均	一升 重量	
陸羽132號	8.5	9.14	3.17	5.8	16.1	101.5	2.27	3.37	373	154.8
畿内早生22號	8.10	9.19	3.22	6.2	18.8	109.9	2.91	3.42	378	166.2
關 取	8.12	9.23	3.30	5.9	16.4	129.2	3.39	3.46	381	217.2
昭和早生	8.12	9.24	3.14	5.9	17.5	143.4	3.75	3.73	383	188.4
無芒愛國	8.18	9.29	3.25	6.5	15.8	134.1	3.47	3.48	386	207.0
銀 坊 主	8.22	10.1	3.20	6.0	18.7	127.2	3.25	3.45	391	259.8
龜 治	8.25	10.15	3.66	6.7	12.9	131.3	3.45	3.80	381	252.0
伊那穂1號	8.24	10.14	3.57	6.4	17.5	133.2	3.51	3.70	379	258.0
大 正 糯	8.20	10.4	3.45	5.8	18.1	116.5	3.98	2.93	391	246.6
東 京 糯	8.21	10.4	3.43	6.4	19.2	125.1	3.30	3.55	379	222.0

試 驗 區 No.3

品 種 名	出穂期	成熟期	稈 長	穗 長	莖 數	反當收量 (玄米)				藁重量
						重量	容量	二ヶ年 平均	一升 重量	
陸羽132號	8.7	9.14	3.38	6.1	25.8	111.5	3.03	3.37	368	160.8
畿内早生22號	8.10	9.19	3.28	6.1	27.3	106.9	2.85	3.30	375	182.4
關 取	8.12	9.23	3.56	6.0	24.2	123.7	3.32	3.31	373	187.2
昭和早生	8.13	9.25	3.26	5.4	23.9	128.7	3.38	3.22	381	174.6

品 種 名	出穗期	成熟期	稈 長	穗 長	莖 數	反 當 收 量 (玄米)				藁重量
						重量	容量	二ヶ年		
								平	均	
無芒愛國	8.17	9.30	3.30	5.9	21.6	123.2	3.19	3.27	386	184.2
銀坊主治	8.22	10.6	3.21	6.2	21.0	130.2	3.41	3.64	382	243.6
龜	8.26	10.15	3.80	6.7	20.5	106.3	2.82	3.36	377	264.0
伊那穗1號	8.25	10.14	3.57	6.4	17.5	148.5	3.86	3.81	385	279.0
大東	8.20	10.4	3.62	5.9	25.8	102.0	2.66	2.94	383	240.0
正京	8.22	10.5	3.36	6.3	23.8	108.6	2.87	3.21	379	234.0

試 驗 區 No.4

品 種 名	出穗期	成熟期	稈 長	穗 長	莖 數	反 當 收 量 (玄米)				藁重量
						重量	容量	二ヶ年		
								平	均	
陸羽132號	8.5	9.14	3.24	5.9	18.4	123.1	3.34	3.59	369	165.0
畿内早生22號	8.9	9.19	2.95	6.3	16.2	102.4	2.72	3.17	377	183.0
關和早取	8.12	9.23	3.31	6.2	18.2	135.7	3.63	3.73	374	199.2
無芒愛國	8.18	9.25	3.03	5.3	15.6	132.6	3.44	3.75	385	180.0
龜	8.18	9.30	3.09	5.9	15.8	127.3	3.27	3.42	389	182.4
銀坊主治	8.22	10.6	3.36	6.4	19.9	129.5	3.40	3.59	381	261.0
伊那穗1號	8.25	10.15	3.80	6.3	16.4	137.4	3.60	3.88	382	253.2
大東	8.23	10.14	3.61	6.2	15.4	146.6	3.84	3.91	382	282.0
正京	8.19	10.4	3.69	5.7	20.6	127.1	3.33	3.34	382	241.2
京	8.20	10.5	3.51	6.5	19.8	137.4	3.57	3.74	385	233.4

試 驗 區 No.5

品 種 名	出穗期	成熟期	稈 長	穗 長	莖 數	反 當 收 量 (玄米)				藁重量
						重量	容量	二ヶ年		
								平	均	
陸羽132號	8.10	9.24	3.22	5.9	17.6	130.8	3.43	3.49	381	138.0
畿内早生22號	8.16	9.27	3.28	6.2	22.0	130.8	3.44	3.61	380	168.6
關和早取	8.18	9.28	3.21	5.9	22.9	128.1	3.38	3.41	379	188.4
無芒愛國	8.17	9.28	3.01	5.8	17.7	140.0	3.62	3.48	387	188.4
龜	8.20	10.6	3.16	6.0	17.3	129.1	3.31	3.27	390	168.0
銀坊主治	8.26	10.12	3.20	6.1	19.1	141.1	3.67	3.64	385	218.4
伊那穗1號	8.29	10.15	3.53	6.4	16.2	130.2	3.37	3.27	386	240.0
大東	8.29	10.14	3.38	6.2	18.7	139.3	3.61	3.67	388	230.4
正京	8.23	10.11	3.29	5.0	21.3	120.6	3.17	3.25	381	217.2
京	8.25	10.12	3.26	6.5	19.6	133.9	3.48	3.46	385	199.8

試 驗 區 No.6

品 種 名	出穗期	成熟期	稈 長	穗 長	莖 數	反 當 收 量 (玄米)				藁重量
						重量	容量	二ヶ年		
								平	均	
陸羽132號	8.11	9.24	3.19	5.4	17.1	133.2	3.50	3.65	381	187.8
畿内早生22號	8.16	9.27	3.29	6.0	18.8	119.1	3.13	3.31	381	180.6
關和早取	8.19	9.28	3.25	5.5	19.1	140.3	3.67	3.76	382	227.4
無芒愛國	8.17	9.28	3.05	5.4	17.9	129.8	3.37	3.43	385	169.2
龜	8.20	10.6	3.15	6.1	13.9	142.5	3.69	3.59	386	178.8
銀坊主治	8.26	10.12	3.09	6.0	16.1	134.5	3.49	3.68	386	206.4
伊那穗1號	8.28	10.15	3.57	6.4	12.2	130.4	3.43	3.54	380	237.6
大東	8.27	10.14	3.31	6.8	12.5	142.1	3.68	3.72	386	244.8
正京	8.22	10.11	3.39	6.0	17.3	126.9	3.33	3.51	381	235.2
京	8.25	10.12	3.29	6.3	16.6	141.5	3.67	3.83	386	231.6

試 驗 區 No.7

品 種 名	出穗期	成熟期	稈 長	穗 長	莖 數	反 當 收 量 (玄米)				藁重量
						重量	容量	二ヶ年		
								平	均	
陸羽132號	8.14	9.27	3.00	6.3	15.0	112.6	2.93	3.18	384	134.4
畿内早生22號	8.20	10.3	3.15	7.0	13.8	102.1	2.72	3.18	376	147.6
關和早取	8.17	9.27	3.07	6.3	15.8	110.7	2.89	3.21	383	156.0
無芒愛國	8.18	10.1	2.85	6.3	14.3	110.0	2.86	3.12	384	147.6
龜	8.20	10.3	2.86	6.4	15.9	111.6	2.90	3.15	385	145.2
銀坊主治	8.27	10.12	2.83	6.1	15.9	108.5	2.85	3.01	381	174.0
伊那穗1號	8.30	10.16	3.37	6.0	11.5	114.8	3.03	3.16	379	180.0
大東	8.28	10.15	3.24	6.6	10.9	127.8	3.35	3.40	382	190.8
正京	8.24	10.11	2.83	6.3	16.3	104.8	2.77	2.90	380	174.0
京	8.26	10.12	2.86	6.7	14.5	123.8	3.23	3.31	383	180.0

試 驗 區 No.8

品 種 名	出穗期	成熟期	稈 長	穗 長	莖 數	反 當 收 量 (玄米)				藁重量
						重量	容量	二ヶ年		
								平	均	
陸羽132號	8.14	9.29	2.81	5.6	10.9	91.3	2.43	2.78	375	150.0
畿内早生22號	8.20	10.3	2.67	5.9	12.2	86.4	2.28	2.62	380	157.2
關和早取	8.19	9.27	3.10	5.7	11.4	108.8	2.84	3.22	383	182.4
無芒愛國	8.18	10.1	2.87	5.4	11.9	114.4	2.97	3.17	385	168.0
龜	8.20	10.3	2.39	6.1	9.6	108.7	2.82	3.02	385	166.8
銀坊主治	8.26	10.12	2.77	6.3	12.4	122.6	3.22	3.41	381	180.0
伊那穗1號	8.30	10.16	3.24	6.7	9.8	110.1	2.88	2.77	382	190.8
大東	8.28	10.15	3.10	7.0	10.6	122.7	3.20	3.13	383	192.0
正京	8.25	10.11	2.89	6.3	13.6	83.8	2.21	2.66	380	171.6
京	8.26	10.12	2.92	5.3	11.9	111.0	2.90	3.26	383	184.8

試 驗 區 No.9

品 種 名	出穗期	成熟期	稈 長	穗 長	莖 數	反 當 收 量 (玄米)				藁重量
						重量	容量	二ヶ年		
								平	均	
陸羽132號	8.11	9.24	2.98	5.7	17.2	92.3	2.42	2.72	381	136.8
畿内早生22號	8.14	9.27	2.93	6.5	12.0	94.7	2.48	2.52	382	132.0
關和早取	8.14	9.28	3.03	6.9	15.0	123.8	3.22	3.11	384	168.0
無芒愛國	8.16	9.30	3.09	6.2	16.4	119.0	3.07	3.07	387	160.8
龜	8.19	10.3	3.00	6.1	15.3	112.8	2.93	3.03	385	152.4
銀坊主治	8.25	10.8	3.01	6.3	13.7	120.6	3.12	3.12	387	180.0
伊那穗1號	8.29	10.15	3.49	7.2	11.7	127.2	3.29	3.47	387	218.4
大東	8.23	10.14	3.40	6.9	15.4	114.0	2.90	3.16	393	213.6
正京	8.22	10.11	3.30	6.9	16.7	113.7	3.00	3.06	379	204.0
京	8.25	10.13	3.23	6.9	16.4	124.0	3.21	3.29	386	168.0

試 驗 區 No.10

品 種 名	出穗期	成熟期	稈 長	穗 長	莖 數	反 當 收 量 (玄米)				藁重量
						重量	容量	二ヶ年		
								平	均	
陸羽132號	8.9	9.24	3.00	6.1	14.9	93.3	2.45	2.74	380	144.0
畿内早生22號	8.13	9.27	2.94	6.4	13.8	58.6	1.54	1.57	382	—
關和早取	8.15	9.28	3.00	6.0	12.1	108.8	2.86	2.96	380	172.8
無芒愛國	8.15	9.30	2.87	5.8	11.0	111.6	2.89	3.14	386	158.4

品 種 名	出穂期	成熟期	稈 長	穂 長	莖 數	反 當 收 量 (玄米)				藁重量
						重量	容量	二ヶ年 平均	一升 重量	
無 芒 考 國 銀 坊 主 治	8.18	10.3	2.87	6.1	10.5	113.7	2.97	3.02	383	168.0
	8.24	10.8	2.95	6.4	14.6	119.7	3.11	3.30	385	214.8
	8.28	10.15	3.19	6.7	10.5	123.6	3.21	3.20	385	189.6
伊 那 穂 1 號 大 正 京 糯	8.27	10.14	3.10	6.6	12.1	133.9	3.42	3.67	392	199.2
	8.22	10.11	3.17	6.3	13.0	110.1	2.87	2.92	384	216.0
	8.24	10.13	3.16	6.6	11.3	128.1	3.34	3.59	384	192.0

試 驗 區 No.11

品 種 名	出穂期	成熟期	稈 長	穂 長	莖 數	反 當 收 量 (玄米)				藁重量
						重量	容量	二ヶ年 平均	一升 重量	
陸 羽 1 3 2 號 畿 内 早 生 22 號 關 取	8.17	9.30	3.14	6.2	13.6	106.6	2.79	2.57	382	146.4
	8.22	10.5	3.17	6.8	16.1	92.2	2.40	2.88	384	148.8
	8.20	9.30	3.03	6.0	17.0	100.9	2.61	2.98	387	168.0
昭 和 早 生 無 芒 愛 國	8.19	10.4	2.89	5.5	17.0	105.5	2.76	2.99	382	160.8
	8.23	10.7	2.86	6.0	15.7	109.3	2.85	2.94	384	163.2
銀 坊 主 治 總 伊 那 穂 1 號 大 正 京 糯	8.31	10.17	3.05	6.4	16.1	89.8	2.33	2.80	385	180.0
	8.30	10.17	3.21	6.6	12.8	131.5	3.38	3.43	389	199.2
	8.28	10.11	3.50	6.6	11.8	128.3	3.30	3.52	389	183.6
大 正 京 糯	8.25	10.14	3.07	6.6	18.5	102.4	2.69	3.10	387	189.6
	8.28	10.13	3.14	6.5	17.5	124.5	3.24	3.19	384	192.0

試 驗 區 No.12

品 種 名	出穂期	成熟期	稈 長	穂 長	莖 數	反 當 收 量 (玄米)				藁重量
						重量	容量	二ヶ年 平均	一升 重量	
陸 羽 1 3 2 號 畿 内 早 生 22 號 關 取	8.17	9.30	3.10	6.1	11.3	92.6	2.46	3.02	376	146.4
	8.22	10.5	2.96	6.4	13.1	91.7	2.42	2.82	379	150.0
	8.20	9.30	3.06	5.8	15.4	100.4	2.67	3.02	376	164.4
昭 和 早 生 無 芒 愛 國	8.19	10.4	2.82	5.8	12.3	112.0	2.90	3.18	386	156.0
	8.23	10.7	2.87	6.1	10.0	108.1	2.79	3.12	388	150.0
銀 坊 主 治 總 伊 那 穂 1 號 大 正 京 糯	8.25	10.17	2.77	5.8	9.9	107.2	2.78	2.97	386	192.0
	8.31	10.17	3.17	6.5	8.8	114.3	2.98	3.25	384	196.8
	8.30	10.11	3.09	5.8	10.3	126.2	3.24	3.20	389	186.0
大 正 京 糯	8.22	10.14	2.93	6.0	13.4	98.6	2.61	2.89	378	199.2
	8.27	10.13	2.85	6.4	10.9	96.7	2.52	3.12	383	188.4

(3) 酒 造 米 品 種 試 驗

目 的

當地方ニ適當セル酒造米品種ヲ撰定セントス

設計概要

一區面積 5 坪

耕種梗概 一般耕種梗概ニ依ル

供試品種

北陸12號、龜ノ尾、龜ノ都、穀良都、關神6號、野條穂、萬作9號、光明錦、竹田早生、伊勢錦656號、雄町水原5號

試驗成績次ノ如シ

品 種 名	出穂期	成熟期	稈 長	穂 長	莖 數	反 當 收 量 (玄米)				藁重量
						重量	容量	三ヶ年 平均	一升 重量	
北 陸 12 號 總 龜 ノ 尾 都 穀 良 都	8.4	9.14	3.13	6.7	13.1	129.0	3.38	3.30	382	163.2
	8.7	9.16	3.14	6.1	13.5	127.2	3.36	3.27	379	157.2
	8.5	9.14	3.55	6.3	12.1	95.4	2.52	2.80	378	162.0
關 神 6 號	8.15	10.1	3.57	7.2	14.3	155.2	4.04	3.70	384	234.0
	8.12	9.27	3.00	7.0	14.1	142.0	3.79	3.46	375	222.0
野 條 穂 萬 作 9 號 光 明 錦	8.22	10.14	3.50	6.7	13.6	131.5	3.52	3.45	374	271.2
	8.27	10.18	3.65	7.1	13.6	134.0	3.61	3.32	371	283.2
	8.17	10.11	3.93	7.0	14.4	152.5	4.09	3.60	373	313.2
竹 田 早 生 伊 勢 錦 656 號 雄 町 水 原 5 號	8.18	10.12	3.44	6.8	14.3	138.4	3.73	3.52	371	264.0
	8.21	10.14	—	—	—	118.9	3.15	3.27	377	146.4
	8.22	10.14	—	—	—	115.5	3.03	3.37	381	156.0

(4) 農 林 省 育 成 新 品 種 試 作 試 驗

目 的

當分場關係農林省指定試驗地(埼玉、岐阜、兵庫)ニ於ケル當地方ニ略々適當ト認メラルル育成新品種ノ性状ヲ調査セントス

設計概要

一區面積 5 坪

耕種法 一般耕種梗概ニ依ル

供試品種

東山32號、東山34號、農林6號、關東10號、關東11號、關東12號、關東13號、關東14號、關東15號、標準銀坊主

試驗成績次ノ如シ

品 種 名	出穂期	成熟期	稈 長	穂 長	莖 數	反 當 收 量 (玄米)				藁重量
						重量	容量	一 升 重 量	藁重量	
東 山 32 號 東 山 24 號 農 林 6 號	8.15	10.1	3.11	6.4	19.7	145.9	3.83	381	276.0	
	8.12	9.27	2.65	6.4	25.2	141.6	3.71	382	223.8	
	8.22	10.13	3.00	5.5	18.5	163.1	4.34	376	276.0	
關 東 10 號 關 東 11 號	8.22	10.15	2.84	6.4	16.4	147.0	3.88	379	264.0	
	8.23	10.17	2.84	6.5	16.6	147.3	3.80	388	234.0	
關 東 12 號 關 東 13 號 關 東 14 號	8.21	10.14	2.67	5.7	23.5	138.4	3.54	391	216.0	
	8.11	9.27	3.10	6.0	18.7	159.6	4.11	388	243.6	
	8.22	9.26	3.00	6.8	16.7	138.1	3.60	384	240.0	
關 東 15 號 標 準 銀 坊 主	8.14	9.30	2.99	6.9	21.6	137.2	3.61	380	258.6	
	8.10	10.13	3.26	6.6	21.8	130.9	3.50	374	302.4	

(5) 新 品 種 育 成

目 的

人工交配ニ依リ優良ナル新品種ヲ育成セントス

雜種各代ニ於ケル組合セ數

雜種第二代組合セ數 二

早大關×龜治 銀坊主×龜治

雜種第三代組合セ數 四

富草糯×龜治 無芒愛國×龜治

關取×無芒愛國 銀坊主×無芒愛國

雜種第四代組合セ數 一

東京糯×大正糯

雜種第五代組合セ數 二

無芒愛國×中縞88號 無芒愛國×畿内早生157號

3. 耕種ニ關スル試驗

(1) 稻田養鯉試驗

目的

稻田養鯉ノ稻作上ニ及ボス影響ヲ調査セントス

設計概要

一區面積 10 坪

耕種法 一般耕種梗概ニ依ル

供種品種 銀坊主

養鯉飼養概要

供試鯉

當歲鯉 松尾村産ニシテ體軀ノ大小不同ナキ様揃ヘタルモノ

2 歲鯉 昨年度當場ニテ飼養セルモノニ對シ大小不同ナキ様揃ヘタルモノ

放養時期 當歲 7 月 4 日 2 歲 7 月 14 日

放養頭數 當歲 反當 1,500 頭 2 歲 反當 750 頭混養

飼養方法

給飼方法 1 日 1 回正午

灌溉方法 終日掛流シ初期水稻ノ生育ノ影響ナキ様淺水位ニ保チ漸次成長セルニ隨ヒ深水トス

水深ハ大體下ニ準ズルモノトス

6 月中 2 寸 5 分 7 月中 3 寸

8 月中 3 寸 5 分 9 月中 3 寸 5 分

飼料

月別給飼量次ノ如シ

6 月中 毎日蠶蛹反當 700 匁 7 月中 毎日蠶蛹 750 匁 8-9 月 毎日蠶蛹 800 匁

收穫期 9 月 20 日

試驗成績次ノ如シ

水 稻 ノ 部

區名	出穂期	成熟期	稈長	穗長	莖數	反當收量(玄米)			藁重量
						重量	容量	一升重量	
無飼養	8.22	10.1	3.16	6.3	20.6	150.3	3.88	387	271.2
無飼料	8.22	10.1	3.25	6.5	19.9	161.2	4.14	389	258.0
標準	8.23	10.1	3.24	6.7	17.9	152.3	3.91	390	265.5
飼料5割減	8.23	10.1	3.24	6.6	17.2	162.9	4.20	388	241.2
飼料5割増	8.23	10.1	3.29	6.7	18.3	157.6	4.01	385	261.6
放養頭數5割減	8.23	10.1	3.27	6.4	19.9	160.0	4.16	386	285.3
放養頭數5割増	8.23	10.1	3.37	6.5	17.9	156.0	4.05	385	229.8
二歲鯉單養	8.23	10.1	3.23	6.5	20.0	155.4	3.99	389	250.5
無肥	8.23	10.1	2.70	6.6	7.7	108.8	2.79	379	112.5

鯉 ノ 部

區名	當歲鯉		二歲鯉		計	
	本年	五ヶ年平均	本年	五ヶ年平均	本年	五ヶ年平均
無飼料	1,700	1,920	11,030	10,590	12,730	12,510
標準	15,030	10,130	45,030	46,510	60,060	56,640
飼料5割減	11,030	9,530	26,370	34,670	37,400	44,200
飼料5割増	17,870	15,090	45,000	48,740	62,870	63,830
放養頭數5割増	10,070	12,290	48,700	58,290	58,770	70,580
放養頭數5割減	8,200	8,230	29,370	37,220	37,570	45,450
二歲鯉單用	—	—	53,700	50,440	53,700	50,440

(2) 肥料三要素試驗

目的

當場面場ニ於ケル三要素ノ天然供給状態ヲ明ニシテ肥料配合ノ参考ニ資セントス

設計概要

一區面積 9 坪

耕種法

肥料以外ハ一般耕種梗概ニ依ル

供試品種 銀坊主

試驗成績次ノ如シ

第 一 表

區名	出穂期	成熟期	稈長	穗長	莖數	反當收量(玄米)			藁重量	
						重量	容量	11ヶ年平均一升重量		
無肥料	8.26	9.28	2.43	6.0	6.9	64.0	1.65	1.66	387	78.6
石灰	8.22	9.28	2.55	5.6	7.9	68.9	1.76	1.72	391	102.0
無窒素	8.22	9.27	2.50	6.2	8.4	86.5	2.22	2.11	389	104.0
無磷	8.28	9.30	2.94	7.7	11.0	111.7	2.85	3.35	392	143.3
無加	8.21	9.28	2.79	5.8	16.1	143.2	3.66	3.94	391	189.3
完全	8.22	9.29	2.91	6.0	15.1	146.9	3.75	3.96	392	214.9

第二表 (自昭和二年至昭和十二年十一ヶ年收量百分比)

區名	初年目	二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	十年	十一年
無肥料用	48	34	46	36	32	52	40	40	40	46	44
石灰單用	—	—	—	—	—	—	—	40	43	47	47
無窒素	61	48	62	45	48	52	56	57	49	47	59
無磷	97	101	100	90	86	82	79	74	70	75	76
無加里	105	108	101	99	94	99	96	99	97	98	98
無完全	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

(3) 新肥料肥效試験

目的

主要新肥料ノ肥效ヲ査定セントス

設計概要

一區面積 九 坪

耕種法

肥料以外ハ一般耕種梗概ニ依ル

供試品種 銀坊主

窒素反當2貫區

區名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	莖數	反當收量 (玄米)			藁重量
						重量	容量	一升量	
粒狀石灰窒素	8.23	10.2	3.03	6.2	15.0	135.4	3.46	391	215.0
みづほ肥料	8.21	9.30	2.89	5.8	14.3	135.3	3.52	384	235.0
千代田肥料	8.21	9.30	3.05	6.2	19.4	135.7	3.49	389	220.0
巴印特許専用	8.21	9.30	3.05	6.1	16.6	143.2	3.73	384	245.0
磷安加里	8.21	9.30	2.90	6.1	16.0	144.0	3.73	386	250.0
硫加磷安	8.21	9.30	2.73	5.6	17.9	128.4	3.25	395	238.5
硫加磷安	8.21	9.30	2.84	6.2	15.8	119.9	3.04	394	228.0
チツカリ	8.21	10.1	2.89	6.3	17.3	130.2	3.31	394	230.5
標準A	8.21	9.30	3.32	5.9	15.9	112.8	2.94	384	235.0
標準B	8.21	9.30	3.26	5.5	17.1	105.5	2.70	390	190.0

窒素反當3貫區

區名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	莖數	反當收量 (玄米)			藁重量
						重量	容量	一升量	
粒狀石灰窒素	8.24	10.3	3.22	6.7	17.5	139.2	3.60	387	297.0
みづほ肥料	8.21	9.30	3.16	6.0	19.4	146.1	3.81	383	305.0
千代田肥料	8.21	9.30	2.75	5.9	16.0	137.1	3.58	383	270.0
巴印特許専用	8.21	9.30	3.26	6.2	19.6	151.2	3.97	381	325.0
磷安加里	8.21	9.30	3.30	6.2	21.4	147.5	3.84	384	330.0
硫加磷安	8.21	9.30	3.31	6.3	20.2	140.7	3.59	392	240.0
硫加磷安	8.20	9.29	3.41	5.8	20.8	124.3	3.24	383	250.0
チツカリ	8.22	10.1	2.95	6.3	18.5	133.0	3.39	392	271.0
標準A	8.23	10.2	3.19	6.5	18.2	135.0	3.60	375	335.0
標準B	8.22	10.1	3.19	6.5	19.4	148.8	3.94	378	325.0

反當窒素2貫、堆肥300貫施用區

區名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	莖數	反當收量 (玄米)			藁重量
						重量	容量	一升量	
粒狀石灰窒素	8.22	10.1	2.88	6.2	15.6	132.0	3.41	387	250.0
みづほ肥料	8.22	10.1	2.85	6.3	16.2	127.2	3.30	385	270.0
千代田肥料	8.21	9.30	3.28	6.3	14.7	142.5	3.69	386	235.0
巴印特許専用	8.21	9.30	3.35	6.1	15.8	147.4	3.86	382	275.0
磷安加里	8.21	9.30	3.52	6.1	16.0	145.3	3.72	391	260.0
硫加磷安	8.21	9.30	3.36	6.0	15.5	140.3	3.57	393	216.0
硫加磷安	8.21	9.30	3.41	6.3	16.8	132.0	3.38	391	227.5
チツカリ	8.21	9.30	3.27	6.0	14.8	131.1	3.32	395	203.0
標準A	8.22	10.1	2.87	6.4	14.1	152.2	3.91	389	250.0
標準B	8.22	10.1	2.84	6.1	16.9	134.9	3.52	383	255.0

4. 委託試験

小麥跡地水稻試験

目的

上下伊那地方ニ於ケル水田裏作小麥栽培地並可能地ヲ選定シ水稻品種並ニ耕種法ニ關スル試験ヲ委託シテ各適當ナル小麥跡地ノ稻作法ヲ研究セントス

試験地位置

上伊那郡河南村 上伊那郡赤穂村

下伊那郡上郷村 下伊那郡會地村

試験地ニ於ケル成績次ノ如シ

(1) 品種試験

下伊那郡河南村

品種名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	莖數	反當收量 (玄米)			藁重量	
						重量	容量	3ヶ年平均一升量		
陸羽132號	8.15	10.8	2.76	8.9	18.6	115.2	2.95	3.24	390	165.0
陸羽愛國20號	8.22	10.9	2.74	7.4	17.5	122.1	3.08	3.29	396	151.5
關取	8.17	10.4	2.71	6.2	13.0	125.7	3.13	3.26	402	158.1
昭和早生	8.18	10.9	2.55	7.3	18.0	123.9	3.15	—	394	156.0
昭和2號	8.17	10.9	2.65	6.9	17.0	126.0	3.18	—	396	156.3

上伊那郡赤穂村

品種名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	莖數	反當收量 (玄米)			藁重量	
						重量	容量	3ヶ年平均一升量		
赤穂愛國43號	8.25	10.10	2.98	6.4	12.5	90.1	2.25	2.72	400	114.0
昭和早生	8.18	10.2	2.56	5.6	18.4	70.1	1.78	2.13	394	102.0
關取	8.19	10.2	2.79	6.7	18.6	91.4	2.32	2.29	394	111.6
陸羽132號	8.16	9.28	2.54	5.4	18.7	93.6	2.39	2.69	392	114.0

下伊那郡上郷村

品 種 名	出 穂 期	反 當 收 量 (玄米)			
		重 量	容 量	3ヶ年平均	一升重量
關 取	8.21	113.7	2.83	2.91	402
昭 和 早 生	8.20	115.8	2.87	—	404
昭 和 2 號	8.16	118.2	2.91	—	406
無 芒 愛 國	8.23	132.9	3.26	3.43	408
銀 坊 主	8.26	137.7	3.41	3.67	404

下伊那郡會地村

品 種 名	出 穂 期	反 當 收 量 (玄米)				藁 重 量
		重 量	容 量	3ヶ年平均	一升重量	
關 取	8.21	62.5	1.60	2.03	390	152.4
昭 和 早 生	8.20	76.6	1.94	2.14	395	163.2
無 芒 愛 國	8.23	88.2	2.20	2.35	401	193.8
昭 和 2 號	8.16	76.2	1.93	—	396	162.0
伊 那 穂 1 號	8.26	115.6	2.93	2.80	395	222.0

(a) 育苗ニ關スル試驗

上伊那郡河南村

區 名	出 穂 期	成 熟 期	稈 長	穂 長	莖 數	反 當 收 量 (玄米)				藁 重 量
						重 量	容 量	3ヶ年平均	一升重量	
陸 苗 早 播	8.21	10.10	2.59	6.4	17	106.5	2.69	3.12	396	150.0
陸 苗 遲 播	8.24	10.11	2.54	5.1	22	95.7	2.42	3.03	396	141.0
水 苗 早 播	8.14	10.4	2.45	6.3	15	96.3	2.46	2.90	392	159.0
水 苗 遲 播	8.16	10.6	2.43	5.9	20	99.3	2.47	3.01	402	162.0
播種量坪3合	8.16	10.6	2.33	5.9	18	102.0	2.54	2.99	402	165.0
播種量坪1.5合	8.15	10.5	2.57	5.9	21	111.9	2.87	3.12	390	144.0

上伊那郡赤穂村

區 名	出 穂 期	成 熟 期	稈 長	穂 長	莖 數	反 當 收 量 (玄米)				藁 重 量
						重 量	容 量	3ヶ年平均	一升重量	
陸 苗 早 播	8.23	10.7	2.60	5.8	18.1	81.9	2.11	2.35	388	96.0
陸 苗 遲 播	8.24	10.7	2.65	5.5	18.5	89.2	2.28	2.37	392	103.2
水 苗 早 播	8.19	10.2	2.63	6.4	16.5	89.4	2.26	2.45	396	112.8
水 苗 遲 播	8.21	10.4	2.81	6.2	21.3	93.6	2.38	2.51	394	91.2

下伊那郡上郷村

區 名	出 穂 期	反 當 收 量 (玄米)			
		重 量	容 量	3ヶ年平均	一升重量
陸 苗 早 播	8.25	131.4	3.24	2.79	406
水 苗 早 播	8.26	129.6	3.21	2.79	404
水 苗 遲 播	8.27	129.0	3.19	2.89	404

下伊那郡會地村

區 名	反 當 收 量 (玄米)				
	重 量	容 量	三ヶ年平均	一升重量	藁 重 量
陸 苗 早 播	71.6	1.80	2.73	397	127.8
陸 苗 遲 播	70.7	1.79	2.07	394	132.0
水 苗 早 播	87.7	2.21	2.55	396	158.4
播種量坪3合	87.1	2.21	2.48	394	166.2
播種量坪1.5合	84.2	2.14	2.57	393	163.2

供試品種

河南村 陸羽132號 赤穂村 關 取
上郷村 銀坊主 會地村 昭和早生

播種期

早 播 4月20日前後
遲 播 4月28日前後

(b) 植付距離試驗

上伊那郡河南村

區 名	出 穂 期	成 熟 期	稈 長	穂 長	莖 數	反 當 收 量 (玄米)				
						重 量	容 量	二ヶ年平均	一升重量	藁 重 量
坪 36 株	8.17	10.7	2.68	6.9	16	103.8	2.63	2.94	394	138.0
坪 45 株	8.16	10.6	2.61	6.3	16	102.3	2.73	3.20	392	183.0
坪 60 株	8.15	10.8	2.29	5.8	24	103.8	2.61	3.09	380	105.0
坪 90 株	8.15	10.8	2.83	5.9	29	104.7	2.64	3.17	392	195.0

上伊那郡赤穂村

區 名	出 穂 期	成 熟 期	稈 長	穂 長	莖 數	反 當 收 量 (玄米)				
						重 量	容 量	二ヶ年平均	一升重量	藁 重 量
坪 36 株	8.25	10.11	3.12	6.6	16.9	102.1	2.55	2.34	400	96.0
坪 45 株	8.26	10.11	3.18	6.9	15.0	99.3	2.49	2.61	398	105.6
坪 60 株	8.25	10.10	3.04	6.8	12.7	104.6	2.60	2.74	402	115.2
坪 90 株	8.24	10.8	2.96	6.6	10.7	103.8	2.60	2.98	400	126.0

下伊那郡上郷村

區 名	出 穂 期	反 當 收 量 (玄米)			
		重 量	容 量	二ヶ年平均	一升重量
坪 36 株	8.27	129.6	3.23	2.98	402
坪 45 株	8.25	139.8	3.44	3.07	406
坪 60 株	8.25	132.6	3.28	3.16	404
坪 90 株	8.23	141.6	3.50	3.11	404

下伊那郡會地村

區名	反當收量 (玄米)				
	重量	容量	二ケ年平均	一升重量	藁重量
坪 36 株	86.6	2.11	2.27	392	154.8
坪 45 株	81.7	2.07	2.20	394	160.2
坪 60 株	84.6	2.14	2.38	395	154.2
坪 90 株	86.2	2.19	2.43	393	159.5

供試品種

河南村 陸羽 132號 赤穂村 關 取
上郷村 銀坊主 會地村 昭和早生

陸 稻 耕 種 梗 概

1. 整 地

前秋馬耕ヲ以テ6寸前後ニ耕起シ4月上旬更ニ耕翻土塊ヲ細碎地均ヲナス

2. 選 種

粳無芒種 1.10 粳有芒種及糯無芒種 1.08

糯有芒種 1.05

上記ノ比重(ボ-メ)ニ依リ鹽水選ヲ行フ

3. 播 種 期

4月20日

4. 反當播種量

4升5合

5. 反當施肥量

肥料名	施肥量	推 定 三 要 素 量			備 考
		窒 素	磷 酸	加 里	
堆 肥	300.000	1.500	0.780	1.890	基 肥
硫酸アンモニア	7.000	1.400	—	—	基肥5貫、追肥2貫
過 磷 酸 石 灰	7.000	—	1.400	—	基 肥
硫 酸 加 里	1.200	—	—	0.576	基 肥
計		2.900	2.180	2.466	

備考 硫酸ノ追肥ハ6月下旬第2回中耕直前液肥トシテ施用ス

6. 管 理

イ、除草及間引

除草ハ各中耕並ニ土寄直前ニ行ヒ間引ハ發芽後苗丈4-5寸ニ伸長セル時3寸ニ1本宛2列千鳥ニ行フ

ロ、中耕 第1回5月下旬 第2回6月下旬

ハ、土寄 7月下旬

7. 除 害

大螟蟲及二化螟蟲 捕蛾採卵被害莖摘採
雀及其ノ他鳥類 案山子及威銃
苞蟲浮塵子 除蟲菊木灰合劑

8. 收穫調製

黃熟期ニ刈取リ架乾ヲ行ヒ後脱穀機ニ依リ脱穀後篩選及唐箕選ヲ行フ

1. 豐 凶 考 照 試 驗

目 的 本試験ハ年々同一圃場ニ於テ同一設計ノ下ニ施行シ所定ノ時期ニ於テ生育狀況ヲ調査シ之ヲ例年ト比較對照シ又氣象ノ如何ヲ參照シテソノ年ノ豐凶ヲ豫知セントス

試験概要

1 區面積 6 坪

供試品種 粳 近成純1號、浦三1號、東京平山

糯 良温1號、尾張糯

耕 種 法 標準耕種法ニ依ル

各時期ニ於ケル生育狀況及收量成績次ノ如シ

(1) 大暑ニ於ケル生育狀況

品 種 名	昭 和 一 二 年		前 三 ケ 年 平 均		比 較 増 減	
	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數
粳 3 種 平 均	2.35	56.0	2.17	48	(+)	.18 (+)
糯 2 種 平 均	2.09	60.0	2.14	53	(+)	.05 (+)

(2) 二百十日ニ於ケル生育狀況

品 種 名	昭 和 一 二 年		前 三 ケ 年 平 均		比 較 増 減	
	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數
粳 3 種 平 均	2.96	51.0	2.96	49.2	0	(+) 1.8
糯 2 種 平 均	3.08	51.0	3.07	57.0	(+)	0.01 (-) 6.0

(3) 收 量 成 績

品 種 名	昭 和 一 二 年		前 三 ケ 年 平 均		比 較 増 減	
	反當收量	一升重量	反當收量	一升重量	反當收量	一升重量
粳 3 種 平 均	.37	366	1.49	381	(-)	1.12 (-) 15
糯 2 種 平 均	1.10	372	1.60	377	(-)	0.50 (-) 5

概 況

播種以降大暑當時迄ハ適時ノ降雨ニヨリ極メテ順調ナル成育ヲ遂ゲタレドモ7月下旬ヨリ9月上旬ノ長期ニ亙ル旱魃ノタメ極度ニ生育ノ阻害ヲ來シ、早生種ノ一部ヲ除ク他ハ大部分出穂、成熟著シク不良トナリソノ後9月中旬ニ至リ漸ク降雨アリタルモ既ニ恢復スル能ハズ不稔穂多ク收量ノ激減ヲ來セリ

稻附近一般農家ノ作柄ハ平年ヨリ稍々劣ル程度ナルモノノ如シ

2. 品種改良ニ關スル試驗

目的 全國ニ於ケル優良品種中略當地方ニ適當ト認ムル品種ニ對シ各品種ニ就キ特性及收量品質等ヲ調査シ當地方ニ適當セル品種ヲ選定セントス

試驗概要

1 區面積 1 坪

試驗區 2區制(東側西側ノ2區制ナリシモ成績ハ旱害ノ爲兩側ノ内成績良好ナル物ヲ選ビ記載ス)

供試品種 粳11品種 糯18品種

耕種法 標準耕種法ニ依ル

試驗成績

粳 之 部

品 種 名	出穂期	成熟期	稈 長	穂 長	莖 數	反當收玄米收量			藁重量
						重量	容量	一升重	
金 禾 坊	8.21	10.11	1.88	7.0	15	9.9	.26	382	101.4
陸 羽 2 號	8.7	9.10	2.38	7.7	79	50.5	1.37	369	98.1
才 伊 2 號	8.24	10.11	2.09	6.3	24	9.6	.26	385	57.9
田 優 1 號	8.24	10.11	1.59	6.0	43	6.4	.17	387	107.4
常 陸 錦	8.24	10.11	1.91	6.7	7	11.9	.31	389	125.4
宮 錦 1 號	8.24	10.11	2.18	7.1	16	7.4	.19	389	118.5
大 島 1 號	8.21	10.4	2.18	7.0	23	6.4	.17	385	92.1

糯 之 部

品 種 名	出穂期	成熟期	稈 長	穂 長	莖 數	反當玄米收量			藁重量
						重量	容量	一升重	
早 生 八 作	8.18	9.28	2.47	7.8	21	17.9	.47	377	99.3
白 良 溫 1 號	8.16	9.20	2.50	7.4	30	26.1	.69	380	71.7
最 上 糯	8.16	9.13	2.06	6.5	23	37.6	.97	387	72.3
田 優 糯	8.19	9.28	1.97	6.7	23	19.3	.52	374	106.5
	8.26	10.4	2.10	7.1	12	12.0	.32	379	155.4
凱 旋 糯	8.21	10.4	1.96	6.2	22	19.9	.53	376	129.9
早 生 江 曾 島 糯 2 號	8.25	10.4	2.05	6.7	17	13.3	.35	380	144.9
尾 張 糯	8.21	10.2	1.72	6.5	16	27.9	.75	371	114.9
陸 羽 9 號	8.17	9.28	1.99	7.1	7	10.4	.27	380	101.4
陸 羽 13 號	8.21	10.2	1.95	6.2	18	19.5	.52	374	115.2
陸 羽 15 號	8.23	10.4	1.69	6.4	1	23.5	.61	383	130.2
陸 羽 17 號	8.23	10.4	2.07	6.4	20	23.7	.62	383	129.0
陸 羽 19 號	8.20	10.4	2.26	6.7	30	23.6	.66	360	244.8
陸 羽 20 號	8.21	10.4	2.05	6.8	16	14.6	.39	370	127.9
陸 羽 22 號	8.26	10.4	1.85	6.2	3	7.7	.21	371	159.6
陸 羽 27 號	8.25	10.4	2.06	6.9	11	2.8	.75	380	128.1
奧 羽 10 號	8.19	9.28	2.30	8.0	11	4.2	.11	382	83.7
奧 羽 13 號	8.19	10.4	2.11	6.3	19	26.5	.71	376	133.5

備考 本試驗ハ旱魃ノ被害ニテ收穫皆無ノモノモアリ、全般ニ收量ヲ減ジタリ

3. 耕種ニ關スル試驗

(1) 播種期試驗

目的 當地方ニ於ケル播種ノ適期ヲ知ラントス

試驗概要

一面區積 1 坪

供試品種 近成純1號、浦三1號、戰捷新潟

坪當栽植本數 4月11日播 100本 4月21日播 100本

5月1日播 100本 5月11日播 120本

5月21日播 150本 6月1日播 200本

耕種法 播種期並ニ栽植本數以外ハ標準耕種法ニ依ル

試驗成績

近 成 純 1 號

區 名	出穂期	成熟期	稈 長	穂 長	穗 數	反當玄米重量			藁重量	二ヶ年 平均
						重量	容量	一升重		
4 月 11 日 播	8.5	9.10	2.35	6.7	25	49.5	1.36	365	58.5	1.28
4 月 21 日 播	8.19	10.4	1.91	6.5	20	12.6	.33	385	96.0	.73
5 月 1 日 播	8.19	10.4	1.91	6.8	13	23.7	.62	380	82.8	1.05
5 月 11 日 播	8.18	10.4	2.02	6.5	12	30.6	.81	378	96.9	1.02
5 月 21 日 播	8.21	10.4	2.01	5.5	11	12.3	.32	382	114.9	.95

浦 三 1 號

4 月 11 日 播	8.18	9.28	2.07	6.4	9	15.3	.42	369	97.2	.66
------------	------	------	------	-----	---	------	-----	-----	------	-----

戰 捷 新 潟

4 月 11 日 播	8.18	10.4	1.91	6.4	18	13.5	.37	369	125.4	.76
------------	------	------	------	-----	----	------	-----	-----	-------	-----

備考 本試驗ハ昭和11年ヨリ開始セルヲ以テ2ヶ年年平均トス

尙本年ハ近成純1號6月1日播、浦三1號4月21日播以降及戰捷新潟4月21日播以降旱害ノ爲收穫皆無ナルニ付記載セズ

(2) 間引試驗

目的 間引距離並ニ分蘖力ノ相異スル品種間ノ栽植密度ト收量トノ相對的關係ヲ知ラントス

試驗概要

1 區面積 4分ノ3坪並ニ1坪

試驗區 畦幅1.5尺及畦幅2尺ノ2區制

供試品種 A陸羽9號、B凱旋糯、C尾張糯

耕種法 畦幅及間引距離以外ハ標準耕種法ニ依ル

試験成績

畦幅 1.5 尺ノ部

區名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂數	反當玄米收量			葉重量	反當收量二ヶ年平均
						重量	容量	一升重量		
A、3寸2列千鳥	8.7	9.28	1.92	6.2	3.9	28.6	.75	380	47.6	.63
B、3寸2列千鳥	8.17	10.4	2.31	7.9	2.0	30.4	.82	371	140.8	.93
C、3寸2列千鳥	8.13	10.2	1.71	5.8	3.7	24.0	.67	358	116.0	.84
A、3寸1列	8.10	9.28	2.41	8.6	1.4	7.6	.20	373	70.4	.35
B、3寸1列	8.18	10.4	2.25	7.0	6.2	24.8	.67	371	119.6	.85
C、3寸1列	8.13	10.2	2.12	6.7	8.2	29.2	.80	365	92.4	.90
A、6寸2列千鳥	8.9	9.28	2.40	8.6	1.6	16.8	.45	374	94.4	.59
B、6寸2列千鳥	8.16	10.4	2.38	6.5	5.6	32.0	.85	376	109.6	.89
C、6寸2列千鳥	8.13	10.2	1.97	6.5	6.0	40.0	1.12	367	94.4	1.16
A、6寸1列	8.9	9.28	2.34	7.8	2.6	12.4	.33	380	80.8	.38
B、6寸1列	8.19	10.4	2.32	6.5	8.4	23.6	.63	376	127.2	.77
C、6寸1列	8.15	10.2	2.09	6.8	8.9	28.8	.77	374	82.4	.98

畦幅 2.0 尺ノ部

區名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂數	反當玄米收量			葉重量	反當收量二ヶ年平均
						重量	容量	一升重量		
A、3寸2列千鳥	8.7	9.28	2.18	8.0	2.2	29.1	.78	374	88.8	.84
B、3寸2列千鳥	8.15	10.4	2.33	7.2	7.4	34.5	.93	371	112.2	1.19
C、3寸2列千鳥	8.15	10.4	1.92	6.3	7.4	34.5	.93	373	96.6	1.09
A、3寸1列	8.9	9.28	2.28	8.6	3.3	18.0	.48	378	73.8	.64
B、3寸1列	8.16	10.3	1.94	6.7	4.9	23.1	.62	371	88.2	.88
C、3寸1列	8.16	10.4	1.78	6.7	7.6	30.3	.82	371	72.0	.94
A、6寸2列千鳥	8.7	9.28	2.25	7.3	3.1	21.9	.58	380	58.8	.44
B、6寸2列千鳥	8.15	10.4	1.85	6.1	6.3	25.5	.69	371	82.2	.91
C、6寸2列千鳥	8.12	10.4	1.80	6.9	7.3	25.5	.68	373	69.9	.86
A、6寸1列	8.18	9.28	2.42	8.9	6.2	14.7	.39	376	83.7	.45
B、6寸1列	8.17	10.4	2.25	6.5	18.9	40.8	1.09	373	94.8	1.17
C、6寸1列	8.15	10.4	2.05	6.6	18.3	36.6	.97	374	100.5	1.02

備考 本試験ハ昭和11年ヨリ開始セルヲ以テ2ヶ年平均トス

尙各試験區坪當栽植本數ハ3寸2列100本、3寸1列50本、6寸2列50本、6寸1列25本

(3) 溝播法試験

目的 耐旱處理ノ一トシテ播溝ノ深度ノ適當ナルモノヲ知ラントス

試験概要

一區面積 6 坪

供試品種 東京平山

耕種法 畦幅3尺播幅8寸播溝深度以外ハ標準耕種法ニ依ル

試験成績

區名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂數	反當玄米收量			葉重量	反當收量四ヶ年平均
						重量	容量	一升重量		
標準水平	8.19	10.4	1.60	5.5	16	19.2	.50	384	105.6	1.34
3寸低	8.21	10.9	1.91	5.7	32	12.5	.33	382	97.3	1.30
5寸低	8.28	10.9	1.61	5.4	16	12.2	.31	380	90.8	1.33
7寸低	8.24	10.9	1.73	5.9	11	8.8	.24	367	90.6	1.10

4. 肥料ニ關スル試験

(1) 三要素試験

目的 當場圃場ニ於ケル肥料三要素ノ天然供給状態ヲ明カニシ且ツ之ガ效果ヲ知り以テ陸稻肥料配合ノ基礎ヲ明カニセントス

試験概要

一區面積 6 坪宛

供試品種 近成純1號

耕種法 肥料以外ハ標準耕種法ニ依ル

反當施肥量

區名	肥料名	硫酸アムモニア	過磷酸灰	硫酸加里	生石灰	備考
無窒素單用	—	—	—	—	—	三要素ノ割合ハ窒素2.5貫
磷酸單用	12.500	—	—	—	—	磷酸2.3貫、加里2.0貫
加里單用	—	—	11.500	—	—	石灰ハ第1回中耕直前ニ施
無加里	12.500	—	—	4.167	—	用ス
無磷酸	12.500	—	—	—	—	
無完全	—	—	11.500	4.167	—	
完全	12.500	—	11.500	4.167	—	
完全	12.500	—	11.500	4.167	15.000	

試験成績

區名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂數	反當玄米收量			葉重量	反當收量六ヶ年平均
						重量	容量	一升重量		
窒素單用	8.21	10.11	1.65	5.8	13	9.4	.26	364	49.3	1.62
磷酸單用	8.30	10.11	1.61	5.5	14	2.8	.09	369	35.2	1.55
加里單用	8.30	10.11	1.34	5.6	4	2.9	.08	369	43.6	1.53
無加里	8.31	10.11	1.67	6.0	33	8.65	1.35	360	86.3	1.89
無磷酸	8.18	10.11	1.89	6.3	28	58.1	1.62	360	73.7	1.94
無完全	8.25	10.11	1.84	6.7	16	48.6	.13	367	42.3	1.47
完全	8.18	9.25	1.94	6.0	35	54.4	1.48	368	81.9	2.03
完全	8.17	9.23	1.91	6.2	38	54.3	1.70	362	82.8	2.03

備考 無肥料區ハ旱害ヲ受ケ收穫皆無ナリシ爲記載セズ

(2) 施肥量試験

目的 陸稻ニ對スル施肥ノ適量ヲ知ラントス

試験概要

一區面積 1.5 坪
 供試品種 浦三1號
 耕種法 肥料以外ハ標準耕種法ニ依ル
 反當施肥量

區名	肥料名	硫酸アム モニア	過 燐 石	硫酸加里	堆肥	備考
N1.0 P1.5 K1.5		5.0	7.5	3.1	—	
N1.5 P1.5 K1.5		7.5	7.5	3.1	—	
N2.0 P1.5 K1.5		10.0	7.5	3.1	—	
N2.5 P1.5 K1.5		12.5	7.5	3.1	—	
N1.0 P1.5 K1.5+堆肥		5.0	7.5	3.1	300.0	
N1.5 P1.5 K1.5+堆肥		7.5	7.5	3.1	300.0	
N2.0 P1.5 K1.5+堆肥		10.0	7.5	3.1	300.0	
N2.5 P1.5 K1.5+堆肥		12.5	7.5	3.1	300.0	
N1.5 P0.5 K1.5		7.5	5.0	3.1	—	
N1.5 P1.0 K1.5		7.5	7.5	3.1	—	
N1.5 P2.0 K1.5		7.5	10.0	3.1	—	
N1.5 P1.0 K1.5+堆肥		7.5	5.0	3.1	300.0	
N1.5 P1.5 K1.5+堆肥		7.5	7.5	3.1	300.0	
N1.5 P2.0 K1.5+堆肥		7.5	10.0	3.1	300.0	
N1.5 P1.5 K0.5		7.5	7.5	1.0	—	
N1.5 P1.5 K1.0		7.5	7.5	2.0	—	
N1.5 P1.5 K2.0		7.5	7.5	4.2	—	
N1.5 P1.5 K0.5+堆肥		7.5	7.5	1.0	300.0	
N1.5 P1.5 K1.0+堆肥		7.5	7.5	2.0	300.0	
N1.5 P1.5 K2.0+堆肥		7.5	7.5	4.2	300.0	

試験成績

區名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂數	反當玄米收量				反當收 量ニケ 年平均
						重量	容量	一升 重量	藁重量	
N1.0 P1.5 K1.5	8.18	9.22	2.13	6.8	31	18.9	.51	369	63.6	.75
N1.5 P1.5 K1.5	8.17	9.28	1.97	7.2	13	27.9	.74	376	83.6	1.10
N2.0 P1.5 K1.5	8.18	9.28	2.03	6.6	58	41.4	1.10	378	121.1	1.42
N2.5 P1.5 P1.5	8.18	9.28	2.27	4.9	66	43.7	1.15	380	113.3	1.51
N1.0 P1.5 K1.5+堆肥	8.19	10.7	2.04	6.7	50	24.2	.66	367	77.1	.66
N1.5 P1.5 K1.5+堆肥	8.18	10.7	1.97	6.9	41	30.9	.83	371	91.8	1.02
N2.0 P1.5 K1.5+堆肥	8.19	10.7	2.23	7.3	58	24.9	.67	371	84.2	1.05
N2.5 P1.5 K1.5+堆肥	8.20	10.7	2.21	9.0	27	30.8	.81	378	101.4	1.07
N1.5 P0.5 K1.5	8.19	10.7	2.20	6.7	40	28.2	.76	369	85.8	1.05
N1.5 P1.0 K1.5	8.18	9.30	1.98	6.1	57	38.1	1.01	376	94.4	1.20
N1.5 P2.0 K1.5	8.18	9.30	2.16	6.8	50	36.9	.98	376	88.2	1.18
N1.5 P1.0 K1.5+堆肥	8.18	9.30	2.14	7.3	47	32.7	.87	376	99.9	1.08
N1.5 P1.5 K1.5+堆肥	8.19	10.7	2.16	7.4	45	26.6	.72	369	85.4	1.11
N1.5 P2.0 K1.5+堆肥	8.19	10.4	1.89	7.6	28	24.3	.67	365	86.7	1.07
N1.5 P1.5 K0.5	8.19	10.4	2.03	6.5	40	20.7	.56	373	90.6	1.14

區名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂數	反當玄米收量				反當收 量ニケ 年平均
						重量	容量	一升 重量	藁重量	
N1.5 P1.5 K1.0	8.19	10.4	1.87	6.7	23	12.9	.35	371	87.8	.83
N1.5 P1.5 K1.5	8.19	10.7	1.94	6.5	22	15.5	.41	373	78.5	.95
N1.5 P1.5 K0.5+堆肥	8.19	10.7	1.93	7.0	32	12.2	.34	361	76.4	.78
N1.5 P1.5 K1.0堆肥	8.20	10.7	1.92	7.1	12	8.6	.23	369	77.1	.75
N1.5 P1.5 K1.5+堆肥	8.20	10.7	1.87	7.5	6	7.4	.20	371	77.2	.75

() 食鹽使用量試験

目的 土壤中ニ食鹽ヲ施シ旱魃ノ害ヲ防グト共ニ其ノ適量ヲ知ラントス

試験概要

一區面積 6 坪
 供試品種 東北1號 東京平山
 試験區 東北1號、東京平山 2區制
 耕種法 食鹽使用以外ハ標準耕種法ニ依ル
 食鹽使用法 播種直前水ニ溶解播床ニ如露ニテ撒布後播種ス

試験成績

東北1號ノ部

區名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂數	反當玄米收量				反當收 量ニケ 年平均
						重量	容量	一升 重量	藁重量	
無施用	8.18	9.28	1.82	6.0	39	48.5	1.32	368	113.8	—
反當1貫施用	8.19	9.28	1.88	5.7	29	39.4	1.08	366	93.9	—
反當2貫施用	8.19	9.28	1.67	5.9	35	45.6	1.23	370	94.4	—
反當3貫施用	8.18	9.28	1.91	5.7	37	46.5	1.29	360	64.8	—
反當5貫施用	8.18	9.28	1.64	5.7	57	44.2	1.22	364	91.0	—
反當10貫施用	8.18	9.30	1.83	5.2	20	28.6	.80	358	84.7	—

東京平山ノ部

區名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂數	反當玄米收量				反當收 量ニケ 年平均
						重量	容量	一升 重量	藁重量	
無施用	8.26	10.9	1.62	5.5	6	13.2	.36	367	39.0	1.69
反當1貫施用	8.25	10.9	2.02	5.3	45	15.2	.41	373	195.4	1.96
反當2貫施用	8.25	10.9	1.70	5.8	13	17.6	.48	367	175.7	1.92
反當3貫施用	8.24	10.9	1.82	5.6	28	20.9	.56	374	169.1	2.04
反當5貫施用	8.25	10.9	1.91	6.2	26	17.3	.46	378	162.2	1.53
反當10貫施用	8.29	10.9	1.89	5.9	35	5.6	.16	358	178.8	—

備考 東北1號ハ本年度ヨリ着手セルヲ以テ1ケ年ノミノ成績トス

尙反當10貫使用區モ同様1ケ年ノミトス

5. 二毛作ニ關スル試験

(1) 陸稻小麥畦幅對播幅試驗

目的 陸稻小麥二毛作ニ於ケル適當ナル畦幅並ニ播幅ヲ知ラントス

試驗概要

一區面積 不 同

供試品種 浦三1號

試驗法 直播ト移植ノ2面制

耕種法 畦幅並ニ移植以外ハ標準耕種法ニ依ル

試驗成績

區名	出穂期	成熟期	稈長	穗長	穗數	反當玄米收量			反當收量三ヶ年平均	
						重量	容量	一升重量		
畦幅 1.5×播幅 6寸3本5寸1列	8.25	10.11	1.88	6.7	1.0	8.0	.22	369	262.6	1.15
畦幅 2.0×播幅 6寸3本5寸1列	9. 1	10.11	1.65	6.6	4.3	3.3	.89	369	137.2	1.21
畦幅 2.5×播幅 6寸2本5寸2列	9. 4	10.11	1.57	5.8	4.1	5.0	.14	369	231.8	.86
畦幅 2.5×播幅 6寸3本8寸1列	9. 2	10.11	1.61	6.2	3.0	14.2	.38	373	182.4	1.45
畦幅 3.0×播幅 6寸2本5寸2列	9. 2	10.11	1.71	6.9	3.0	13.2	.36	366	188.9	1.50
畦幅 3.0×播幅 6寸3本8寸1列	9. 4	10.11	1.64	6.5	1.9	6.9	.20	353	147.0	1.12

備考 本試驗中直播區ハ旱害ヲ受ケ收穫皆無ナリシ爲記載セズ

6. 委託試驗成績

1. 大島村委託試驗地ノ部

試驗地擔當者 下伊那郡大島村大字大島區中原羽生雄藏

標準作耕種概要

1. 整地 4月上旬耕翻碎土

2. 選種 1.10度(ボ-メ比重) 鹽水選

3. 播種期 5月1日

4. 播種量 反當4升5合

5. 播種法 畦幅2尺.播幅5寸條播

6. 反當施肥量

肥料名	施用量	推定三成分量			備考
		N	P	K	
堆肥	300.0	1.500	.780	1.875	基肥3貫.追肥3貫
硫酸アムモニア	5.0	1.000	—	—	
蛭石	6.0	0.540	.084	.030	
過磷酸石灰	8.0	—	1.600	—	
硫酸加里	2.0	—	—	.960	
計		3.040	2.464	2.865	

備考 追肥ハ6月下旬第2回中耕直前水ニ溶解施用ス

7. 管理

中耕 5月下旬、6月下旬 2回

間引 苗ノ草丈4-5寸ニ成育シタル時3寸毎ニ1本宛2列千鳥ニ行フ

除草 各中耕並ニ土寄前其ノ他雜草生育ノ状態ニ依リ適宜行フ

土寄 7月中旬深サ3寸内外ニ行フ

8. 收穫 黃熟期ニ於テ刈取り稻架ニ掛ケ乾燥ヲ行フ

9. 調製 脫穀機ニ掛ケ脫穀篩選及ビ唐箕選ヲ行フ

試驗成績

(1) 品種比較試驗

目的 高燥地ニ於ケル適當ナル品種ヲ選定セントス

試驗概要

一區面積 6 坪

供試品種 粳9品種、糯5品種

耕種法 標準耕種法ニ依ル

試驗成績

粳ノ部

品種名	出穂期	成熟期	稈長	穗長	穗數	反當玄米收量			反當收量六ヶ年平均	
						重量	容量	一升重量		
胡桃早生 43 號	8.19	—	2.50	7.1	28	47.2	1.25	378	57.5	1.25
近成純 1 號	8.21	—	2.48	6.8	25	54.5	1.48	367	77.5	1.84
オイラ ン	8.27	—	2.23	6.6	26	36.9	.98	378	92.5	1.59
身代 起	8.28	—	2.59	6.7	6	16.8	.46	366	132.5	1.60
浦三 1 號	8.29	—	2.53	6.5	10	20.9	.56	374	142.5	1.08
東京平山	8.28	—	2.13	6.4	20	29.3	.77	378	125.0	1.53
戰捷新湯	8.28	—	2.14	6.7	10	22.0	.60	366	130.0	1.73
宮錦 1 號	8.29	—	2.40	7.3	20	22.6	.61	370	120.0	1.23
大島 1 號	8.25	—	2.38	6.3	30	42.5	1.13	376	115.0	1.29

糯ノ部

品種名	出穂期	成熟期	稈長	穗長	穗數	反當玄米收量			反當收量六ヶ年平均	
						重量	容量	一升重量		
陸羽 9 號	8.19	—	2.55	8.0	20	28.0	.74	378	72.5	1.34
良温 1 號	8.19	—	—	—	—	19.7	.54	364	57.5	4.89
最上 糯	8.21	—	2.65	6.6	40	33.9	.94	362	85.0	1.12
凱旋 糯	8.26	—	2.41	6.9	15	30.7	.83	370	117.5	1.52
尾張 糯	8.23	—	2.02	6.3	15	29.3	.81	362	70.0	.81
早生江曾島糯2號	8.26	—	2.10	6.6	20	20.8	.56	370	52.0	1.44

(2) 溝播法試驗

目的 播溝ノ深度ニ依リ陸稻ノ生育並ニ旱害ニ對スル抵抗力ノ如何ヲ知ラントス

試驗概要

一區面積 4.5 坪
 供試品種 浦三1號
 耕種法 播溝以外ハ標準耕種法ニ依ル

試驗成績

區名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂數	反當玄米收量			葉重量	反當收量 四ヶ年平均
						重量	容量	一升重		
標準水平區	8.26	—	2.53	7.6	24	54.4	1.47	370	290.6	1.69
1 寸 低	8.26	—	2.69	8.1	10	49.8	1.33	374	240.0	1.47
3 寸 低	8.26	—	2.67	8.0	12	59.7	1.57	381	213.3	1.56
5 寸 低	8.27	—	2.58	7.7	10	50.0	1.33	376	193.3	1.27
7 寸 低	8.28	—	2.70	8.1	29	41.9	1.12	376	273.3	1.16

(3) 播種期對土寄時期試驗

目的 適當ナル播種ノ時期並ニ之ニ關聯スル土寄ノ適期ヲ知ラントス

試驗概要

一區面積 3 坪
 供試品種 浦三1號
 耕種法 播種期並ニ土寄時期以外ハ標準耕種法ニ依ル

試驗成績

區名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂數	反當玄米收量			葉重量	反當收量 二ヶ年平均
						重量	容量	一升重		
5月1日播7月1日土寄	—	—	—	—	—	20.3	.54	378	125.0	.94
5月1日播7月10日土寄	—	—	—	—	—	17.9	.47	380	130.0	.95
5月1日播7月20日土寄	—	—	—	—	—	24.3	.64	370	132.0	1.12
5月1日播8月1日土寄	—	—	—	—	—	29.9	.69	375	135.0	1.07
5月11日播7月10日土寄	—	—	—	—	—	38.0	1.02	372	165.0	—
5月11日播7月20日土寄	—	—	—	—	—	25.6	.68	378	162.0	1.17
5月11日播8月1日土寄	—	—	—	—	—	20.9	.56	376	152.5	1.13
5月11日播8月10日土寄	—	—	—	—	—	21.8	.58	380	147.5	1.15

(4) 畦幅對間引距離試驗

目的 陸稻栽培ニ於ケル適當ナル畦幅並ニ栽植密度ヲ知ラントス

試驗概要

一區面積 不 同
 供試品種 近成純1號、浦三1號
 耕種法 畦幅並ニ栽植密度以外ハ標準耕種法ニ依ル

試驗成績

畦幅1.5尺近成純1號ノ部

區名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂數	反當玄米收量			葉重量	反當收量 3ヶ年平均
						重量	容量	一升重		
3 寸 2 列 千鳥	8.28	—	2.61	6.9	7	69.7	1.88	372	91.0	1.83
3 寸 1 列	8.28	—	2.44	6.8	10	68.4	1.83	373	70.0	1.63
6 寸 2 列 千鳥	8.28	—	2.36	7.0	8	56.7	1.52	374	77.0	1.54

畦幅1.5尺浦三1號ノ部

3 寸 2 列 千鳥	8.20	—	2.53	6.7	16	21.1	.56	376	153.4	—
3 寸 1 列	8.21	—	2.28	6.5	20	13.5	.36	377	136.5	—
6 寸 2 列 千鳥	8.21	—	2.42	6.5	20	9.6	.26	375	143.5	—

畦幅2尺近成純1號ノ部

3 寸 2 列 千鳥	8.28	—	2.43	7.0	10	63.6	1.71	373	77.0	1.45
3 寸 1 列	8.28	—	2.37	6.8	3	42.8	1.12	383	61.0	1.12
6 寸 2 列 千鳥	8.28	—	2.38	6.8	7	63.6	1.70	373	73.5	1.43

畦幅2尺浦三1號ノ部

3 寸 2 列 千鳥	8.21	—	2.51	6.8	17	12.6	.34	377	84.0	—
3 寸 1 列	8.21	—	2.15	6.4	24	70.0	1.90	368	129.5	—
6 寸 2 列 千鳥	8.21	—	2.40	6.6	17	8.3	.22	375	112.0	—

備考 浦三1號ハ本年ヨリ供試セルヲ以テ1ヶ年ノ成績、近成純1號ハ2ヶ年平均トス

(5) 硫酸並ニ智利硝石肥效試驗

目的 施肥量ノ増減ニ依ル土地報酬増減率ヲ知り併セテ硫酸及智利硝石ノ肥效ヲ比較セン
トス

試驗概要

1區面積 6 坪 供試品種 浦三1號 耕種法 肥料以外ハ標準耕種法ニ依ル
 反當施肥量

硫酸ノ部

區名	堆肥	硫酸	過石	蛹ノ粕	硫酸加
標準	300.0	5.0	6.0	6.0	2.0
5 割 減	150.0	2.5	3.0	3.0	1.0
5 割 増	450.0	7.5	9.0	9.0	3.0
10 割 増	600.0	10.0	12.0	12.0	4.0

智利硝石ノ部

區名	堆肥	智利硝石	過石	蛹ノ粕	硫酸加
標準	300.0	6.0	6.0	6.0	2.0
5 割 減	150.0	3.0	3.0	3.0	1.0
5 割 増	450.0	9.0	9.0	9.0	3.0
10 割 増	600.0	12.0	12.0	12.0	4.0

備考 肥料ハ全部基肥トス、標準區三要素量ハN3.040、P2.064、K2.865トス

試験成績

硫 安 ノ 部

區 名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂數	反當玄米收量			一升重量	反當收量4ヶ年平均
						重量	容量	一升重量		
標準	—	—	—	—	—	37.4	1.01	371	127.5	1.41
5割減	—	—	—	—	—	31.9	.99	377	107.5	1.25
5割増	—	—	—	—	—	21.4	.57	378	130.0	1.29
10割増	—	—	—	—	—	18.3	.49	374	150.0	1.49

智 利 硝 石 ノ 部

標準	—	—	—	—	—	29.1	.77	381	105.0	1.33
5割減	—	—	—	—	—	27.5	.74	372	97.5	1.04
5割増	—	—	—	—	—	21.8	.59	372	122.5	1.18
10割増	—	—	—	—	—	16.6	.44	376	137.5	1.29

(6) 堆肥施用法試験

目的 播種=當り堆肥ヲ覆ヒ以テ旱害ヲ輕減セントス

試験概要

1區面積 6 坪 供試品種 浦三1號

耕種法 堆肥ノ施用法ヲ異ニスル以外ハ標準耕種法ニ依ル

反當施肥量

區 名	堆 肥	硫 安	硝 石	過 石	硫 加
標準	300.0	5.0	6.0	6.0	2.0
堆肥200貫上覆	200.0	7.5	6.0	7.3	3.0
同 400同	400.0	3.8	6.0	4.7	1.7
同 500同	500.0	2.5	6.0	3.4	1.0

備考 肥料ハ全部基肥、三要素量ハN3.040、P2.064、K2.865トス

試験成績

區 名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂數	反當玄米收量			藁收量	反當收量4ヶ年平均
						重量	容量	一升重量		
標準	—	—	—	—	—	21.3	.59	364	155.0	1.41
堆肥200貫上覆	—	—	—	—	—	29.2	.78	372	160.0	1.44
同 400同	—	—	—	—	—	29.7	.78	383	107.5	1.52
同 500同	—	—	—	—	—	31.4	.83	376	105.0	1.38

(7) 三要素試験

目的 開墾地帯ニ於ケル陸稻肥料ノ三要素ノ適量ヲ知ラントス

試験概要

1區面積 4.5坪 供試品種 浦三1號

耕種法 肥料以外ハ標準耕種法ニ依ル

反當施肥量

區 名	硫 安	過 石	硫 加	備 考
無肥料	—	—	—	肥料ハ各區共全 部基肥トシテ施 用
N1.0P1.5K1.5	5.0	7.5	3.1	
N1.5P1.5K1.5	7.5	7.5	3.1	
N2.0P1.5K1.5	10.0	7.5	3.1	
N2.5P1.5K1.5	12.5	7.5	3.1	
N1.5P0K1.5	7.5	—	3.1	
N1.5P1.0K1.5	7.5	5.0	3.1	
N1.5P2.0K1.5	7.5	10.0	3.1	
N1.5P1.5K0	7.5	7.5	—	
N1.5P1.5K1.0	7.5	7.5	2.1	
N1.5P1.5K2.0	7.5	7.5	4.2	

試験成績

區 名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂數	反當玄米收量			藁重量	反當收量2ヶ年平均
						重量	容量	一升重量		
無肥料	8.26	—	2.37	6.8	24	14.4	.39	378	65.8	.44
N1.0K1.5P1.5	8.26	—	2.71	6.7	36	30.0	.82	368	136.5	.79
N1.5K1.5P1.5	8.26	—	2.53	7.4	47	29.7	.81	365	126.0	.72
N2.0K1.5P1.5	8.26	—	3.00	6.0	26	23.8	.64	370	119.0	.66
N2.5K1.5P1.5	8.28	—	2.60	6.5	21	20.2	.55	370	70.7	.60
N1.5K0P1.5	8.27	—	2.70	6.5	15	15.4	.42	370	47.5	.50
N1.5K1.0P1.5	8.27	—	2.50	6.5	24	38.5	1.03	374	94.5	.78
N1.5K2.0P1.5	8.26	—	2.68	6.9	30	39.1	1.05	372	122.5	.84
N1.5K1.5P1.0	8.27	—	2.81	6.8	27	21.6	.58	370	71.4	.69
N1.5K1.5P1.0	8.27	—	2.71	7.9	26	29.5	.80	370	101.5	.73
N1.5P1.5K2.0	8.27	—	2.77	7.2	27	31.0	.84	368	115.5	.90

2. 小縣郡禰津村委託試験地ノ部

試験地擔當者 小縣郡禰津村大字金井 小林 虎一郎

耕 種 概 要

整地 4月上旬耕起碎土

選種 1.10(ボ-メ)比重ニテ鹽水選

播種期 4月18日

播種量 反當4升5合

播種法 畦幅2尺、播幅5寸條播

反當施肥量

肥料名	施肥量	推定三成分量			備考
		N	P	K	
堆肥	300.0	1.5	.78	1.875	肥料へ全部基肥トシテ施用ス
硫酸	3.0	.6	—	—	
過石	4.5	—	.90	—	
硫酸	.5	—	—	.226	
計		2.10	1.68	2.101	

管理

中耕 5月下旬、6月下旬2回

土寄 7月中旬

間引 草丈4-5寸ノ時3寸毎=1本宛2列千鳥=行フ

除草 各中耕及土寄直前並=其ノ他適宜行フ

收穫 黄熟期=刈取リ架乾ヲ行フ

苗床耕種法

整地 耕起碎土後床幅4尺、長サ適宜ノ苗床ヲ作ル

播種期 4月18日

播種量 坪當2合

肥料 坪當硫酸60匁、過石50匁、硫酸20匁、三要素N12匁、P10匁、K9.6匁

管理

覆藁 覆土後鳥類ノ害ヲ防グ爲適宜行フ

灌水 乾燥セシ時適宜行フ

間引 發芽後7分-1寸ノ時厚キ所及不良苗ノ間引ヲ行フ

移植標準耕種法

移植法 畦幅2尺、株間6寸、1株3本宛伏植(葱植式)苗=ハ着土シテ移植ス

肥料 直播肥料=準ズ

管理 中耕活着10日後1回土寄7月下旬行フ以外直播=準ズ

試験成績

(1) 品種比較試験

目的 北信地方=適當スル品種ヲ選定セントス

試験概要

1 區面積 5 坪

供試品種 粳10品種、糯9品種

耕種法 標準耕種法=依ル

試験成績

粳ノ部

品種名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂數	反當玄米收量			藥重量	反當收量6ヶ年平均
						重量	容量	一升重		
胡桃早生43號	8.5	9.15	2.95	6.3	57	41.7	1.09	390	174.0	1.83
近成純1號	8.10	9.20	2.79	6.1	49	42.0	1.13	370	171.0	2.22
オイヤン	8.7	9.21	2.55	5.8	65	51.4	1.35	380	150.0	1.76
常陸錦1號	8.5	9.25	2.85	7.1	95	54.4	1.40	390	162.0	1.84
田優1號	8.10	9.24	2.72	5.9	62	56.0	1.47	380	150.0	1.74
浦三1號	8.9	9.25	3.15	8.1	60	40.8	1.05	390	150.0	1.49
東京平山	8.18	9.29	3.97	7.8	78	35.0	.95	370	156.0	1.81
宮錦1號	8.10	9.25	2.91	7.4	74	45.3	1.23	370	150.0	2.63
三太郎	8.10	9.24	2.93	7.3	65	38.7	1.03	375	159.0	1.71
戰捷新湯	8.14	9.24	2.95	7.5	84	55.8	1.55	360	150.0	1.98

糯ノ部

白良最上	8.7	9.20	3.21	7.1	57	55.6	1.50	370	162.0	1.68
早生江曾鳥糯2號	8.5	9.20	3.17	6.5	50	37.4	1.04	360	160.4	1.83
尾張	8.10	9.25	2.79	5.7	44	43.1	1.13	380	148.8	1.49
凱旋糯	8.15	9.25	2.76	5.9	75	32.5	.88	370	150.0	1.95
陸羽9號	8.15	9.24	2.91	6.1	110	62.7	1.74	360	152.0	1.77
陸羽20號	8.10	9.25	2.94	7.5	99	81.1	1.95	365	133.8	2.08
陸羽22號	8.5	9.24	3.25	8.5	52	85.5	2.25	380	132.0	1.91
	8.12	9.24	3.00	7.2	112	82.7	2.12	390	138.0	—
	8.10	9.24	3.10	7.1	145	80.3	2.06	390	129.0	2.09

(2) 播種期試験

目的 當地方=適當セル播種期ヲ知ラントス

試験概要

1 區面積 5 坪

供試品種 胡桃早生43號

耕種法 播種期以外ハ標準耕種法=依ル

試験成績

區名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂數	反當玄米收量			藥重量	反當收量6ヶ年平均
						重量	容量	一升重		
4月5日播	8.15	9.20	3.15	7.2	72	71.3	1.99	359	144.0	2.22
4月10日播	8.15	9.17	3.19	6.9	65	72.7	2.02	360	153.0	2.35
4月15日播	8.14	9.19	3.20	7.3	74	69.8	1.94	360	144.0	2.39
4月20日播	8.20	9.20	3.14	7.2	61	62.8	1.75	359	144.0	2.09
4月25日播	8.20	9.25	3.09	7.5	59	60.8	1.70	358	143.4	2.06
5月1日播	8.20	9.25	3.12	6.5	53	55.2	1.54	359	141.0	2.03
5月10日播	8.20	9.30	2.95	6.4	65	54.9	1.53	360	129.0	1.93

(3) 移植時期試験

目的 當地方ニ於ケル移植ノ適期ヲ知ラントス

試験概要

1 區面積 5 坪

供試品種 胡桃早生43號

耕種法 移植期以外ハ標準耕種法ニ依ル

試験成績

區名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂數	反當玄米收量			反當收量3ヶ年平均	
						重量	容量	一升量		
4月18日直播	8.15	9.29	2.50	7.5	95	45.7	1.14	400	186.0	1.32
5月25日移植	8.20	9.19	2.70	8.0	35	116.6	2.99	390	180.0	2.36
6月10日移植	8.20	9.20	2.97	6.9	33	70.5	1.85	380	156.0	1.96
6月25日移植	8.20	9.20	2.98	7.2	42	79.9	2.16	370	138.0	2.04
5月下旬移植	8.20	9.22	2.95	7.4	51	76.0	2.00	380	156.0	1.96
6月上旬移植	8.13	9.25	2.99	6.5	40	72.4	1.95	370	147.0	1.94
6月中旬移植	8.21	9.30	2.79	5.9	29	68.9	1.86	370	150.0	1.87
6月下旬移植	8.25	9.30	2.75	5.4	52	64.2	1.79	359	145.0	—

3. 南安曇郡小倉村委託試験地ノ部

試験地擔當者 南安曇郡小倉村 降旗數太郎

耕種概要

整地 4月上旬耕起碎土

選種 1.10(ボーマ)比重ニテ鹽水選

播種期 4月16日

播種量 反當4升5合

播種法 畦幅2尺播、幅5寸條播

反當施肥量

肥料名	施肥量	推定三成分量			備考
		N	P	K	
堆肥	300.00	1.5	.78	1.875	肥料ハ全部基肥 ニ施用
硫酸	3.00	0.6	—	—	
過石	4.50	—	.90	—	
硫酸	.45	—	—	.226	
計		2.1	1.68	2.101	

管理

中耕 5月下旬、6月下旬2回

間引 草丈4—5寸ノ時3寸毎ニ1本宛2列千鳥

除草 各中耕及土寄其ノ他雜草藥茂ノ状態ニ依リ適宜行フ

土寄 7月下旬(20日前後)

收穫 黄熟期ニ於テ刈取り架乾ヲ行フ

(1) 品種比較試験

目的 當地方ニ適當セル品種ヲ選定セントス

試験概要

1 區面積 5 坪

供試品種 粳11品種、糯9品種

耕種法 標準耕種法ニ依ル

試験成績

品種名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂數	反當玄米收量			反當收量6ヶ年平均	
						重量	容量	一升量		
胡桃早生43號	8.24	9.10	3.20	6.5	37	108.0	4.00	270	90.0	2.74
近成純1號	8.25	10.10	2.60	6.5	37	96.0	3.56	270	84.0	2.69
オイヤン	8.28	10.10	2.70	6.5	45	60.0	2.73	220	60.0	2.03
常陸錦1號	8.26	10.10	3.10	7.0	55	78.0	3.90	220	72.0	3.01
田優1號	8.23	10.10	3.10	7.0	52	48.0	2.00	240	60.0	2.05
浦身代	8.24	10.10	3.40	7.0	48	72.0	3.00	240	72.0	2.73
東京平山	8.28	10.10	3.70	7.0	48	54.0	2.57	210	60.0	3.08
東捷新	8.29	10.10	3.20	7.0	50	96.0	5.33	180	108.0	2.74
宮錦1號	8.26	10.15	3.10	6.5	64	90.0	4.28	210	84.0	2.63
三太郎	8.25	10.10	3.20	6.5	46	90.0	4.28	210	84.0	2.42

糯ノ部

白鬚	8.20	9.30	2.90	7.5	8	50.4	2.29	222	54.0	2.49
陸羽9號	8.20	9.30	2.70	7.0	10	40.2	2.12	190	54.0	2.45
夏温1號	8.15	9.30	2.20	5.0	12	30.6	1.39	220	50.4	1.63
最上糯	8.25	9.30	2.70	6.0	12	45.0	1.88	240	50.4	2.50
早生江曾島糯2號	8.30	9.39	2.70	6.0	12	46.0	1.76	240	48.6	2.17
尾張糯	8.30	9.30	2.70	6.0	10	50.4	2.10	240	45.0	2.05
陸羽17號	8.25	9.30	2.80	6.5	8	48.0	1.92	250	46.8	—
凱旋糯	8.30	9.30	2.70	6.0	10	53.8	2.24	240	60.0	1.87
陸羽20號	8.20	9.30	2.90	7.5	8	57.7	2.28	250	54.0	—

(2) 播種期試験

目的 當地方ニ於ケル播種ノ適期ヲ知ラントス

試験概要

1 區面積 5 坪

供試品種 胡桃早生43號

耕種法 播種期以外ハ標準耕種法ニ依ル

試験成績

區名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂數	反當玄米收量			葉重量	反當收量6ヶ年平均
						重量	容量	一升量		
4月18日播	8.16	9.15	3.10	6.5	12	72.0	1.67	270	54.0	2.13
4月25日播	8.16	9.15	3.10	6.5	12	78.0	2.89	270	54.0	2.66
5月2日播	8.18	9.15	3.10	6.5	10	66.0	2.44	270	54.0	2.48
5月9日播	8.20	9.20	3.00	6.5	10	66.0	2.54	260	54.0	2.40
5月16日播	8.20	9.25	2.80	6.5	8	60.0	2.31	260	48.0	2.02
5月25日播	8.20	9.25	2.60	6.0	6	60.0	2.31	260	36.0	1.66

(3) 施肥量試験

目的 當地方ニ於ケル施肥ノ適量ヲ知ラントス

試験概要

1 區面積 5 坪

供試品種 胡桃早生43號

耕種法 施肥量以外ハ標準耕種法ニ依ル

反當施肥量

區名	堆肥	硫安	過石	硫加	備考
無標	—	—	—	—	肥料ハ全部基
3 割 減	300.0	3.0	4.50	.45	肥料トシテ施用
3 割 増	210.0	2.1	3.15	.32	
6 割 増	390.0	3.9	5.85	.59	ス
10 割 増	480.0	4.8	7.20	.72	
	600.0	6.0	9.00	.90	

試験成績

區名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂數	反當玄米收量			葉重量	反當收量6ヶ年平均
						重量	容量	一升量		
無標	8.15	9.25	2.20	5.0	6	36.0	1.33	270	24.0	1.19
3 割 減	8.15	9.15	2.80	6.5	10	66.0	2.44	270	60.0	2.15
3 割 増	8.15	9.15	2.80	6.0	8	63.0	2.33	270	57.0	2.04
6 割 増	8.15	9.15	2.80	6.5	10	78.0	2.89	270	60.0	2.42
10 割 増	8.15	9.15	3.00	6.5	12	84.0	3.11	270	66.0	2.15
	8.15	9.15	3.20	7.0	15	90.0	3.46	260	90.0	2.19

麥

1. 耕種梗概

1. 種子

(1) 選種及麥奴豫防

大麥1.13 小麥及裸麥1.22ノ比重ヲ以テ鹽水選ヲ行ヒ後冷水溫湯浸法ヲ行フ

2. 整地

10月中旬牛馬耕ヲ行ヒ左記ニヨリ畦立ヲ行フ

畦巾2.5尺 播巾1.7尺

3. 肥料

反當施肥量

肥料名	施用量	施肥法	假 定 三 成 分		
			N	P	K
堆肥	300.0	基肥	1.5	0.78	1.89
硫酸アンモニア	10.0	基肥 4.0 追肥 6.0	2.0	—	—
過燐酸石灰	8.6	基肥	—	1.72	—
鹽化加里	1.4	基肥	—	—	.84
計			3.5	2.5	2.73

備考 追肥硫安ハ第1回追肥11月中旬3貫、第2回追肥3月中旬3貫トス

4. 播種

(1) 播種期 10月下旬

(2) 播種量 反當3升

(3) 播種法 特殊試験ハ播種定規其ノ他ハ播種器ヲ使用ス

5. 管理

(1) 踏壓

第一回 12月上旬

第二回 2月下旬

第三回 3月中旬

(2) 中耕及土入

第一回 11月下旬 3分

第二回 3月上旬 6分

第三回 3月下旬 9分

第四回 4月上旬 12分

4回計3寸

6. 收穫調製

黃熟期ニ刈取リ架乾ヲ行ヒタル後脱穀調製ヲ行フ

2. 豊凶考照試験

目的

本試験ハ年々同一圃場ニ於テ同一設計ノ下ニ之ヲ施行シ所定ノ時期ニ於テ生育状況ヲ詳細ニ調査シ之ヲ例年ト比較對照シ又氣候ノ如何ヲ考照シテ其ノ年ノ麥作ノ豊凶ヲ豫知セントスルニアリ

設計概要

1區面積8坪北側南側各4坪ノ2區制

耕種概要 一般標準耕種法ニヨル

供試品種

大麥3種 關取埼1號 虎ノ尾埼1號 倍取105號

裸麥3種 コビンカタギ 白珍子 紅珍光

小麥3種 伊賀筑後オレゴン 赤坊主 農林1號

右試験ノ所定時期ニ於ケル生育状況及收量成績次ノ如シ

(1) 春分當日ニ於ケル生育状況

品 種 名	昭和十一年度		平 年		比 較 増 減		備 考
	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	
皮麥三種平均	0.68	119	0.50	136(+)	0.18	(-) 17	平年トハ前五ヶ年
裸麥三種平均	0.67	75	0.51	104(+)	0.16	(-) 29	平均成績ナリ
小麥三種平均	1.00	87	0.65	111(+)	0.35	(-) 24	

(2) 立夏當日ニ於ケル生育状況

品 種 名	昭和十一年度		平 年		比 較 増 減		備 考
	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	
皮麥三種平均	2.72	67	2.62	96(+)	0.10	(-) 29	平年トハ前六ヶ年 平均成績ナリ
裸麥三種平均	2.86	60	2.58	82(+)	0.28	(-) 22	
小麥三種平均	2.58	66	2.67	94(-)	0.09	(-) 28	

(3) 出穂期比較

品 種 名	昭和十一年度	平 年	比 較
皮麥三種平均	4.27	5.3	(+) 6
裸麥三種平均	4.26	5.3	(+) 7
小麥三種平均	5.3	5.11	(+) 8

(4) 收量成績

品 種 名	昭和十一年度		平 年		比 較 増 減	
	反當容量	一升重量	反當容量	一升重量	反當容量	一升重量
皮麥三種平均	4.583	264	4.463	293	(+) 0.120	(-) 29
裸麥三種平均	2.849	359	2.738	378	(+) 0.111	(-) 19
小麥三種平均	2.083	351	2.757	360	(-) 0.674	(-) 9

摘要 播種以降春分ニ到ル迄ノ氣象狀態概シテ順調ニシテ殊ニ越冬期間ノ寒害等モ少ク1月以降3月ニ到ル近年稀ナル早暖ノ爲ニ早クヨリ生育開始シ草丈伸長促進セラレシモ分蘗ニ伴ハザル觀アリシニ4月上旬ニ於ケル氣溫激降ニ依リ生育著シク阻害セラレ殊ニ小麥ニ於テ被害大ナリキ、ソノ後氣溫上昇並適濕ニ依リ漸次回復シ來レルモ大小麥共出穂期約7-8日早マリ從ツテ成熟期モ大麥ニ於テ約10日、小麥ニ於テ約5日ノ促進ヲ來シ大麥ニ於テハ平年ニ比シ反當容量増加ヲ來セルモ小麥ハ減少ヲ來シ1升重量ニ於テハ大小麥共ニ平年ヨリ減少セリ
猶一般ノ作柄ハ平年並ナルガ如シ

3. 品種改良ニ關スル試験

1. 品種比較試験

目的 當地方ニ略適當ト認ムル品種ニ對シソノ品種ノ特性及收量品質等ヲ比較調査研究セントス

設計概要

1區面積 2.5坪 1區制

耕種概要 標準耕種法ニ依ル

供試品種 皮麥19品種 大麥10品種 小麥31品種

試験成績次ノ如シ

皮 麥 ノ 部

品 種 名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂數	反 當 重 量			
						重 量	容 量	一升重量	秤重量
愛知魁	4.21	6.2	2.56	1.6	134	128.0	4.34	295	115.0
關取埼1號	4.25	6.2	2.71	1.2	129	155.8	5.30	294	115.0
倍取105號	4.26	6.3	2.97	1.3	113	138.8	4.52	307	122.5
早生三	4.21	5.31	2.73	2.1	169	105.5	3.72	284	110.0
黒	4.22	5.31	3.20	1.8	108	131.4	4.64	283	135.0
虎ノ尾埼1號	4.30	6.7	3.62	1.5	108	131.4	4.24	310	143.8
備前早生	4.27	6.4	3.62	1.6	106	133.6	4.72	283	156.3
ゴールドンメロン	5.5	6.10	3.90	2.0	147	133.6	3.97	337	150.0
白雷	5.4	6.10	3.80	1.6	120	135.5	4.46	304	150.5
大六角	4.24	6.4	3.27	1.3	131	144.5	4.71	307	140.0
千葉坊主1號	4.23	6.1	2.96	1.2	135	134.4	5.35	251	127.5
栃木坊主1號	4.24	6.1	2.45	1.2	152	147.6	4.81	307	127.5
堀越	4.24	6.1	2.96	1.2	126	146.1	4.54	322	137.5
伊賀良坊主	4.27	6.4	3.22	1.3	123	136.5	4.45	307	132.5
續坊主	4.24	6.4	3.23	1.5	127	128.0	4.10	312	125.0
神	4.29	6.4	3.45	1.8	131	142.1	4.93	289	143.8
京都坊主大麥1號	4.23	6.3	3.20	1.3	144	119.9	3.91	307	132.5
半坊主25號	4.26	6.3	3.50	1.4	125	154.9	5.15	310	190.0

大 麥 ノ 部

品 種 名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂數	反 當 收 量			
						重 量	容 量	一升重量	稈重量
白 珍 子	4.24	6.4	2.79	1.2	138	112.8	3.06	368	121.2
紅 珍 子	4.23	6.4	2.82	1.0	134	—	—	—	—
香 川 1 號	4.28	6.7	2.75	1.9	121	115.3	3.08	374	100.0
白 崩 1 號	4.27	6.4	2.87	1.2	124	124.9	3.38	370	122.5
上 州 白 裸	4.25	6.4	3.15	1.2	107	130.9	3.44	380	125.0
濕 氣 不 知	4.29	6.4	3.14	1.4	88	136.6	3.82	358	126.3
コ ビ ン カ タ	4.28	6.7	3.33	1.4	115	127.4	3.43	371	130.0
白 裸 1 號	4.24	6.2	3.36	2.1	169	105.9	2.97	356	122.5
膝 1 年 麥 2 號	4.24	6.2	2.71	1.4	144	95.0	2.76	344	92.5
	4.27	6.7	3.47	1.3	115	118.0	3.65	323	128.8

小 麥 ノ 部

品 種 名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂數	反 當 收 量			
						重 量	容 量	一升重量	稈重量
農 林 1 號	5. 5	6.21	2.84	2.3	118	116.9	3.06	382	175.0
同 同 2 號	5. 8	6.22	3.21	2.4	100	102.5	2.63	390	225.0
同 同 4 號	5. 4	6.18	2.57	2.4	132	113.9	3.08	370	131.3
同 同 5 號	4.30	6.16	2.45	2.2	137	110.8	3.03	366	126.3
同 同 6 號	5. 9	6.21	2.90	2.2	108	117.5	2.99	393	187.5
同 同 7 號	5. 2	6.16	2.70	2.9	138	106.9	2.87	372	125.0
同 同 8 號	5.24	6.27	3.86	2.5	172	68.8	1.95	352	225.0
同 同 9 號	5. 2	6.21	2.59	2.2	143	125.8	3.44	366	117.5
同 同 11 號	5. 2	6.21	3.10	2.3	164	125.4	3.27	383	181.3
同 同 12 號	5. 6	6.21	2.65	1.7	106	131.1	3.48	377	137.5
同 同 13 號	5. 1	6.16	2.64	2.4	128	115.1	3.10	372	135.6
同 同 14 號	5.10	6.21	2.72	2.6	117	91.5	2.36	387	127.5
ス プ レ	5. 2	6.16	2.38	2.4	134	110.9	2.92	380	200.0
新 中 長 力	5. 2	6.16	2.59	2.3	108	112.8	3.12	361	153.8
江 島 神	5. 1	6.16	3.24	2.4	104	102.8	2.76	373	150.0
伊 賀 筑 後 オレゴン	5. 5	6.16	3.10	2.8	77	102.9	2.78	370	130.0
信 濃 濃 不 知	5.13	6.22	3.80	2.5	114	93.9	2.60	365	200.0
マ ー ナ	5.17	6.23	4.16	3.2	93	98.2	2.66	370	207.3
ブ レ ド リ	5.22	6.27	4.12	2.7	108	83.9	2.43	345	260.0
北 關 東 4 號	5. 2	6.14	2.60	2.2	137	102.6	2.72	378	145.0
同 同 5 號	5. 1	6.15	2.45	2.3	140	119.8	3.14	381	160.0
同 同 6 號	5. 2	6.15	2.85	2.6	131	109.6	2.80	392	162.5
同 同 7 號	5. 1	6.15	2.41	2.6	123	116.4	3.08	378	125.0
同 同 8 號	5. 2	6.15	2.49	2.8	124	108.5	2.93	370	150.0
同 同 9 號	5. 3	6.16	2.59	2.8	125	118.9	3.26	365	145.0
同 同 10 號	4.30	6.12	2.50	2.2	140	108.8	2.89	377	166.3
同 同 13 號	5. 2	6.12	2.52	2.2	122	109.6	3.03	362	135.0
同 同 14 號	4.28	6.15	2.29	2.1	132	110.9	2.84	391	166.3
同 同 16 號	5.30	6.16	2.63	2.6	96	114.5	3.15	364	125.0
赤 皮 赤 1 號	5.21	6.27	3.85	3.5	126	93.9	2.59	362	293.8
赤 錆 不 知 1 號	5.21	6.27	4.00	2.9	151	79.3	2.15	369	243.8

菜 種

耕 種 梗 概

苗 床

(一) 整 地

八月下旬4—5寸ノ深サニ耕起粉碎シ床巾4尺、高サ3寸、長サ適宜ノ揚床ヲ作製シ既定ノ肥料ヲ施シ平坦トス

反當苗床面積 25坪

(二) 肥 料

坪當施肥量次ノ如シ

肥 料 名	施 肥 量	施 肥 方 法
堆 肥	1.000 ^々	元 肥
蛹 粕	20	
硫 安	15	元肥10 ^々 、追肥5 ^々
過 石	30	元 肥
木 灰	60	{播種覆土後全面=撒布ス
計	1.225	

(三) 播 種

1. 播 種 期 9月1日

2. 播 種 法 5寸ノ條播

3. 播 種 量 坪當0.2^々

(四) 管 理

間 引

第一回 本葉開葉前1寸

第二回 本葉2枚2—3寸

第三回 本葉3枚5—6寸

(五) 病 蟲 害 防 除

蚜 蟲 ネオトン石鹼液

本 圃

(一) 整 地

稻刈取直後圃場ノ周圍及中央ニ溝巾8寸、深サ3寸ノ排水溝ヲ作ル

(二) 肥 料

反當施肥量下ノ如シ

肥料名	施肥量	施肥法
堆肥	300貫	元肥
籾	7	元肥
硫	12	元肥3貫
過	10	追肥3回9貫
硫	3	元肥
計	堆肥 300 配合肥 32	元肥

(三) 植付

1. 時期 10月下旬
2. 方法 長稈種 畦巾3尺 株間1.5尺
短稈種 畦巾2尺 株間1.5尺

(四) 管理

- 中耕、除草、土寄ヲ同時ニ行フ
第一回 11月下旬
第二回 3月中旬
第三回 4月上旬

(五) 刈取及調査

- (1) 刈取時期
全株ノ80—90%穂先ノ莢中ニ變色セル種子ヲ認メタルトキ
- (2) 刈取方法
可成早朝露ノ未ダ乾カザル時根本ヨリ刈取リ其儘地干ヲナス
- (3) 調製
刈取數日後棒ニテ打落シ篩選唐箕選ヲナス

試 驗 成 績

1. 品種比較試験

品種名	開花期	成熟期	草丈	分枝數	穗長	莢數	收量(反當)	
							重量	一升重量
伊勢黑種	4.17	6.6	3.22	18	1.21	38	31.2	314
四日市黑種	4.16	6.9	3.25	16	1.30	31	39.9	292
筑紫種	4.15	6.6	3.85	16	1.31	27	28.4	318
農林4號	4.8	6.2	3.33	20	1.13	34	31.5	327
北陸6號	4.10	6.3	3.69	19	1.24	29	33.1	300
同5號	4.8	6.4	3.21	19	1.25	17	31.2	314
同2號	4.15	6.4	2.67	20	0.85	40	40.2	300
早生朝鮮種	4.8	6.2	3.27	17	1.27	23	33.9	318
北陸7號	4.9	6.4	2.47	20	0.94	28	31.6	306
同4號	4.9	6.3	2.63	22	0.86	27	31.2	312

品種名	開花期	成熟期	草丈	分枝數	穗長	莢數	收量(反當)	
							重量	一升重量
在來朝鮮	4.22	6.10	3.53	17	1.10	36	27.0	324
中生朝鮮	4.19	6.8	3.89	18	1.18	43	25.1	218
六ツ美早生種	4.19	6.8	3.83	22	1.29	39	34.0	326
唐福岡朝鮮2號	4.16	6.8	3.61	20	1.13	40	36.2	316
	4.20	6.9	4.05	17	1.36	41	23.9	323
同1號	4.21	6.8	3.98	20	1.16	39	29.7	322
同6號	4.17	6.10	4.48	17	1.08	34	32.3	310
大朝	4.21	6.10	2.52	19	1.02	44	25.7	322
吾妻	4.16	6.8	3.68	19	1.23	34	24.6	320
	2.17	6.10	4.60	17	1.48	39	34.8	314
普通朝鮮	4.16	6.14	—	20	—	42	37.6	388
農林2號	4.1	6.6	2.49	18	0.98	41	52.1	382
不農林	4.71	6.13	3.67	21	1.27	35	40.1	302
水	4.16	6.6	3.65	19	1.27	42	55.5	278
	4.17	6.13	3.84	19	1.25	44	33.5	302

園藝部

果樹

1. 梨品種比較試験

目的 本試験ハ梨ノ著名品種ヲ集メ其ノ形質收量ヲ調査シ優良品種ヲ選定セントスルニアリ

其ノ成績次ノ如シ

品 種 名	開 花 始	採 收 期	反當收量(一本平均換算)		一 個 平均重量	樹 齡
			個 數	重 量		
長 十 郎	4.17	自9.1至9.28	10.987	777.7	72.0	11
早 生 赤	4.17	10.11	13.155	1.111.2	84.4	11
晚 三 吉	4.19	11.2	18.412	1.713.2	93.0	11
二 十 世 紀	4.16	自9.4至10.4	20.630	1.500.7	73.0	11
獨 乙	4.16	自9.6至9.7	11.283	630.8	55.8	11
明 月	4.16	10.20	6.700	669.6	99.9	11
バートレット	4.19	9.11	18.716	1.018.3	54.4	11
アレキサンドリン	4.18	10.2	17.535	1.237.9	70.5	9
ドイアール	4.21	8.5	5.435	364.1	66.9	11
ブレコーズ	4.21	11.11	7.975	477.1	59.9	高接 4
ウキンダーネリス	4.18	9.24	7.900	746.4	94.5	11
デッセスダングレム	4.17	9.21	13.616	803.9	59.7	11
ホワイトドワイアンヌ	4.12	自10.15至11.4	9.190	718.6	78.1	11
慈 梨	4.12	自9.25至10.26	13.975	774.6	55.4	11

2. 梨整枝剪定方法試験

目的 梨樹仕立ノ方法ニ依リ發育結果ニ及ボス影響ヲ知ラントスルニアリ

供試品種 二十世紀

供試樹數及面積 1區3本 12坪

試験ノ方法

第一區 水平樹仕立(結果枝ヲ放射狀ニ出ス)

第二區 水平樹主枝分岐(結果枝ハ主枝上ニ短梢並長梢ニテ配置ス)

第三區 盃狀樹仕立主枝分岐(結果枝ハ第二區同様剪定ス)

第四區 盃狀樹仕立(主枝無摘心結果枝ハ所定面積以内ハ無摘心ニテ伸長セシム)

收量調査

區 名	採 收 月 日	反 當 收 量(三本平均)		上 果 率	1 ケ 平 均 重 量
		個 數	重 量		
第 1 區	9.1—9.22	11.000	94.0	76.8	85.5
第 2 區	9.13—9.21	875	83.6	81.9	84.2
第 3 區	9.2—9.18	4.075	351.5	67.0	86.2
第 4 區	9.1—9.18	5.925	457.3	77.0	77.1

概 評 以上ノ成績ニ依リ反當收量ヲ比較セシガ第3年目ニ於テハ第4區最モ成績ヨク457貫ノ收量ニテ第3區ハ351貫第1區及第2區ハ80貫—90貫ニ過ギズ、第4區ハ外觀品質共ニヨク第1區—第3區ハ寧ロ大果ニ過ギタル故ニ今後可成早ク結果セシムル爲メ樹仕立ハ發育セル枝ノ誘引配置ニ注意シ樹ノ形成ヲ早カラシムル要アルベシ

3. 梨收穫期對貯藏力試験

目的 梨ノ收穫期ガ貯藏力ニ及ボス影響ヲ知ラントスルニアリ

供試品種 二十世紀、慈梨

試験ノ方法

(1) 二十世紀

第1區 9月5日採收

第2區 9月15日採收

第3區 9月25日採收

第4區 10月5日採收

第5區 10月15日採收

第6區 10月25日採收

收穫當時ノ状態

區 名	熟 度	色 澤	個 數	重 量	1 ケ 平 均 重 量	平均硬度	9月25日ヲ100トシテ1ケ平均重量比較
第1區	稍未熟	淡 綠 色	50	2.759	55.1	6.00	81.0
第2區	稍適熟	淡 黃 綠 色	50	3.273	65.4	6.35	96.1
第3區	適 熟	淡 綠 黃 色	50	3.403	68.0	6.74	100.0
第4區	稍過熟	淡黃白稍綠色アリ	50	3.780	75.6	3.64	111.1
第5區	過 熟	淡黃色綠色極少	50	4.534	90.8	4.37	133.5
第6區	過 熟	淡黃白色綠極少	48	4.098	85.3	3.08	125.4

收穫當時ニ於テ外觀ノ調査ニ依リ最モ適熟期ハ9月25日前後ナルガ如シ、又色澤ニ於テハ9月

25日頃ハ淡緑黄色ニシテ最モヨク餘リ早キモノハ綠色多ク10月下旬ニナレバ淡綠色ヲ呈スルニ至ル、食味ニ於テ9月25日前後ヲ以テ最モヨク熟度進ムニ從ツテ甘味多キモ肉質軟クナリ其ノ硬度ハ(徑8mm三木式硬度ニ依ル)適熟期ナル9月25日ニ於テ最モ硬ク熟度進ムニ從ツテ軟ク10月25日ニハ3.8度ニ過ギズ收量即チ1個平均重量ニ於テ9月25日ヲ100トシテ比較スレバ9月5日ハ約20%小サク10月中旬ヨリ下旬ニ至レバ20乃至30%増大スルモ外觀肉質共ニ劣ルヲ認ム

11月25日調査

區名	經過日數	1ヶ平均重量	1ヶ平均減耗量	硬度	腐敗果率	外觀	食味
第1區	81	51.6	1.9	2.41	2	淡黄色、表皮黒ク變ズ、甘酸共ニ少肉質極軟	
第2區	71	56.4	5.4	3.22	8	淡黄白色、第1區ト大差ナシ、外觀稍良	
第3區	61	57.2	8.2	2.66	32	淡黄白、外觀稍良、肉質良、心部稍褐變	
第4區	51	61.1	13.0	2.96	32	淡黄白、稍良、肉質稍軟化ス	
第5區	41	78.1	11.3	2.57	68	淡黄白、黒變セル所アリ、肉質軟化ス	
第6區	30	69.7	19.7	3.28	46	淡黄白、稍良、肉質軟化ス	

以上ノ調査成績ニ依リ未熟果採收ノモノ即チ第1區及第2區ハ減耗量極メテ少ナク適熟果採收ノ第3區及第4區ハ減耗量稍多ク1個平均10匁内外ニ達シ過熟果採收ノモノハ果肉中ノ漿液極メテ少ナク減耗量極メテ多シ、硬度ニ於テハ各區共大差ナク何レモ硬度低シ、腐敗ハ未熟果ノモノ程少ナク70日、80日ノ第1區及第2區ハ1個乃至4個ニシテ適熟果ノ第3區及第4區ハ何レモ32%ナリ、過熟果ハ貯藏期間短キニモ拘ラズ腐敗極メテ多ク50%内外ノ敗腐果ヲ生ジタリ、腐敗ノ原因ハ心喰蟲被害ハ殆ンドナク最モ多キハ肉梗ヲ短採セルモノ及果面ノ一部褐變腐敗セルモノニシテ1種ノ腐敗菌ニ依ルモノナルベシ、外觀ハ第1區及第2區ハ黄色ノ地色ヲ現ハシ居ルモ果面ハ黒變セル所ヲ生ジ外觀ヲ損ズルコト甚ダシ、第3區ヨリ第6區ノモノハ淡黄白色ニシテ黒色ニ變セルモノ少シト雖モ何トナク白色ヲ帯ビ生氣ナシ、之熟度ノ進ミタルモノ程甚ダシ、肉質ニ於テハ各區共軟化シテ生果トシテノ價值ヲ損セルモノ多シ、故ニ普通貯藏庫ニ於テ二十世紀ノ貯藏ハ11月下旬ヲ以テ限度ニアラザルカト思惟セラル二十世紀ノ貯藏力ハ未熟果最モ強力ナルモ稍萎凋スルコトト果面ノ極微細ノ傷害モ黒變スルコト多ク極メテ外觀ヲ損スルモノノ如シ、又適熟果ハ外觀品質ヨク又減耗量及腐敗果モ稍少ナク故ニ適熟果ヨリ稍早メニ收穫スルコトニ依リ貯藏力ヲ高メ或ハ日持ヲヨクスルモノト認メラル、過熟果ハ採收當時ノ食味良好ナルモ長キ貯藏ト日持チハ極メテ劣ルモノニシテ殊ニ腐敗早キモノ、如

(2) 慈梨

試験ノ方法 第1區 9月25日採收
 第2區 10月5日採收
 第3區 10月15日採收
 第4區 10月25日採收
 第5區 11月5日採收

收穫當時ノ状態

區名	個數	重量	1個平均重量	第1區ヲ100トシテノ増加指數	硬度	外觀及食味
第1區	50	3.071	61.4	100.0	6.23	稍濃綠、甘味少、淡白、青臭アリ
第2區	50	3.140	62.8	102.2	5.99	鮮綠、甘味中位、酸中、稍淡白、青臭少シアリ
第3區	50	4.308	86.1	140.2	5.85	鮮綠、甘味稍多、酸少、肉質稍軟味良、青臭少シアリ
第4區	50	4.463	89.2	145.2	5.79	鮮綠、甘味多、酸少、肉質良、青臭極少
第5區	50	5.020	100.0	163.1	5.40	鮮綠、蠟質少シ現ハル、甘多、酸中、肉質良、青臭ナシ

附記 貯藏法ハ果實ヲ包裝セズ又填充物モ用ヒズ石油箱ニ新聞紙ヲ敷キ積ミ重ネ詰メタルモノナリ

12月25日調査

區名	1個平均重量	減耗量	腐敗率	硬度	糖分	色澤	香氣	食味	販賣適否
第1區	59.0	2.4	20.0	5.28	10.9	黄色、蠟稍多	稍多	良	適
第2區	59.1	3.7	20.0	5.21	11.6	淡黄白、蠟質多	中	稍良	稍適
第3區	82.5	3.6	10.0	5.14	11.1	淡黄白、蠟多	稍少	良	適
第4區	87.5	1.7	10.0	4.72	11.5	黄色、蠟多	多	良	適
第5區	97.1	2.9	8.0	4.94	11.8	黄極淡綠、蠟質中	中	良	稍適

2月25日調査

區名	1個平均重量	減耗量	腐敗率	硬度	糖分	色澤	香氣	食味	販賣適否
第1區	52.5	6.5	22.0	4.86	11.0	黄色、蠟質多、表皮黒變セル所アリ	中	稍良	稍適
第2區	59.1	0	26.0	5.16	11.3	淡黄、蠟質中	中	稍良	稍不適
第3區	76.5	6.0	24.0	4.98	11.5	淡黄、蠟多	中	良	適
第4區	87.7	0	30.0	5.09	11.7	淡黄白、蠟中	中	良	適
第5區	93.0	4.1	40.0	4.90	11.2	淡黄、蠟中	中	稍良	稍適

3月25日調査

區名	1個平均重量	減耗量	腐敗率	硬度	糖分	色澤	香氣	食味	販賣適否
第1區	52.1	0.4	24.0	4.71	11.1	黄色、蠟多、表皮黒變セルモノアリ	稍多	稍不真	不適
第2區	59.4	0.1	28.0	4.95	11.1	黄蠟中黒變セルアリ	中	稍良	稍不適
第3區	76.0	0.5	32.0	4.25	10.5	淡黄、蠟稍多	中	良	適
第4區	83.7	4.0	36.0	4.11	11.2	淡黄、蠟中	中	稍良	稍適
第5區	90.3	2.7	70.0	4.14	11.2	淡黄、蠟質中	中	稍良	稍適

概評 (1) 採收時期ト果實ノ大サハ9月中ノ採收ト11月採收ノモノニテハ約40%ノ差ヲ生ジ餘リニ早ク採收スルハ不利益ナリ、10月下旬ノ採收ヲ最モ適當トスルガ如キモ貯藏用トシテハ10月中旬ヨリ採收ヲ初ムルヲ可トスルガ如シ

- (2) 3月25日迄ノ貯蔵ニ於テ1個平均3%乃至10%位ノ減耗量ヲ示シ之包裝及填充物ニ依リ減耗量ヲ少ナカラシムル要アルベシ
- (3) 腐敗果ハ採收時期早キモノ程少ク11月上旬採收ノモノハ70%ノ腐敗ヲ見タリ、故ニ採收ノ晩レタルモノハ年内ノ出荷ヲ必要トス、之品質モヨク收量モ多シ、比較的貯蔵ニ堪ユルハ10月中旬採收ノモノナリ
- (4) 果ノ壓力ハ熟度ニ依リ差ヲ生ジ過熟ノモノ程壓力ガ少シ、尙果肉褐變スル時ニナレバ著シク壓力ヲ減ズルモノナリ
- (5) 糖分ハ貯蔵期間中増減ヲ見ズ
- (6) 外觀ニ於テ鮮黄色トナリ蠟質ヲ現ハスノハ收獲時期ニ依リ多少ノ差ヲ生ズルガ如ク、採收後約15日ニシテ蠟質現ハシ此ノ時期ニ香氣モ多クナルガ如シ
- (7) 採收晚キ第4區及第5區ニ於テハ3月25日ノ調査ニ於テ果肉ノ褐變セルモノヲ生ジ尙香氣減退セリ
- 以上ノ成績ニ依リ慈梨ノ長期貯蔵ハ10月15日ヨリ25日頃迄ノ間ガ最モ良好ナラザルカト思惟セラル、尙今後試験研究ヲ要スベシ

4. 支那梨品種試験

昭和11年度植付ケタルモノニシテ未ダ結果スルニ至ラズ其ノ品種次ノ如シ
蜜梨、恩梨、芝罘梨、黃狀梨、秋白梨、慈梨、鴨梨、仁梨、香水梨、結梨、糖梨、滿圓香、北京白梨

5. 苹果品種試験

昭和11年度植付ケタルモノニシテ未ダ結果スルニ至ラズ、其ノ品種名次ノ如シ
ゴールドンデリシヤス、印度、オートレー、スターキング、ステマレツド、ホワイトピツピン、デリシヤス、サンマーチャンピオン、エーローニウトンピツピン、クライムスゴールドン、リチャードデリシヤス、エーローベルフラワー、ホワイトウキンターベアメン、トルマンズキート

6. 葡萄品種比較試験

目的 優良品種ノ選定ヲナサントス
供試樹數 1品種 3本
收量調査 (3本平均)

品 種 名	採收月日	反當收量		樹齡	品 種 名	採收月日	反當收量		樹齡
		房數	重量				房數	重量	
ホースター シードリング	自9.26 至9.27	4.412	201.5	11	ムーアス ダイヤモンド	自9.18 至9.21	9.519	349.3	11
ミルレン ニューム	自9.17 至10.2	13.005	740.1	11	ハイランド	自10.3 至10.5	8.700	430.5	11

品 種 名	採收月日	反當收量		樹齡	品 種 名	採收月日	反當收量		樹齡
		房數	重量				房數	重量	
ゴールドン クキン	自10.29 至10.31	2.882	744.9	11	ブライトン	自9.22 至9.26	10.850	533.5	11
マデレンヌ アンジビヌヌ	自8.30 至9.12	12.375	365.8	7	ゼツシカ	8.21	29.775	501.0	11
チャンピオン	自8.12 至8.19	15.008	399.3	11	キャンベルス アーリー	自8.21 至9.9	13.075	438.3	11
筑 摩	自10.5 至10.6	12.637	366.1	11	デラウニア	自9.18 至9.24	30.762	406.0	11

7. 葡萄^{フイロ}免疫性砧木品種關係試験^{キセラ}

目的 本試験ハ葡萄テラウエア種ニ對シフキロキセラ免疫性砧木ノ品種ヲ嫁接栽培シ發育並ニ形質收量ニ及ボス影響ヲ調査シ其ノ適否ヲ知ラントス

供試樹數 1區 3本

試験ノ方法 下記方法ニ依リ繼續施行中ナリ

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 第1區 ソロンスシードリング | 第2區 グルアールモンベリー |
| 第3區 ハイブリットフラン | 第4區 セントジョージ |
| 第5區 リバリアルベストリス3309 | 第6區 リバキヤルーベストリス3306 |
| 第7區 標準無嫁接 | |

8. 果樹品種見本栽培

一般當業者ノ參考ニ資センガタメ下記種類ノ品種ヲ見本ニ栽培セリ

種類名	品 種 名
梨	菊水、八雲、博多青、今村秋、新高、フレイツシユビユーター、ドワイアン ネジユコミス、グルーモルソー、ラフランス、ルレクチユア
苹果	國光、紅玉、祝、旭、エーケン、紅魁、倭錦、ワインサツブ
桃	魁、アムスデンシユン、橘早生、旭、カールマン、土用、離核、白桃、金桃、 大銃領、田中早生、興津
葡萄	グリーンマウンテン、甲州、善光寺、甲州三尺、シヤスラローズ、スキートウ オター
柿	富有、次郎、水島、富士、横野、平無核、身不知、焼柿、蜂屋
櫻桃	黃玉、那翁、大紫、養老、若紫、ピング、ランバート、フロレンス、ビガロー ジヤボレー、日ノ出
栗	豊多摩早生、傍士甘栗、大正早生、銀寄、岸根、乙宗、今北、小布施、中生丹 波、金田、正月、長光寺
温室葡萄	マスカットオブアレキサンドリア、グローコールマン、マドレスフィールドコ ート、カノンホールマスカット、ブラックハムブルグ、マスカットハムブルグ

9. 果樹苗木養成配付

果樹苗木ヲ養成シ下記ノ通り上下伊那兩郡及飯田市へ配付セリ

梨	バートレット	1,061本	アレキサンドリンドイアール	485本
	慈梨	191本	鴨梨	42本
	二十世紀	73本	ラフランス	5本
	計	1,857本		
苹果	國光	1,163本	デリシヤス	663本
	ゴールドデリシヤス	132本	紅玉	1,137本
	祝	103本	印度	20本
	スターキング	3本	エーケン	3本
	計	3,224本		
	合計	5,081本		

蔬 菜

1. 胡瓜抑制栽培播種期試験

目的 秋末採収用胡瓜トシテ最モ適當ナル播種期ヲ驗知セントス

供試品種 餘播立秋胡瓜

供試面積 1區5坪

試験ノ方法 第1區 7月1日播種

第2區 7月10日播種

第3區 7月20日播種

第4區 7月30日播種

第5區 8月10日播種

収量調査(反當)

區名	採收月日	上 物		下 物		合 計		1本平均重量	上物率 %
		個數	重量	個數	重量	個數	重量		
第1區	自8.17 至10.20	12,600	826.0	2,760	131.4	15,360	957.4	上 65 下 47	86.2
第2區	自8.29 至10.20	6,720	444.6	2,520	128.6	9,240	573.2	上 66 下 51	77.5
第3區	自9.4 至10.20	3,360	250.9	480	160.8	3,840	267.0	上 74 下 33	93.9
第4區	自9.22 至10.20	1,200	86.7	960	52.3	2,160	139.0	上 72 下 54	62.3
第5區	10.20	—	—	240	6.6	240	6.6	上 — 下 27	0

右ノ成績ニ依リ抑制胡瓜ノ播種期ハ7月10日前後ヲ以テ最モ適當ト認メラル7月20日以後ニ於テハ餘リニ収量少ナク栽培價値ナカルベシ

2. 抑制胡瓜品種比較試験

目的 抑制胡瓜トシテ優良品種ヲ選定セントス

供試面積 1區5坪

収量調査(反當)

品種名	採收月日	上		下		合 計		1個平均重量
		個數	重量	個數	重量	個數	重量	
中間胡瓜	自8.31 至10.6	8,400	734.5	5,760	274.9	14,160	1,009.4	上 87 下 47
霜不知胡瓜	自8.31 至10.6	10,680	781.4	3,600	156.7	14,280	938.1	上 73 下 43
東京夏播胡瓜	自8.31 至10.6	17,280	1,116.2	4,560	186.0	21,840	1,302.2	上 64 下 40
大和三尺	自8.31 至10.6	12,000	884.4	4,320	182.4	16,320	1,066.8	上 73 下 42
晩出シ胡瓜	自8.27 至10.6	16,800	1,142.6	5,520	195.8	22,320	1,338.4	上 68 下 35
地匍胡瓜	自9.2 至10.6	7,680	577.4	2,160	107.0	9,840	684.4	上 75 下 49
北京胡瓜	自8.27 至10.6	9,720	685.0	4,440	189.0	14,160	874.0	上 70 下 42
立秋胡瓜	自8.25 至10.6	8,640	534.8	4,440	156.6	13,080	691.4	上 61 下 35
東京青大胡瓜	自9.6 至10.6	7,200	543.9	3,360	132.9	10,560	676.9	上 75 下 39
宮ノ陣胡瓜	自9.2 至10.6	14,640	1,113.3	3,360	140.4	18,000	1,253.7	上 76 下 41
支那三尺胡瓜	自8.29 至10.6	10,560	911.5	3,600	138.4	14,160	1,050.0	上 86 下 38

以上ノ成績ニ依リ東京夏播胡瓜、晩出シ胡瓜、宮ノ陣胡瓜等収量多ク優良ナルベシ

3. 蕃茄地面覆蓋試験

目的 蕃茄栽培上地面ヲ被覆シテ以テ發育収量ニ及ボス影響ヲ知ラントスルニアリ

供試面積 1區5坪

供試品種 ジョンベア、ボンテローザ

試験ノ方法 第1區 標準無被覆

第2區 敷草(乾燥紫雲英ヲ敷ク)定植直後ヨリ

第3區 敷藪(定植直後ヨリ)

第4區 敷藁(7月20日ヨリ施行)

第5區 敷紙(定植直後ヨリタール紙ヲ敷ク)

第6區 敷紙(7月20日ヨリタール紙ヲ敷ク)

収量調査 (反當)

區名	ジ ョ ン ベ ー ア				ポ ン テ ロ ー ザ			
	採收月日	個數	重量	1ヶ平均重量	採收月日	個數	重量	1ヶ平均重量
第1區	自7.7 至9.9	68.040	2.683.9	39.4	自7.16 至9.9	41.040	2.872.0	69.9
第2區	自7.7 至9.9	66.480	2.119.6	31.8	自7.10 至9.9	38.000	2.890.9	74.1
第3區	自7.7 至9.9	64.560	2.062.6	31.9	自7.10 至9.9	38.640	2.798.1	72.4
第4區	自7.7 至9.9	61.800	2.380.0	38.5	自7.10 至9.9	39.240	2.806.4	71.5
第5區	自7.7 至9.9	68.640	2.524.2	33.2	自7.10 至9.9	42.840	3.024.2	70.5
第6區	自7.7 至9.9	61.200	2.490.6	40.6	自7.12 至9.9	37.080	2.719.3	73.3

以上ノ成績ニ依リ見レバ當場圃場ノ如ク比較的地下水高キ土地ニ於テハ各區共大差ナキ發育ヲナシ収量ニ於テモ大差ヲ認メラズ故ニ敷藁、敷紙等ノ必要ヲ認メラザルモ乾燥地ニ於テハ其ノ要アルベシ

4. 縞瓜各系統別比較試験

目的 當地方ニ於テハ縞瓜以外ノ越瓜ヲ栽培セザルヲ以テ各種苗商ヨリ各種縞瓜ヲ集メ栽培シ以テ在來種トノ比較ヲナシ優良系統ヲ選定セントスルニアリ

供試面積 1區 5坪

収量調査 (反當)

系統名	採收月日	個數	重量	最大顆重量	1個平均重量
青縞大越瓜(ヤマト)	自8.5 至8.26	4.140	582.8	435	141.2
青縞大越瓜(サカタ)	同	3.180	548.7	775	172.5
豐年青大越瓜(サカタ)	同	4.740	709.6	330	149.7
大長青大(植木)	同	7.260	852.3	350	117.3
豐年大青(植木)	同	7.620	910.9	375	119.5
豐年大青(日本種苗)	同	5.460	731.4	267	133.9
大形青(日本種苗)	同	3.840	511.5	300	134.7
黒門大青(ウネビ種苗)	同	3.420	409.2	357	119.6
在來種	同	8.280	968.1	315	116.9

以上ノ成績ニ依リ大小及形狀等ハ當地在來縞瓜ヨク又収量ニ於テモ最モ多ク敢テ新ニ他ノ青縞系越瓜ヲ栽培スルノ要ナルベシ

5. 馬鈴薯二化性薯對一化性薯比較試験

目的 本試験ハ馬鈴薯栽培上種薯トシテ二化性薯ト一化性薯トニ依リ収量ニ及ボス影響ヲ驗知セントスルニアリ

供試品種 男爵、アーリーローズ

供試面積 1區12坪

試験ノ方法 第1區 男爵岡山縣産二化性薯

第2區 同上菅平産一化性薯

第3區 アーリーローズ岡山縣産二化性薯

第4區 同上菅平産一化性薯

發育調査

區名	播種期	發芽揃	發芽ノ狀態	草丈調査		萎縮病發生
				6月1日	7月1日	
第1區	4.16	5.12	長芽太	1.40	2.10	ナシ
第2區	4.16	5.15	長芽太	1.24	2.51	ナシ
第3區	4.16	5.11	長芽太	1.59	2.40	ナシ
第4區	4.16	5.10	長芽細	1.15	2.13	7.4

二化性區ハ發育ヨク兩品種共萎縮病ナク一化性區ノアーリーローズ種ニハ多少病株ヲ認メタリ

収量調査 (反當)

區名	總収量		1個平均重量	最大重量	収量割合				上薯割合(25匁以上)	2化性ヲ100トシテノ収量比
	個數	重量			12匁以下	13-25	25-45	46以上		
第1區	41.050	1.068.5	26	97	4.6	13.1	41.1	40.8	81.9	100.0
第2區	56.500	900.0	15	70	16.3	34.4	40.5	8.6	49.1	85.1
第3區	49.050	920.0	18	73	10.5	28.5	42.9	18.0	60.9	100.0
第4區	46.350	634.0	13	66	15.7	35.8	41.3	7.0	48.3	68.9

以上収量調査ニ依リ男爵ノ絕對収量ニ於テハ二化性薯ヲ種薯トシタル方13.9%增收ニシテ上薯ノ割合ニ於テハ32.8%多ク一化性薯ハ25匁以下ノ小薯ニ屬スルモノ多シ、アーリーローズ種ニ於テ二化性薯ヲ種薯トシタル場合ニ其ノ絕對収量ハ31.1%多ク上薯ノ割合ニ於テ12.6%多クアーリーローズ種ハ上薯ニ於テハ男爵種ノ增收ニアラザルモ兩種共二化性薯ヲ種用シタル場合ハ何レモ収量多ク殊ニ上薯量多ク小薯少シ、之其ノ原因タルヤ今後研究ノ餘地アルモノニシテ二化性薯發芽ヨリ發育旺盛ニシテ萎縮ノ微更ニナク從ツテ薯ノ發育即チ収量ニ影響アルモノト察セラルモノナリ

6. 甘藷蔓返シ並摘心方法試験

目的 甘藷栽培上蔓返ト摘心ガ發育收量ニ及ボス影響ヲ知ラントスルニアリ

供試品種 紅 赤

供試面積 1區10坪

試験ノ方法 第1區 標準(放任)

第2區 1回蔓返シ

第3區 2回蔓返シ

第4區 3回蔓返シ

第5區 摘心1回(10葉ニテ摘心)

第6區 摘心2回(10葉ニテ摘心子蔓モ全部10葉摘心)

第7區 摘心3回(親蔓10葉摘心子蔓及孫蔓10葉摘心)

收量調査

區名	反 當 收 量		大 諸 割 合	中 諸 割 合	小 諸 割 合	一個平均重量
	個 數	重 量				
第 1 區	23.700	616.0	35.7%	43.9%	20.2%	25.9
第 2 區	15.120	552.0	31.5%	37.1%	31.3%	36.5
第 3 區	18.367	360.8	26.5%	42.4%	30.9%	19.6
第 4 區	19.340	357.7	34.0%	28.9%	37.0%	18.5
第 5 區	26.399	845.1	38.3%	32.7%	31.7%	32.0
第 6 區	19.900	696.0	42.8%	36.4%	12.9%	3.49
第 7 區	23.351	578.7	31.8%	33.9%	21.6%	2.47

以上ノ成績ニ依リ蔓返シハ回数ヲ多クスルニ從ツテ收量少ナク放任區ハ最モ收量多シ、之蔓返シニ依リ莖葉ヲ損傷スルコト多ク從ツテ諸ノ發育ニ影響スルモノナルベシ、又摘心ニ於テハ1回摘心セルモノハ收量甚ダ多ク大諸、中諸共ニ多シ、之1回ノ摘心ニ依リ子蔓、孫蔓ノ發生ヲ促シ莖葉ノ發育極メテヨシ、然レ共摘心過度ニ失スルトキハ收量ヲ減ズルモノ、如シ

7. 甘藷苗貯藏方法試験

目的 甘藷苗ノ貯藏方法ガ收量ニ及ボス影響ヲ知ラントスルニアリ

供試品種 紅 赤

供試面積 1區5坪

試験ノ方法 第1區 採苗直後植付

第2區 採苗3日貯藏後植付

第3區 採苗後3日貯藏植付貯藏中灌水

第4區 採苗後3日貯藏莖部浸水

第5區 採苗後7日貯藏植付

第6區 採苗後7日貯藏植付貯藏中灌水

第7區 採苗後7日貯藏莖部浸水

收量調査(反當)

區名	個 數	重 量	一個平均重量	大 諸 割 合	中 諸 割 合	小 諸 割 合
第 1 區	27.900	607.8	21.7	18.1%	58.4%	20.1%
第 2 區	22.380	577.2	25.7	17.7%	63.3%	16.7%
第 3 區	25.140	603.6	24.0	18.2%	51.9%	22.8%
第 4 區	25.380	672.0	26.4	17.8%	59.1%	19.3%
第 5 區	29.220	762.0	26.0	15.0%	63.8%	19.3%
第 6 區	26.820	753.0	28.0	14.8%	67.8%	11.7%
第 7 區	27.720	716.4	25.8	22.3%	57.6%	18.4%

以上ノ成績ニ依リ甘藷苗ハ貯藏方法ノ如何ニ拘ラズ7日間位ノ貯藏ハ却ツテ收量ヲ増シ採苗直後植付ノモノハ莖葉ノ繁茂著シク收量稍劣レルヲ見タリ、故ニ甘藷苗購入ニ際シ輸送中7日間位ヲ要スルモ收量ニ何等影響ナキヲ認メラルモノナリ

8. 海老芋產地別系統比較試験

目的 海老芋ノ種芋產地ニ依リ形質收量ニ及ボス影響ヲ熟知セントス

供試面積 1區9坪

試験ノ方法 第1區 靜岡縣產

第2區 愛知縣產

第3區 京都府產

區名	親 芋		子 芋		合 計		一 個 平 均		莖 葉 量
	個 數	重 量	個 數	重 量	個 數	重 量	親 芋	子 芋	
第 1 區	2.050	510.0	36.650	540.0	38.700	1050.0	248.7	14.7	950.0
第 2 區	2.000	533.0	40.000	515.0	42.000	1048.0	266.5	12.8	1.060.0
第 3 區	16.560	375.0	28.500	435.0	30.150	810.0	227.2	15.2	642.5

種用海老芋ハ產地ニ依リ莖葉及芋ノ形狀色澤等ニハ其ノ差ヲ認メラレス、又收量ニ於テモ大差ヲ認メズ、京都府產ノモノハ不發芽ノモノアリシタメ收量少ナカリキ

9. 海老芋施肥方法試験

目的 海老芋施肥方法ガ發育收量ニ及ボス影響ヲ知ラントスルニアリ

供試面積 1區6坪

試験ノ方法 第1區 種芋下部施肥

第2區 種芋上部施肥

第3區 種芋横へ施肥

第4區 株間施肥

収量調査

區名	親 芋		子 芋		合 計		一個平均重量		莖葉量
	個數	重量	個數	重量	個數	重量	親 芋	子 芋	
第1區	1.300	309.0	34.600	357.5	35.900	666.5	237.6	10.3	426.0
第2區	1.300	295.0	29.000	362.5	30.300	657.5	226.9	12.5	485.0
第3區	1.300	315.0	38.850	413.0	40.150	728.0	242.3	10.6	445.0
第4區	1.050	210.0	26.750	266.0	27.800	476.0	200.0	9.9	285.0

以上ノ成績ニ依リ海老芋ノ施肥方法ハ種芋ノ横ニ施用スルガ最モヨク子芋ノ収量最モ多シ株間施用ノモノハ最モ少ク合計収量ニ於テ他區ニ比シ反當200貫餘ノ減收ナリキ

10. 美濃早生大根種子產地別試験

目的 美濃早生大根種子ノ產地別ニ依リ形質収量ニ及ボス影響ヲ知ラントスルニアリ

供試面積 1區10坪

試験ノ方法 第1區 大下條村平久産

第2區 平岡村産

第3區 岐阜縣産

収量調査(反當)

區名	上 物		下 物		合 計	
	本 數	重 量	本 數	重 量	本 數	重 量
第1區	5.920	1.728.0	960	189.6	6.880	1.917.6
第2區	5.240	2.172.0	240	109.2	5.480	2.281.2
第3區	3.960	1.164.0	1.680	720.0	5.640	2.184.0

以上ノ成績ニ依リ岐阜縣産ノモノヨリ下伊那郡産ノモノ、方何レモ良好ナル成績ナリ

11. 松島白菜種子產地別試験

目的 松島白菜種子ノ產地別ニ依リ収量ニ及ボス影響ヲ知ラントスルニアリ

供試面積 1區5坪

試験ノ方法 第1區 宮城縣産(松島1號)

第2區 下伊那郡千代村産

第3區 西筑摩郡神坂産

第4區 宮城縣産松島2號

第5區 當場産

第6區 坂田商會産

収量調査(反當)

區名	採收月日	株 數	重 量	一株平均重量	區名	採收月日	株 數	重 量	一株平均重量
第2區	自 11.10 至 11.28	2.760	979.5	354	第5區	自 11.10 至 11.28	3.360	1.281.6	381
第3區	自 11.10 至 11.28	3.720	1.173.1	315	第6區	自 11.10 至 11.28	3.360	902.5	268

上表ノ如ク種子ニ依リ相當ノ差ヲ生ジタルモ尙栽培法ニ依リテモ相當ノ差ヲ生ズベク尙繼續試験ノ要アルベシ

12. 蔬菜各種見本栽培

一般當業者ノ参考ニ資センガ爲下記蔬菜ヲ見本のニ栽培セリ

種 類 名	品 種 名
茄	子
胡 瓜	瓜
蕃 茄	茄
西 瓜	瓜
南 瓜	瓜
甘 藍	藍
胡 蘿	蘿
牛 蒡	蒡
葱	葱
葱 頭	頭
漬 菜	菜
莓	莓
甘 藷	藷
セ ル リ	リ

早生眞黒、橋田、中生山茄子、蒂紫、米國大丸
博多、青長節成、刈羽、落合、聖護院
クーバーススペシャル、プリンスオブウエルス、ステートアーリアナニユ
ーキング、ベストオブオール、ブリッチャード、アタム、サカタスフル
ツ、デリシヤス、クッチミード、ベストソエル、ウキンゾール、オレン
ヂ、ゴールデンクキン、ゴールデンボンテローザ、ボンテローザ
大和、甘露、新大和、嘉寶、丸大和
甘栗南瓜、縮緬南瓜、愛知早生、白皮砂糖
豊田早生、中野早生、野崎早生、サダヤ、バンダーゴ、野崎中生、サク
セツション
國府鮮紅大長、札幌太、瀧野川、長地
常盤牛蒡、新倉、札幌太長、中ノ宮、東京大長、砂川
砂村一本太、明水一本、松本葱、下仁田、岩槻、伯世一本、千住葱
エローグローブ、ダンパース、エローフラットダンパース
諏訪燕、野澤菜、稻核菜、源助燕
ハツバーランド、ウキリヤムベルト、モナーク、ピクトリヤ、ゼネラルサ
ンデー、ベンネル、福陽、シャープレス
紅赤、太白、花魁
ゴールデンブルーム、ゴールデンセルフブランテング

菌 蟲 部

1. 葉稻熱病田應急處理試驗

目的 本田=於テ既=葉稻熱病ノ發生シタル場合ノ應急處理方法=付テ試驗ス
成績概要

區名	試驗別	二百十日		出穂期	發病率			反當 玄米收量
		草丈	莖數		葉稻熱	頸稻熱	節稻熱	
第1區	掛流シ	3.59	23.2	8.30	18%	36%	46%	2.39
第2區	深水	3.88	22.0	8.30	18	36	31	2.39
第3區	中耕	3.44	20.7	8.31	35	48	40	1.91
第4區	排水(龜裂程度)	3.52	17.7	8.27	22	20	23	2.28
第5區	無處理	3.78	20.9	8.31	16	26	36	1.73
第6區	生石灰反當20貫施用	3.59	18.1	8.30	11	11	24	3.04
第7區	三斗式石灰ボルドウ液 反當二石田面澆注	3.25	18.4	8.29	23	24	28	2.40
第8區	四斗式過石灰ボルドウ 液反當九斗莖葉撒布	3.49	18.5	8.29	17	28	32	2.69

備考 供試品種 銀坊主一號 (稻熱病苗混植)

試驗區坪數 各區十坪宛 土質 壇壤土

反當施肥量 麥作跡地=普通肥料(三要素約三貫等量)ノ七割增多肥料トス

紫雲英 510貫 蛹糞粕 17貫 硫安 8.5貫

過石 17貫 硫加 5.1貫 生石灰 34貫

挿秧月日 6月30日 試驗施行 7月下旬

灌排水關係區ノ本年七月下旬及八月上旬ニ於ケル水溫、地溫ノ平均(毎日午前十時觀測)ヲ示セバ次ノ如シ

旬別	第1區掛流		第2區深水		第4區排水		第5區標準無處理	
	水溫	地溫	水溫	地溫	水溫	地溫	水溫	地溫
7月下旬平均	25.1	24.9	29.9	27.7	—	27.9	30.2	27.4
8月上旬平均	25.1	23.9	27.7	26.7	—	27.1	26.2	25.7

地溫ハ地表下三寸ノ溫度ナリ

自昭和九年
至昭和十二年
四ヶ年平均成績

區名	年次	二百十日		出穂期	頸稻熱	反當 玄米收量
		草丈	莖數			
第1區	9年	3.86	19.3	8.31	60	2.29
	10年	3.53	22.1	9.3	56	2.14
	11年	3.47	20.0	8.28	76	1.92
	12年	3.59	23.2	8.30	36	2.39
	平均	3.61	21.2	8.31	57	2.19

區名	年次	二百十日		出穂期	頸稻熱	反當 玄米收量
		草丈	莖數			
第2區	9年	3.89	21.4	8.31	91	2.45
	10年	3.63	22.5	9.3	59	2.48
	11年	3.46	21.8	8.29	68	1.89
	12年	3.88	22.0	8.30	36	2.39
	平均	3.72	21.9	8.31	64	2.30
第3區	9年	3.73	20.7	8.31	68	2.81
	10年	3.55	22.4	9.3	68	2.13
	11年	3.34	21.3	8.28	95	1.80
	12年	3.44	20.7	8.31	48	1.91
	平均	3.52	21.3	8.31	70	2.16
第4區	9年	3.49	16.8	8.30	25	3.11
	10年	3.36	18.7	8.31	40	2.98
	11年	3.30	19.6	8.27	60	2.41
	12年	3.52	17.7	8.27	20	2.28
	平均	3.42	18.2	8.29	36	2.70
第5區	9年	3.45	16.8	8.31	55	2.75
	10年	3.53	23.7	9.3	59	2.61
	11年	3.47	23.2	8.29	70	1.97
	12年	3.78	20.9	8.31	26	1.73
	平均	3.56	21.2	8.31	53	2.27
第6區	9年	3.67	16.8	8.31	23	3.17
	10年	3.48	19.7	9.3	46	2.88
	11年	3.47	17.3	8.29	71	2.92
	12年	3.59	18.1	8.30	11	3.04
	平均	3.55	18.0	8.31	38	3.00
第7區	9年	3.48	16.8	8.31	26	3.16
	10年	3.39	20.1	9.3	40	2.82
	11年	3.53	19.4	8.28	73	2.62
	12年	3.25	18.4	8.29	24	2.40
	平均	3.41	18.7	8.31	41	2.75
第8區	9年	3.54	17.1	8.31	38	3.08
	10年	3.59	23.4	9.3	69	2.82
	11年	3.65	21.3	2.28	82	2.39
	12年	3.49	18.5	8.29	28	2.69
	平均	3.57	20.1	8.31	54	2.75

摘要

試驗準備トシテ各區略平等ニ葉稻熱ノ發生ヲ促ス事困難ナレバ其成績ニ現ハレタル數字ノミヲ以テ之レヲ斷定スル能ハザルモ試驗施行中ノ觀察等ヲ綜合シテ結論スレバ凡ソ次ノ如シ

1. 第4區龜裂程度排水區比較的良好ナル成績ヲ示シ無處理區ニ比シ頸稻熱ハ約20%少ク收量又4斗餘ノ増收ナリキ

排水區ハ生長力抑制セラレ成熟ヲ促進シ出穂期2日早カリキ

即チ稻ハ堅出來トナリ頸稻熱ノ發生ニ對シ抵抗性ヲ増大スルモノト認メラル

但シ實施上下記事項ニ注意ヲ要ス

排水ノ時期ハ穂孕期迄トシ尙龜裂程度(晴天1週間乃至10日)ノ徹底排水ヲナサザレバ

却テ遲出來トナリ頸稻熱ヲ誘發スルコトアルベシ

(附記) 此方法ハ水利ノ便惡シキ所ハ勿論、稻ノ生育期間長キ本縣以南ノ暖帶地方ニ對シ

テハ特ニ施行時期早晚ニ失セザル様ナサザレバ不適當ノ場合多カルベシト考察サル
排水施行適期ハ穂孕期直前ナルガ如ク當地方ニ於テハ大部分ノ品種ノ穂孕期ハ八月上、
中旬ナレバ施行適期ハ七月下旬乃至八月上旬即チ土用中ニシテ之レヲ土用干ト稱スルモ
差支ナカルベシ
而シテ此排水區及下記生石灰多用區ハ裏作麥ニ對シテモ好影響アリテ其生育極メテ良好
ナルヲ認メタルヲ以テ茲ニ附記ス

- 第6區生石灰反當20貫追施區及第7區三斗式石灰ボルドウ液反當2石灌注區モ良好ナルモ其理論ハ判然セズ
特ニ生石灰ハ其連用ニヨリテ其土性改變ヲ來スモノカ其效果一層顯著ナルヲ認ム
- 第8區四斗式過石灰ボルドウ液莖葉撒布區ハ只一回ノ撒布ナレバ其效果不徹底ノ感アルモ常ニ收量多ク相當ノ效果アルハ論ヲ俟タズ
- 第1區掛流シ及第2區深水ハ冷温1年柄又ハ極端ニ葉稻熟多キ場合ノ應急處置トシテハ效果少ク却テ不良ノ成績ナリキ
掛流シハ比較的温水ノ場合ニ發病前ヨリ殆ンド稻作全期間ニ亙リ施行スル場合ニ有效ト認メラル

2. 二化螟蟲ニ關スル試験並ニ調査

(1) 二化螟蟲防除試験

目的 稻ノ大害蟲タル二化螟蟲ニ對シ適切ナル防除法ヲ驗知セントス
成績概要

區名	試験別	7月28日 反當 被害莖數	8月10日 反當 被害莖數	收穫藁 被害莖率	反當 玄米收量
第1區	第一化期幼蟲孵化期7晝夜深水	2.700	9.060	7	3.39
第2區	第一化期深水鯨油反當2升注入	3.960	21.600	10	2.58
第3區	第一化期深水機械油反當2升注入	2.040	13.860	20	2.59
第4區	第一化期深水被害莖一回摘採	2.640(摘採)	5.220	11	3.57
第5區	第一化期被害莖一回摘採	1.140(摘採)	3.540	8	3.17
第6區	第一化期被害莖二回摘採	3.420(摘採)	3.660(摘採)	4	3.36
第7區	第一化期幼蟲孵化期硫酸ニコチン800倍石鹼液反當九斗一回撒布	5.220	10.860	7	3.18
第8區	第一化期煙草粉反當3貫一回撒布	2.100	7.200	6	3.65
第9區	第一化期石油加用除蟲菊20匁石鹼液反當九斗一回撒布	1.200	3.720	11	3.40
第10區	無處理	2.160	8.400	12	2.90

備考 供試品種 管島 供試面積 1區5坪宛

本年ハ二化螟蟲ノ被害甚ダ多カリキ

摘要 概シテ被害莖摘採區良好ノ成績ニシテ本年ハ藥劑撒布區モ又良好ナリキ

(2) 二化螟蟲藥劑防除試験

目的 二化螟蟲ニ對スル藥劑防除ノ効果ニ付テ試験ス
成績概要

區名	試験別	7月30日反 當被害莖數	8月11日反 當被害莖數	收穫藁 被害莖率	反當 玄米收量
第1區	煙草石灰粉7月中旬一回撒布	1.950	7.320	7	2.59
第2區	同 7月下旬一回撒布	1.470	5.100	4	2.76
第3區	同 7月中旬、7月下旬2回撒布	2.250	3.720	4	2.81
第4區	無撒布	1.770	2.970	1	2.59
第5區	硫酸鉛石灰液7月中旬一回撒布	2.700	4.440	4	2.78
第6區	同 7月下旬一回撒布	2.040	3.660	3	2.79
第7區	同 7月中旬、7月下旬2回撒布	840	3.000	4	2.74
第8區	無撒布	2.790	3.870	9	2.59
第9區	被害莖7月下旬一回摘採	3.600(摘採)	2.970	5	2.74
第10區	同 8月上旬一回摘採	2.700	3.150(摘採)	7	3.04
第11區	同 7月下旬、8月上旬2回摘採	630(摘採)	570(摘採)	1	2.98

備考 供試品種 伊那種一號 供試面積 一區十坪宛

藥劑調合量(反當一回分)

煙草石灰粉

煙草粉3貫、消石灰3貫ヲ混合シタルモノ

硫酸鉛石灰液

硫酸鉛180匁、生石灰270匁

ボルドウソープ1合8匁、水9斗ヲ混合シタルモノ

撒布月日 7月中旬ハ7月17日、7月下旬ハ7月30日ニ實施ス

摘要

藥劑撒布區ハ何レモ無撒布區ニ比シ增收ナリキ、但シ被害莖摘採區ニ比シテ劣ル成績ナリキ

(3) 二化螟蟲發蛾時期調査

年次	發蛾最初期	發蛾最盛期	發蛾最終期
昭和12年	第1化期	6月1日	7月中旬
	第2化期	8月13日	9月上旬

既往十ヶ年二化螟蟲發蛾調査成績
(50燭光電燈豫察燈乾式一ヶノ落蛾數)

年次	昭和3年	昭和4年	昭和5年	昭和6年	昭和7年	昭和8年	昭和9年	昭和10年	昭和11年	昭和12年	10ヶ年平均
5月 下旬	—	—	2	1	—	2	1	—	—	—	1
6月	上旬	5	4	11	0	1	3	1	—	3	5
	中旬	15	8	38	9	14	5	15	5	1	4
	下旬	44	30	90	41	37	89	34	15	15	21
7月	上旬	192	221	85	93	75	169	30	50	94	29
	下旬	310	126	196	154	133	70	106	192	140	154
8月	上旬	130	52	41	198	189	21	82	105	89	81
	中旬	28	28	15	56	31	1	15	19	8	26
	下旬	30	24	12	15	6	11	4	7	10	4
9月	上旬	60	56	148	10	5	19	16	24	19	40
	中旬	96	124	42	43	3	31	33	45	11	72
	下旬	36	12	45	27	7	7	6	7	1	13
10月 上旬	4	7	9	2	3	—	—	4	—	1	3
合計	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	0
合計	923	692	736	652	504	428	343	473	391	450	559

摘要

1. 當地方第一化期發蛾極メテ遅ク其最盛期ハ十ヶ年中七月中旬ガ六ヶ年、七月上旬ガ二ヶ年、七月下旬ガ二ヶ年、平均七月中旬ニシテ既ニ苗代期ガ過ギ隨テ他地方ノ如ク苗代期ニ於ケル捕蛾、採卵ハ不可能ナリトス
2. 尙此發蛾時期判然スレバ自ラ地方的防除適期モ容易ニ推知スルコトヲ得

3. 陸稻大螟蟲藥劑防除試験

目的 陸稻ニ發生シ局部的ニ大害アル大螟蟲ニ對シ藥劑撒布ノ效果ニ付テ試験ス
成績概要

區名	試 驗 別	7月21日			反 當 玄米收量
		調査株數	被害株數	被害率	
第1區	砒酸鉛石灰液 六月上旬一回撒布	867	105	12.1	石 1.95
第2區	砒酸鉛石灰液 六月上旬二回撒布	898	100	11.1	2.04
第3區	砒酸鉛石灰液 六月上旬二回撒布	855	77	8.9	2.33
第4區	砒酸鉛石灰液 六月上旬、六月中旬、八月上旬、八月中旬 四回撒布	846	137	15.9	1.95
第5區	ニホナート液 六月上旬二回撒布	950	131	13.8	1.20
第6區	ニホナート液 六月上旬、六月中旬、八月上旬、八月中旬 四回撒布	718	35	4.9	0.92
第7區	無 撒 布	638	159	24.9	1.03

備考 陸稻供試品種 胡桃早生43號
供試面積 1區5坪宛
播種月日 4月20日

供試藥劑調合量 (反當1回分)

砒酸鉛石灰液	砒 酸 鉛	180匁	生 石 灰	270匁
	ロジンソープ	1合8勺	水	9 斗
ニホナート液	ニホナート	180匁		
	ロジンソープ	1合8勺	水	9 斗
撒布實施	第1化期	6月7日	6月17日	
	第2化期	8月5日	8月15日	

摘要

1. 上表ニ依レバ砒酸鉛石灰液反當九斗ヲ第一化期六月上、中旬ニ一、二回撒布最モ有效ナリト認メラル
 2. ニホナートモ相當有効ヲ示セリ
- .. 第二化期八月上、中旬 (出穂期) 撒布ハ藥害多ク收量ヲ著シク減ジタリ

4. 陸稻針金融除試験

目的 陸稻ノ發芽生育ヲ害スル針金融 (カバイロコメツキノ幼蟲) ニ對スル防除方法ニ付テ試験ス

試験別

區名	處 理 別	施 用 法	供 試 面積
第1區	除 蟲 菊 粉 反當 2封度 土砂6斗混用	播種直前播條施用	坪 6
第2區	同 3封度 同	同	6
第3區	砒酸鉛 糞種1斗ニ付 1封度 カゼイン石灰 12匁加用	糞種塗抹	6
第4區	同 2封度 同	同	6
第5區	同 1封度 鉛丹60匁加用	同	6
第6區	鉛 丹 糞種1斗ニ付 1封度	同	6
第7區	馬 鈴 薯 誘 殺 {反當1800ヶ 直徑1-1.5寸ノ薯ヲ 2-4ニ切斷ノモノ	播種直後播條ニ沿ヒ2尺×3尺ニ1ヶ宛深2.3寸ニ埋沒	12
第8區	無 處 理		12
第9區	二 硫 化 炭 素 反當 3封度	播種直後 2尺×3尺ニ1ヶ所注入	12
第10區	同 6封度	同	12
第11區	同 9封度	同	12
第12區	同 12封度	同	12
第13區	同 3封度	播種10日後 同	12
第14區	同 6封度	同	12
第15區	同 9封度	同	12
第16區	同 12封度	同	12

成績概要

區名	5月20日(伸長2)生育状況(寸内外)	5月29日(伸長3)生育状況(寸内外)	區名	5月20日生育状況	5月29日生育状況
第1區	良	甚良	第9區	甚良	甚甚良
第2區	良	甚良	第10區	甚良	甚甚良
第3區	甚良	甚良	第11區	稍良	甚良
第4區	甚良	甚良	第12區	稍良	甚良
第5區	良	中	第13區	稍良	稍良
第6區	甚良	甚良	第14區	稍良	中
第7區	甚良	甚良	第15區	稍良	甚良
第8區	甚良	中	第16區	稍良	甚良

備考 陸稻供試品種 良 温

播種期4月28日 播種量反當6升

摘要

1. 本年ハ無處理區モ大害ヲ認メザリキ
2. 砒酸鉛ヲ糶種1斗ニ1封度塗抹區ハ刺戟ノ效果カ發芽生育良好ナリキ
3. 播種10日後ニ硫化炭素施用ハ稍藥害アルモノノ如シ
4. 針金蟲發生程度比較的少キ場合ハ反當6升位ノ稍厚播トシ被害箇所ハ移植法ヲ行フヲ得策トスベシ
5. 馬鈴薯誘殺モ場合ニヨリ有效ナルベシ

参考ノ爲第7區馬鈴薯誘殺ノ針金蟲數ヲ記スレバ次ノ如シ

驅除月日	總筒數	被害筒數	喰入蟲數	1筒平均蟲數	1筒最多蟲數
第1回5月8日	72	72	367	5.1	14
第2回5月20日	72	44	68	0.9	4
第3回5月29日	72	13	15	0.2	2

即チ12坪ニ對シ3回ニテ450頭ヲ驅殺シ反當ニ換算スレバ11250頭ナリ

5. 稻苞蟲藥劑驅除試驗

目的 稻苞蟲驅除ノ適期ヲ失シタル場合即チ老熟幼蟲ニ對スル除蟲菊劑ノ接觸ノ效果ニ付テ試驗ス

成績概要

區名	試驗別	反當用量	放飼蟲數	8月30日			死蟲率%
				生	死	幼蟲	
第1區	除蟲菊石鹼液 除蟲菊20匁石鹼20匁水1斗	6斗	55	20	1	34	62
第2區	除蟲菊石灰粉 消石灰1斗ニ付除蟲菊40匁混用	3斗	55	44	3	8	15
第3區	ロジンソープ加 砒酸鉛20匁生石灰30匁用砒酸鉛石灰液 ロジンソープ2匁水1斗	6斗	55	37	6	12	22
第4區	無撒布	—	55	43	6	6	11

備考

8月21日鉢植稻ニ苞蟲ノ殆ンド老熟幼蟲55頭宛ヲ放飼、8月23日午後6時藥劑撒布、飼育箱ヲ覆ヒ置キ8月30日調査セリ

摘要

稻苞蟲驅除劑トシテハ砒酸鉛ノ撒布最モ有效ナルハ勿論ナルモ撒布適期ヲ失シタル等ノ場合ニヨリ除蟲菊石鹼液モ又相當有效ナルヲ認ム

6. 小麥腥黑穗病豫防試驗

(1) 小麥腥黑穗病對炭酸銅試驗 (ポット試驗)

目的 小麥腥黑穗病菌ノ種子及土壤傳染ニ對スル炭酸銅ノ種子塗抹ノ效果ニ付テ試驗ス

成績概要

區名	土 壤		種 子		13年6月13日調査		
	網腥黑穗菌孢子	網腥黑穗菌孢子	炭酸銅塗抹	炭酸銅塗抹	總株數	發病株數	發病率%
第1區	不接種	不接種	塗抹セズ	塗抹セズ	95	0	0
第2區	同	同	同	同	74	0	0
第3區	9月1日接種	同	同	同	41	0	0
第4區	同	同	同	同	27	0	0
第5區	同	同	塗抹	塗抹	88	0	0
第6區	同	同	同	同	77	0	0
第7區	10月1日接種	同	塗抹セズ	塗抹セズ	16	0	0
第8區	同	同	同	同	22	0	0
第9區	同	同	塗抹	塗抹	89	0	0
第10區	同	同	同	同	84	0	0
第11區	10月30日接種	同	塗抹セズ	塗抹セズ	79	0	0
第12區	同	同	同	同	78	2	2.6
第13區	同	同	塗抹	塗抹	95	0	0
第14區	同	同	同	同	90	0	0
第15區	不接種	接種	塗抹セズ	塗抹セズ	84	2	2.4
第16區	同	同	同	同	96	0	0
第17區	同	同	塗抹	塗抹	98	0	0
第18區	同	同	同	同	76	0	0
第19區	10月30日接種	同	塗抹セズ	塗抹セズ	87	2	2.3
第20區	同	同	同	同	85	1	1.2
第21區	同	同	塗抹	塗抹	88	0	0
第22區	同	同	同	同	88	1	1.1
第23區	不接種	不接種	同	同	99	0	0
第24區	同	同	同	同	92	0	0

備考 供試品種 伊賀筑後オレゴン

12年10月30日播種

摘要

1. 9月1日及10月1日ニ土壤中ニ孢子ヲ接種シタルモノハ發病セザリキ
2. 10月30日播種當日土壤接種ノモノハ發病セリ
3. 炭酸銅ヲ種子1斗ニ10匁塗抹ハ種子及土壤傳染ニ對シ何レモ有效ナルガ如シ

(2) 小麥腥黑穗病對ウスブルン種子消毒試驗 (ポット試驗)

目的 小麥腥黑穗病ノ種子及土壤傳染ニ對スルウスブルン種子消毒ノ效果ニ付テ試驗ス
成績概要

區名	土壤		種子消毒別	13年6月18日調査		
	網腥黑穗菌孢子	種子網腥黑穗菌孢子		總株數	發病株數	發病率%
第1區	不接種	接種	ウスブルン0.1%-1時間浸漬	422	0	0
第2區	同	同	同 0.2%-1時間浸漬	415	0	0
第3區	同	同	炭酸銅種子1斗-10匁塗抹	442	0	0
第4區	同	同	無消毒	427	21	4.9
第5區	同	不接種	同	375	0	0
第6區	接種	同	ウスブルン0.1%-1時間浸漬	403	1	0.2
第7區	同	同	炭酸銅種子1斗-10匁塗抹	427	0	0
第8區	同	同	無撒布	390	3	0.8

備考 供試品種 伊賀筑後オレゴン

播種期 12年10月30日

摘要 上表ニヨレバウスブルン液0.1%-1時間浸漬ハ小麥腥黑穗病ノ種子傳染ニ對スル消毒ノ效果アルモ土壤傳染ニ對スル殺菌ノ效果少キガ如シ

7. 小麥立枯病豫防試驗

目的 畑地小麥ニ發生シ大害アル麥立枯病ニ對スル豫防方法ヲ驗知セントス
試驗地 下伊那郡市田村吉田開墾地

成績概要

(1) 種子消毒トノ關係

區名	試驗別	發病率%	反當收量石
第1區	炭酸銅種子1斗ニ付10匁塗抹	0	0.80
第2區	ウスブルン種子1斗ニ付10匁塗抹	7	1.08
第3區	ウスブルン400倍液-3時間	1	1.11
第4區	昇汞0.1%-15分	0	0.03 (藥害ノ爲發芽不良)
第5區	硫酸銅0.5%-3時間	2	1.17

(播種前實施陰乾)

(2) 土壤消毒トノ關係

區名	試驗別	發病率%	反當收量石
第1區	昇汞0.1% 坪當4升	22	0.78
第2區	同 同 8升	2	1.10
第3區	ウスブルン0.25% 坪當2升	9	0.96
第4區	同 同 4升	24	0.89

區名	試驗別	發病率%	反當收量石
第5區	硫黃華 反當15貫	10	1.11
第6區	生石灰 同 30貫	10	0.75
第7區	石灰窒素 同 30貫	11	0.70
第8區	同 同 15貫	24	0.79
第9區	フォルマリン 100倍坪當4升	3	0.96
第10區	硫酸鐵 0.5% 同 8升	9	0.69

(播種1週間前實施)

(3) 藥劑株元撒布トノ關係

區名	試驗別	發病率%	反當收量石
第1區	4斗式石灰ボルドウ液 坪當1升	2	0.96
第2區	石灰硫黃合劑0.4度液 同 1升	10	0.90
第3區	ウスブルン800倍液 同 1升	48	0.81
第4區	同 同 2升	29	0.49
第5區	同 同 4升	29	0.71
第6區	昇汞 0.1%液 同 1升	28	0.75
第7區	無撒布	49	0.60

(3月下旬1回撒布)

(4) 肥料トノ關係

區名	肥料別	發病率%	反當收量石
第1區	慣行肥料	23	0.55
第2區	縣獎勵麥作肥料第2號	11	0.66
第3區	當場標準肥料	13	0.89

(5) 小麥品種トノ關係

區名	供試品種名	發病率%	反當收量石
第1區	農林 1號	6	1.15
第2區	同 2號	3	0.64
第3區	同 8號	3	0.73
第4區	同 9號	3	1.51
第5區	同 12號	0	1.37
第6區	同 16號	4	1.52
第7區	伊賀筑後オレゴン	1	0.58
第8區	軍配	7	0.84
第9區	ドゥソン	0	1.28
第10區	赤錆不知	9	1.27
第11區	信濃澁不知	23	0.55

備考

土質腐植土 供試面積2坪宛

一般供試品種 信濃産不知

一般肥料 當場標準肥料五割減

播種期 昭和12年11月2日

刈取期 昭和13年7月7日

摘要

1. 一般=種子消毒即チ種子=附着残存性ノ薬劑ノ塗抹又ハ浸漬有效ナルヲ認ム
2. 品種關係=於テ發病率及收量ヲ綜合シテ農林19號、12號及9號良成績ナリキ

8. 瓜守幼蟲防除試験

目的 西瓜=大害アル瓜守ノ幼蟲=對シ數紙=ヨル株元被覆ノ效果並ニ塗抹トノ關係=付テ試験ス

成績概要

區名	試験別	供試株數	9月15日調査					收量	
			最長蔓ノ長さ	1株平均太蔓數	枯株數	數紙破損程度	幼蟲根部被害程度	個數	重量
第1區	新聞紙其儘	4株(4坪)	26.8	4.0	0	2/4	中	13	13.2
第2區	同 荏油引	同	26.6	3.3	2	0	稍多	15	17.9
第3區	同 鯨油引	同	23.5	3.5	1	1/4	中	9	11.0
第4區	同 機械油引	同	17.4	3.5	1	0	中	12	12.6
第5區	同クレオソート引	同	19.2	4.5	0	0	極少	14	18.9
第6區	同ペイント油引	同	19.5	4.8	1	1/4	中	10	14.0
第7區	無處理	同	16.9	4.0	1	—	稍多	11	10.0

備考

西瓜供試品種 旭大和 播種期 4月14日直播

敷紙期 7月5日

敷紙方法 新聞紙1枚2ツ折=夫々油ヲ引キ中央迄切目ヲ入レ株元=綿ヲ捲キ後數紙ヲナス

成蟲防除ハ各區共新聞紙圓筒=ヨル被覆遮斷及硫酸鉛石灰液撒布ヲ行フ

摘要

數紙區ハ無處理區=比シ何レモ成績良好ニシテ就中クレオソート引、荏油引、新聞紙其儘區ノ順序=有效ナルヲ認メタリ

9. 椿シギゾウムシ薬劑防除試験

目的 下伊那郡南部地方=於ケル椿果ノ大害蟲椿シギゾウムシ=對スル薬劑的防除法=付テ試験ス

試験地 下伊那郡大下條村小中尾

成績概要

區名	供試薬劑	調合量	用量	10月10日調査		
				採果數	被害果數	被害率%
第1區	硫酸鉛石灰液	硫酸鉛20匁、生石灰40匁 カゼイン石灰6匁、水1斗	枝張表面積1坪 當3合	364	166	46
第2區	硫酸鉛加用石灰 硫黄合劑	硫酸鉛20匁、生石灰40匁 カゼイン石灰6匁、水1斗 石灰硫黄合劑原液2合	同	340	124	36
第3區	無撒布	—	—	315	190	60

備考 7月7日1回撒布トス

摘要

上記成績=依レバ硫酸鉛加用石灰硫黄合劑比較的有效ナルヲ示セリ、然レドモ尙相當ノ被害果ヲ出シ稍不徹底ノ感アルモ年々之ガ共同施行ヲ繼續スルコトニヨリ又收穫果中ノ幼蟲捕殺、冬耕等ノ方法ト相俟ツテ漸次其發生ヲ抑制シ數年後ニハ被害殆ンド無キニ致ルモノト確信ス

10. 其他ノ試験並ニ調査

- (1) 桑白紋羽病、セルリー腐敗病、小麦白澁病等ノ防除試験ヲ續行セリ
- (2) 各種病害蟲ノ分布並ニ發生時期調査ヲナセリ

庶務部

1. 練習生ノ養成

本年度養成セル練習生次ノ如シ

原籍		養成所	職名	氏名
上伊那郡	上片桐村	下伊那郡大鹿村	農會技手	長沼哲郎
下伊那郡	平岡村	朝鮮咸興師範學校生徒		秦貞臣
下伊那郡	喬木村	農事試験場下伊那分場	研究生	座光寺功人
西筑摩郡	木祖村	農事試験場下伊那分場	研究生	新田忠

2. 質疑應答

種藝=關スル件	483件
園藝=關スル件	293件
菌蟲=關スル件	238件
雜件	87件
計	1,101件

3. 印刷物ノ刊行配布

業務概要 150部

4. 講習講話

會名	期日	場所	出席人員	講師
果樹剪定講習會	6月25日	當場	25人	當場職員
苹果査定会	7月26日	當場	28人	當場職員
苹果選別荷造講習會	9月20日	當場	35人	内川技手 小太刀技手

5. 職員ノ出張

講習講話會	83	委託試験	72
品評會共進會	36	各種協議會	89
農事調査視察	41	其他	72
實地指導	58	計	499
試験施行	48		

6. 參觀人

總數	8,453人
内譯	
場内試験地	4,832人
果樹試験地	2,734人
陸稻試験地	887人

7. 文書取扱件數

發送	1,397件
收受	1,232件

8. 經費豫算

昭和12年度當場豫算次ノ如シ

經常部	農事試験場費	16,712圓
臨時部	臨時産業振興施設費	2,180圓

9. 現在職員其他 (昭和13年11月30日)

就職年月日	所屬	職名	氏名
昭和8年9月30日	分場長	地方農林技師	田實五郎
大正15年4月1日	園藝部	農林技手	小太刀文作
昭和3年7月13日	菌蟲部	農林技手	元岡清雄
昭和13年6月22日	種藝部	農林技手	北原幸
昭和13年5月25日	庶務部	雇	仁科茂
昭和11年6月15日	菌蟲部	助手	内海一朗
昭和11年4月27日	種藝部	助手	岩崎廣吉
昭和5年3月31日	種藝部	助手	北林省三
昭和13年3月31日	園藝部	助手	若林康政
昭和11年3月31日	種藝部	助手	菅沼直亮
昭和12年12月9日	園藝部	助手	島田京介

10. 現在研究生講習生

昭和12年11月8日	種藝部	練習生	久保田敏
昭和13年4月4日	種藝部	練習生	菅沼新吾
昭和13年4月4日	菌蟲部	練習生	小池喜實
昭和13年4月4日	園藝部	練習生	林昌彦
昭和13年10月5日	園藝部	練習生	伊藤金明
昭和13年4月1日	園藝部	研究生	北原俊一

長野縣立農事講習所業務概要

長野縣立農事講習所業務概要

1. 生徒ノ徳性涵養

生徒ハ悉ク寄宿舎ニ收容シ朝夕宮城禮拜、皇國運動ヲナシ、皇室ヲ尊崇シ、敬神ノ念ヲ高メ、規律アル自治的家庭的、生活ヲナサシメ農村指導者トシテノ人格ヲ修養セシム

2. 學 科 目

學科目ハ修身、教育、法制、農業政策、農業經濟、作物、果樹、蔬菜、畜産、養蠶、桑樹栽培、品種改良、病理、害虫、農具、氣象、地質土壤、肥料、産業組合、農會經營、化學、珠算、公文、習字等ナリ

3. 授業及實習時數

第一學年

學 科	{ 本所ニ於テ 370 } 計 687 時
	{ 御牧ヶ原ニ於テ 317 }
實 習	{ 本所ニ於テ 40 } 計 1812 時
	{ 御牧ヶ原ニ於テ 1772 }

第二學年

學 科 (本所ニ於テ)	487 時
實 習 (農事試驗場ニ於テ)	441 時

4. 見學及旅行日數

第一學年

{ 修 學 旅 行	東南信地方へ	7 日
{ 見 學		13 日

第二學年

{ 修 學 旅 行	北海道、東北、關東地方へ	14 日
{ 見 學		13 日

5. 町村農會實務練習

農會實務練習ノ爲メ第二學年ヲ町村農會ニ配屬セシメ、郡農會、配屬町村農會技術員及ビ當所技師之ヲ指導セリ

配屬ノ農會次ノ如シ

記

配 屬	農 會	氏 名 (郡ノ順)
南 佐 久 郡	川 上 村 農 會	荻 原 英 藏
同 郡	櫻 井 村 農 會	井 出 弘 三
同 郡	北 相 木 村 農 會	山 口 織 雄

北 諏 訪 郡	高 瀬 村 農 會	赤 伊 大 近 古 小 住 瀧 坂 宮 矢 小 伊 北 羽 丸	千 七 太 田 野 吉 澤 井 田 口 林 藤 澤 田 山	秋 郎 一 誠 潔 民 治 人 一 人 男 夫 雄 壽 夫
佐 久 郡	原 村 農 會			
久 郡	伊 那 町 農 會			
上 伊 那 郡	松 尾 村 農 會			
下 伊 那 郡	下 條 村 農 會			
同 筑 摩 郡	和 田 村 農 會			
同 筑 摩 郡	朝 日 村 農 會			
同 筑 摩 郡	本 城 村 農 會			
北 安 曇 郡	八 坂 村 農 會			
同 筑 摩 郡	大 町 農 會			
同 筑 摩 郡	會 染 村 農 會			
同 筑 摩 郡	松 代 町 農 會			
同 筑 摩 郡	篠 ノ 井 町 農 會			
同 筑 摩 郡	川 中 島 村 農 會			
同 筑 摩 郡	稻 里 村 農 會			
同 筑 摩 郡	更 府 村 農 會			

6. 入 所 及 卒 業

入 所

昭和十二年四月一日第一學年二十一名、第二學年二名ニ對シ入所式ヲ舉行ス、入學及ビ二學年編入者ノ本籍氏名ハ次ノ如シ

第一學年

本 籍	氏 名 (五十音順)
長 野 市	池 田 稔 男
上 水 内 郡	伊 藤 袈 裟 男
上 伊 那 郡	伊 藤 藤 男
上 伊 那 郡	遠 藤 男
上 水 内 郡	久 保 田 武 昇 郎
上 伊 那 郡	香 坂 五 郎
東 筑 摩 郡	關 田 中 巖 夫
小 縣 郡	田 中 久 夫
上 伊 那 郡	美 簗 村 5.661
上 水 内 郡	榮 村 大字住良木 342
南 安 曇 郡	烏 川 村 4.208
上 伊 那 郡	美 簗 村 2.145
下 高 井 郡	夜 間 瀬 村 前 坂 6.846
下 伊 那 郡	喬 木 村 阿 島 區 1.188
上 伊 那 郡	東 箕 輪 村 長 岡 551
更 級 郡	篠 九 井 町 大字 橫 田 291
更 級 郡	篠 ノ 井 町 大字 會 277

下 伊 那 郡	上 郷 村 大字 別 府 1.723	山 口 啓 造
埴 科 郡	坂 城 町 北 日 名 2.996	柳 澤 祝 敏
南 佐 久 郡	海 瀬 村 大字 海 瀬 5.692	吉 田 勝 美
上 伊 那 郡	中 箕 輪 村 12.912	吉 江 國 次

第二學年(編入生)

北 佐 久 郡	高 瀬 村 大字 橫 和 439	赤 羽 根 千 秋
東 筑 摩 郡	山 形 村 小 坂 區 2.788	住 吉 康 民

卒 業

支那事變ニテ技術員ニ不足ヲ告ゲシニヨリ、長野縣告示第七百九十五號ニヨリ昭和十二年十一月ヲ以テ卒業セシムルコトナリ、十一月二十七日卒業式ヲ舉行ス

卒業生ノ任地及氏名次ノ如シ

任 地	氏 名 (五十音順)	
諏 訪 郡	宮 川 村 農 會	赤 羽 根 千 秋
同 郡	富 士 見 村 農 會	伊 藤 七 郎
更 級 郡	八 幡 村 農 會	伊 藤 康 夫
北 佐 久 郡	中 佐 都 村 農 會	井 出 弘 三
下 水 内 郡	永 田 村 農 會	荻 原 英 藏
諏 訪 郡	長 地 村 農 會	大 野 田 吾 一
同 郡	湖 南 村 農 會	小 野 潔
小 縣 郡	大 門 村 農 會	北 澤 晴 雄
下 伊 那 郡	龍 江 青 年 學 校	近 藤 太 一
埴 科 郡	雨 宮 縣 村 農 會	小 林 英 男
上 高 井 郡	仁 禮 村 農 會	坂 井 健 人
下 高 井 郡	穗 高 村 農 會	住 吉 康 民
東 筑 摩 郡	和 田 村 農 會	瀧 澤 長 治
更 級 郡	共 和 村 農 會	羽 生 田 元 壽
西 筑 摩 郡	神 坂 村 農 會	古 田 誠 夫
長 野 縣	立 農 事 試 驗 場	丸 山 貞 夫
上 水 内 郡	中 郷 村 農 會	宮 田 吉 一
諏 訪 郡	永 明 村 農 會	山 口 織 雄
東 筑 摩 郡	廣 丘 村 農 會	矢 口 吉 人
下 伊 那 郡	册 村 農 會 (昭和13.319卒業)	毛 涯 武 司

7. 文 書 發 送

發	三〇六件
受	三八二件
質 疑 應 答	八五件

8. 職員

昭和十二年度末ニ於ケル職員氏名次ノ如シ

擔任學科	官	職	氏名
農業政策	長野縣立農事試驗場長	地方農林技師	前田源吉
修身實習	長野縣立農事講習所長	地方農林技師	西村富三郎
修身、教育、法制、珠算、公文、實習	長野縣立農事講習所	地方農林技師	羽生今朝七
畜産實習	同	地方農林技師	地湧喜嶺
		農林主事補	北島俊夫
		農林主事補	立野金造
毒劇物	長野縣警察部衛生課長	地方技師	加茂智榮
農業政策	長野縣經濟部農務課長	地方農林技師	淺井録郎
氣象	長野測候所長	測候技師	梶間百樹
産業組合	長野縣經濟部産業組合課長	農林主事	奥原潔
畜産	長野縣種鶏場長	地方農林技師	大坪繁明
養蠶	長野縣蠶業試驗場	地方農林技師	酒井文三郎
害蟲	長野縣農事試驗場	地方農林技師	田邊忠一
果樹	同	地方農林技師	藤原玉夫
病理	同	地方農林技師	栗林數衛
作物	同	地方農林技師	山崎義人
畜産	長野縣經濟部農務課	地方農林技師	鶴田祥平
養蠶	長野縣蠶業試驗場	地方農林技師	金崎眞英
農業經濟	長野縣經濟部規畫課	地方農林技師	小西德治郎
農具	長野縣立農事試驗場	地方農林技師	伊東祐夫
毒劇物	長野縣警察部衛生課	衛生技師	赤尾文治郎
蔬菜	長野縣立農事試驗場	地方農林技師	晝田榮
農業經濟	長野縣經濟部規畫課	地方農林技師	長瀬勇
蔬菜及加工	長野縣立農事試驗場	地方農林技師	矢田憲吉
作物	同	地方農林技師	柴崎照治
栽桑	長野縣蠶業試驗場	地方農林技師	田中好夫
毒劇物	長野縣警察部衛生課	衛生技師	岩崎義龜
農會經營	長野縣農會	技師	伊藤藤吉
品種改良	長野縣立農事試驗場	農林技師	岡田吉治
地質土壤	同	農林技師	弓削勝三
病理	同	農林技師	山增重雄
肥料	同	農林技師	伊崎孝次郎
作物	同	農林技師	柴木一夫
作物	同	農林技師	清水正照

害作物	長野縣立農事試驗場	農林技師	關松足	谷崎立山	一寅碩	郎男治
産業組合	長野縣經濟部産業組合課	農林主事補	足大	立山崎	碩邑	治展
作物(特用作物)	長野縣立農事試驗場	農林技師	山海	崎東	武清	吉次
作物	長野縣立御牧ヶ原修練農場	農林技師	海小	東松	安	重雄
實習	同	農林技師	中	村		
養蠶實習	長野縣立農事講習所	助				

第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一
第二	第二	第二	第二	第二	第二	第二	第二
第三	第三	第三	第三	第三	第三	第三	第三
第四	第四	第四	第四	第四	第四	第四	第四
第五	第五	第五	第五	第五	第五	第五	第五
第六	第六	第六	第六	第六	第六	第六	第六
第七	第七	第七	第七	第七	第七	第七	第七
第八	第八	第八	第八	第八	第八	第八	第八
第九	第九	第九	第九	第九	第九	第九	第九
第十	第十	第十	第十	第十	第十	第十	第十

昭和十四年三月二十五日印刷

昭和十四年三月三十一日發行

發行所 長野縣立農事試驗場

長野市岡田町百七十六番地

印刷人 田 中 彌 助

長野市岡田町百七十六番地

印刷所 大日本法令出版株式會社

14. 2イ-353イ



1200701577095

終